

2020年度 年報

第31号



原三信

救急指定
医療法人 **原三信病院**
日本医療機能評価機構認定病院

創立141年

基本理念

『病人のための病院』

基本方針

1. 質の高い医療の追求
2. 居心地の良い環境の提供
3. 心のこもったサービスの実践

原三信病院年報 第31号

2020年度 (2020年4月～2021年3月)

▶ 目次 ◀

1. 理事長あいさつ	1
病院長あいさつ	2

2. 病院概要	3
---------------	---

3. 診療統計	
1. 患者統計	8
2. 診療科別患者統計	11
3. 病棟別入院患者統計	13
4. 紹介・逆紹介統計	15
5. 科別手術室統計	18
6. 健康管理センター統計	18
7. 救急統計	19
8. 患者構成	24
9. 診療実績	28
10. 診療技術部統計	33

4. 学術発表	
1. 論文・著書	38
2. 学会	40
3. 講演・司会・座長	44

5. 一年の流れ	49
----------------	----

6. 組織紹介	
1. 組織図	51
2. 職員配置	52
3. 管理職名簿	53

7. 医学総会	56
---------------	----

8. 院内活動	
1. 診療部	60
2. 看護部	90
3. 診療技術部	95
4. 事務部	96
5. 企画情報室	98

9. 委員会活動報告	99
------------------	----

10. 院外研修生受入状況	112
---------------------	-----

11. 香椎原病院	113
-----------------	-----

編集後記	114
------------	-----

1 理事長あいさつ

2020年は、新型コロナウイルス感染症への対応に振り回された1年でした。一日も早く、コロナ禍が収束し、会って楽しく会話ができるようになって欲しいものです。

今回のコロナ禍では、日本に存在するさまざまな問題が浮き彫りになってきました。まず第一に、国全体を通して感染症のまん延に対して弱い状態になっていたこと、近年、ワクチン開発の能力など基礎研究の分野が弱体化していたこと、行政組織におけるIT化が諸外国に比して遅れていたことなどです。我々の医療機関にも同じような問題があるように思われます。今後、改善が必要な点を丁寧に洗い出し、それらの問題点の一つひとつに対応しながら、コロナ禍の収束に向かう不断の努力を続けていくことが2021年の大きな仕事だと思います。

世界全体には、これ以外にも地球温暖化の問題や続発する地域紛争など問題は山積みしています。辛抱強く一つひとつに継続的に当たっていかねばならないと思います。

さて、2020年度の年報がまとまりましたので送付致します。この場を借りて、関係各位には日頃からのご厚情に対して心から感謝するとともに、これからもご指導ご鞭撻を賜らんことを切にお願い申し上げます。

この年報が皆様の手が届く頃には、コロナ禍が少しは落ちついていることを期待しています。皆様のご健勝をお祈り申し上げます。

医療法人 原三信病院
理事長 平 祐二



医療法人 原三信病院
理事長

平 祐二

日本循環器科学会専門医
日本内科学会認定医
医学博士

略歴

昭和27年 福岡県に生まれる
昭和46年 福岡県立修猷館高校卒業
昭和53年 九州大学医学部卒業
昭和53年 九州大学循環器内科へ入局
昭和60年 九州大学医学部助手
昭和61年 カナダ・マニトバ大学へ心臓生理学研究のため留学
平成2年 医療法人三信会原病院副院長へ就任
平成5年 医療法人原三信病院院長へ就任
平成12年 医療法人原三信病院理事長へ就任

病院長あいさつ

昨年2月に福岡市で初の感染者を認めた新型コロナウイルスは、その後世界中を感染の渦に巻き込み、第2波、第3波と感染者数の増減を繰り返し、今、まさに第4波の真只中です。昨年延期された東京オリンピックの開催が、1年後にまさか危ぶまれ、その賛否が議論になろうとは正直思っておりませんでした。

当院でも、2020年は、その影響で、いわゆる“不要不急”の手術は控える事や院内感染防止の観点などから診療に慎重にならざるを得ない状況も生まれ、入院・外来共に患者数の減少を認めました。その結果、多くの患者さんや他の医療機関の皆様に変なご迷惑をおかけしているのではという不安を感じながらの日々でした。

一方、新型コロナウイルス陽性者への対応としましては、昨年末からの患者数の急激な増加に伴い、年明けから4床の受入れ病床を確保、その後の増加に伴う県の要請により8床へ、さらに4月末には16床と対応病床を増床し、診療にあたってまいりました。昨年は、明確な手段が何もなく、手探り状態でただ翻弄された感は否めませんでした。今年に入り診断、治療、そしてワクチンとようやく戦う道がつかえたように感じます。今は、多くの医療従事者が力を合わせ、この世界難とも言える未曾有の感染症を終息に向かわせる事を願うばかりです。

最後になりましたが、この1年の皆様のご厚情に心から感謝申し上げますと共に、今後の一層のご指導、ご鞭撻をお願い申し上げます。

医療法人 原三信病院
院 長 原 直彦



医療法人 原三信病院
院長

原 直彦

日本人間ドック学会認定医
人間ドック健診専門医・指導医
人間ドック情報管理指導士
(人間ドックアドバイザー)
日本医師会認定産業医
医学博士

略 歴

昭和31年 福岡県に生まれる
昭和50年 福岡県立修猷館高校卒業
昭和59年 福岡大学医学部卒業
昭和59年 九州大学呼吸器科へ入局
昭和63年 医療法人原三信病院勤務
平成10年 医療法人原三信病院 内科主任部長へ就任
平成11年 医療法人原三信病院 副院長
(内科主任部長兼任)へ就任
令和元年 医療法人原三信病院 院長
(健康管理センター長兼任)へ就任

2 病院概要

病床数 309床（急性期病床）／50床（地域包括ケア病床）

実習施設 看護学生実習病院

施設認定 救急指定・開放型病院・臨床研修病院・日本医療機能評価機構（3rdG: V.1.1）

福岡県指定がん診療拠点病院認定・日本人間ドック学会機能評価認定

- 【学会認定】
- ・日本泌尿器科学会専門医教育施設
 - ・日本外科学会外科専門医制度修練施設
 - ・日本循環器学会認定循環器専門医研修施設
 - ・日本医学放射線学会放射線科専門医修練機関
 - ・日本消化器内視鏡学会指導施設
 - ・日本心血管インターベンション治療学会研修関連施設
 - ・非血縁者間骨髄採取認定施設
 - ・非血縁者間骨髄移植認定施設
 - ・日本臨床細胞学会認定施設
 - ・日本消化器病学会認定施設
 - ・日本腎臓学会研修施設
 - ・日本カプセル内視鏡学会指導施設
 - ・日本脈管学会認定研修関連施設
 - ・日本高血圧学会認定施設
 - ・日本麻酔科学会麻酔科認定病院
 - ・日本消化器外科学会専門医修練施設
 - ・日本産科婦人科内視鏡学会認定研修施設
 - ・日本産科婦人科学会専門研修連携施設
 - ・浅大腿動脈ステントグラフト実施施設
 - ・日本内科学会教育関連病院
 - ・日本整形外科学会専門医研修施設
 - ・日本透析医学会教育関連施設
 - ・日本乳癌学会認定施設
 - ・日本がん治療認定医機構認定研修施設
 - ・日本呼吸器学会認定施設
 - ・非血縁者間末梢血幹細胞採取認定施設
 - ・非血縁者間造血幹細胞移植認定施設
 - ・マンモグラフィ検診画像認定施設
 - ・日本内分泌、甲状腺外科学会専門医認定施設
 - ・日本血液学会認定血液研修施設
 - ・日本病院総合診療医学会認定施設
 - ・日本静脈経腸栄養学会認定 NST 稼働施設
 - ・健康保険組合連合会指定日帰り人間ドック実施施設
 - ・日本呼吸器内視鏡学会関連認定施設
 - ・日本ハイパーサーミア学会認定施設
 - ・日本消化管学会胃腸科指導施設
 - ・日本放射線腫瘍学会認定施設
 - ・日本医学放射線学会画像診断管理認証施設

教育制度 海外研修制度（韓国：東岡病院）

厚生施設 看護師寮、職員保養施設（糸島市志摩岐志）

分院 医療法人 原三信病院 香椎原病院

院長 寺田 憲司 内科・リハビリテーション科・循環器内科

病床 250床

（医療保険適用病床 127床・回復期リハビリテーション病床 45床・介護医療院 58床・地域包括ケア病床 20床）

【沿革】

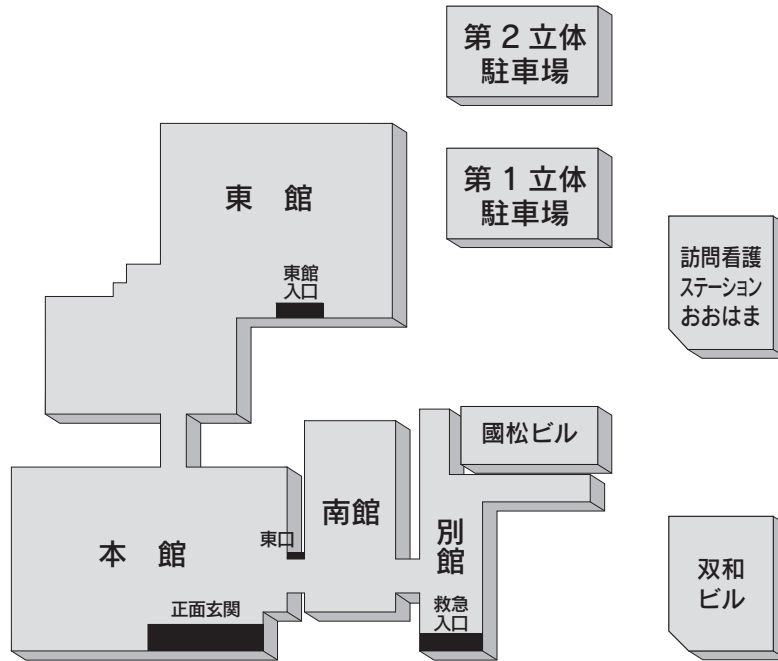
- 沿革
- 慶長 5年 筑前 52万石の黒田長政公より黒田藩御殿医として召し抱えられる（1600年）（以来、代々三信を襲名）
 - 貞亨 3年 六代原三信が長崎出島オランダ館に留学（1685年）オランダ医師、アルブルト・コロウヌより蘭方外科医免状を受ける
 - 明治 12年 十二代原三信、福岡県より外科医術開業免状を受け、現在地に開業
 - 明治 35年 十三代原三信、九州初の私立病院を設立（病床数 30）
 - 明治 36年 愛宕下に分院設立
 - 昭和 30年 医療法人三信会原病院設立（病床数 69）
 - 昭和 41年 総合病院許可（病床数 166）
 - 昭和 44年 人工腎臓室新設、病棟増床（病床数 300）
 - 昭和 54年 創立百周年（病床数 426）
 - 昭和 61年 結石破碎センター開設
- オランダ国立ライデン大学より原三信理事長（十五代）へ、

- ブルハーフェ・メダル贈呈
- 六代原三信蘭方医三百年記念奨学会設立
- 平成元年 無菌室新設、病床増床（病床数 441）
- 平成 2 年 海外研修開始（アメリカ、ドイツ）
- 平成 3 年 循環器病棟開設（病床数 500）
- 平成 4 年 手術室増設
- 平成 5 年 病院名を三信会原病院から原三信病院へ変更、院長交代
- 平成 6 年 海外研修開始（韓国）
- 平成 7 年 訪問看護ステーション「おおはま」開設
第 1 回原三信病院医学総会開催
- 平成 8 年 医療法人 明錬会 香椎原病院と合併
- 平成 9 年 海外研修開始（ニュージーランド）
- 平成 10 年 日帰り手術開始（デイスার্ジェリーセンター開設）
(1998 年) 不妊センター開設・脳神経外科開設
原三信病院附属呉服町診療所開設
- 平成 11 年 救急指定取得
- 平成 12 年 香椎原病院療養型病床群完成（病床数 200）
- 平成 13 年 開放型病院認可
内視鏡センター開設
検査室ワンフロア化
皮膚科・耳鼻咽喉科・眼科・神経科閉鎖
- 平成 14 年 総合診療科開設
心臓血管造影センター増設
睡眠呼吸障害センター開設
ME 機器・医材管理室開設
電子カルテシステム運用開始
- 平成 15 年 日本医療機能評価機構認定（一般病院 B）
前立腺がん治療（HIFU）開始
病棟再編成（病床数 372）
- 平成 16 年 画像診断システム運用開始・コールセンター開設
品質管理室設置
香椎原病院回復期リハビリテーション病棟開設（病床数 250）
- 平成 17 年 館内禁煙実施
脳神経内科開設
- 平成 18 年 外来化学療法室設置
シャトルバス運行開始（原三信病院～香椎原病院）
原三信泌尿器クリニック開設
- 平成 19 年 病棟再編成（病床数 359）
敷地内禁煙開始・生活習慣病外来開設
病院機能評価 ver.5.0 受審
物忘れ外来・神経泌尿器外来開設
- 平成 20 年 日本医療機能評価機構更新認定（ver.5.0）
(2008 年) 一般病棟入院基本料 7 対 1 看護配置基準取得
密封小線源治療開始
健康管理センターホテルドック開始

- 平成 21 年 創立百三十周年
院内 P H S 電話使用開始
腎移植外来開始
P D 外来・腎不全外来開始
- 平成 22 年 リンパ浮腫外来新設
看護部組織及び病棟クランク所属変更
時短正職員制度開始
医療安全管理室設置
- 平成 23 年 第 9 回日本ヘルニア学会学術集会（福岡サンパレス・福岡国際会議場）
クールビズ導入・外来新患受付時間変更
- 平成 24 年 フットケア外来開設
ハイパーサーミア（温熱療法）外来開設
歯科土曜外来開始
土曜リハビリ開始
原三信病院～博多港間 送迎バス試験運行開始
- 平成 25 年 日本医療機能評価機構更新認定（ver.6.0）
病院敷地内禁煙開始
感染管理推進室設置
診療支援課設置
原三信病院～博多港間 送迎バス正式運行開始
人間ドック健診施設機能評価認定
歯科電子カルテシステム運用開始
- 平成 26 年 企画情報室 診療情報管理係新設
セカンドオピニオン外来開始
外来患者支援システム運用開始
新東館、泌尿器センターオープン
がん相談支援センター設置
- 平成 27 年 医療連携課運用開始
臨床研究事務局運用開始
腎臓病センター運用開始
- 平成 28 年 東館（新棟）オープン
呉服町腎クリニック巡回バス運用開始
- 平成 29 年 健康管理センター、内視鏡センター、デイスার্ジェリーセンターリニューアルオープン
病院基本理念等変更
- 平成 30 年 日本医療機能評価機構更新認定：(3rdG: V.1.1)
(2018 年) 人間ドック健診施設機能評価更新（ver.3.0）
タイムレコーダー運用開始
緩和ケア外来（精神・身体）開始
呉服町腎クリニック透析用ベッド数変更（52 床→40 床）
- 令和元年 創立百四十周年
(2019 年) 院長交替
地域包括ケア病棟開設（本館 4 階病棟 50 床）
- 令和 2 年 福岡県指定がん診療拠点病院認定
(2020 年) 入退院支援センター開設
コロナ病床 臨時開設

施設概況

敷地面積 6,316㎡
 建物面積 4,720㎡
 延床面積 25,870㎡



病院立面図

東館		本館		南館		別館	
8F	東館8階病棟	8F	リハビリテーション室				
7F	東館7階病棟	7F	歯科 医療安全管理室 感染管理推進室 褥瘡管理室				
6F	東館6階病棟	6F	管理部門				
5F	東館5階病棟	5F	本館5階病棟		本館5階病棟		
4F	東館4階病棟	4F	本館4階病棟 (地域包括ケア病棟)		管理部門	管理部門	
3F	病理診断科 手術室・中央材料室 心臓血管造影室	3F	本館3階病棟		糖尿病教室 ME室 臨床研究事務局	管理部門	管理部門
2F	泌尿器センター・外科・婦人科 外来化学療法室 検査部門・結石破碎室・透視下手術室	2F	健康管理センター 内視鏡センター		管理部門	管理部門	
1F	総合案内 MRI室 CT室 ハイパーサーミア室	1F	総合受付・入院受付 内科・整形外科・脳神経科・検査部門 患者相談窓口・がん相談支援センター		薬剤科・売店 入退院支援センター		腎臓病センター 救急外来
B1F	放射線治療室 RI室・密封小線源治療室	B1F	管理部門				

2021年3月31日現在

【目次】

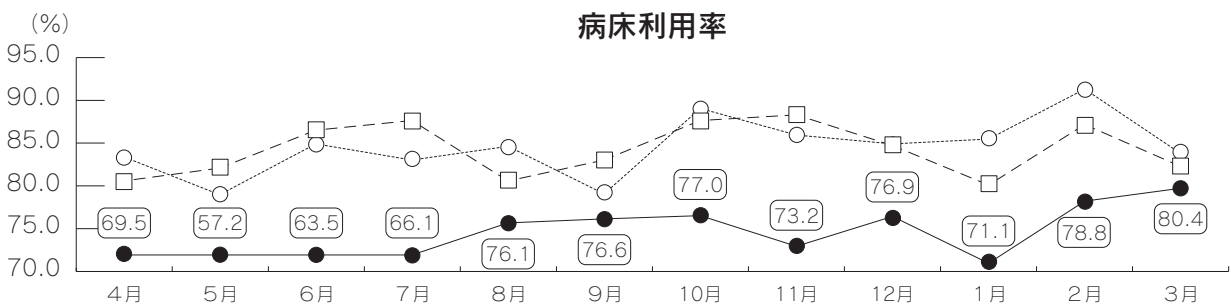
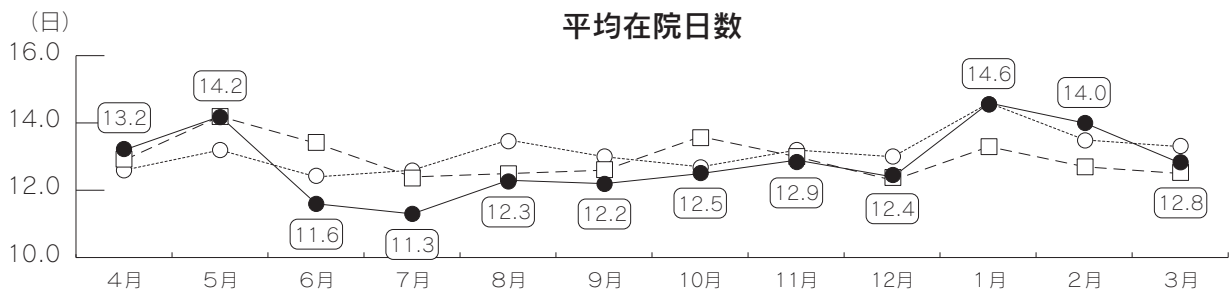
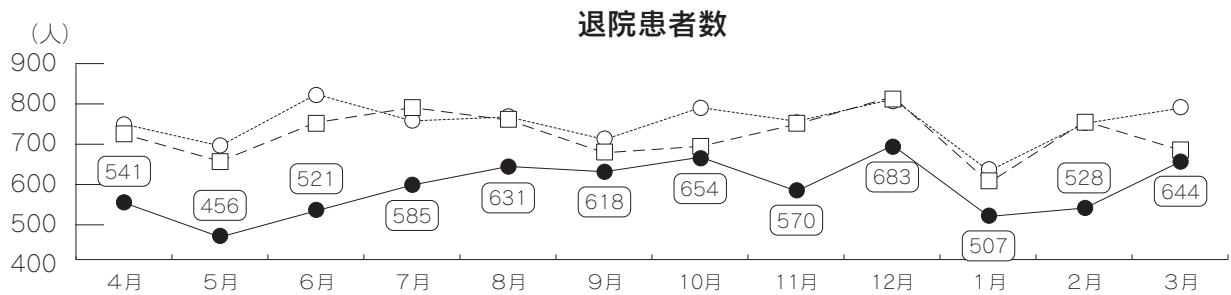
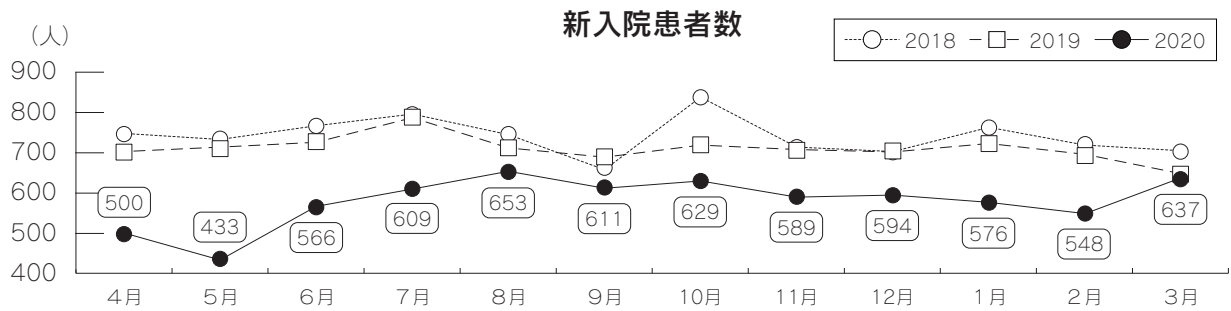
1. 患者統計	8
2. 診療科別患者統計	11
3. 病棟別入院患者統計	13
4. 紹介・逆紹介統計	15
5. 科別手術室統計	18
6. 健康管理センター統計	18
7. 救急統計	19
8. 患者構成	24
9. 診療実績	28
10. 診療技術部統計	33

● 1. 患者統計

	2018年度(平成30年度)	2019年度(令和元年度)	2020年度(令和2年度)
入院延べ患者数(人)	111,979	111,876	94,553
新入院患者数(人)	8,877	8,515	6,945
外来延べ患者数(人)	176,239	172,620	148,763
初診患者数(人)	23,354	23,393	18,086
健康診断者数(人)	13,973	14,306	13,615
平均在院日数(日)	13.1	12.9	12.8
平均通院日数(日)	7.5	7.4	8.2
病床利用率(%)	85.5	85.2	72.2

月別患者数（入院）

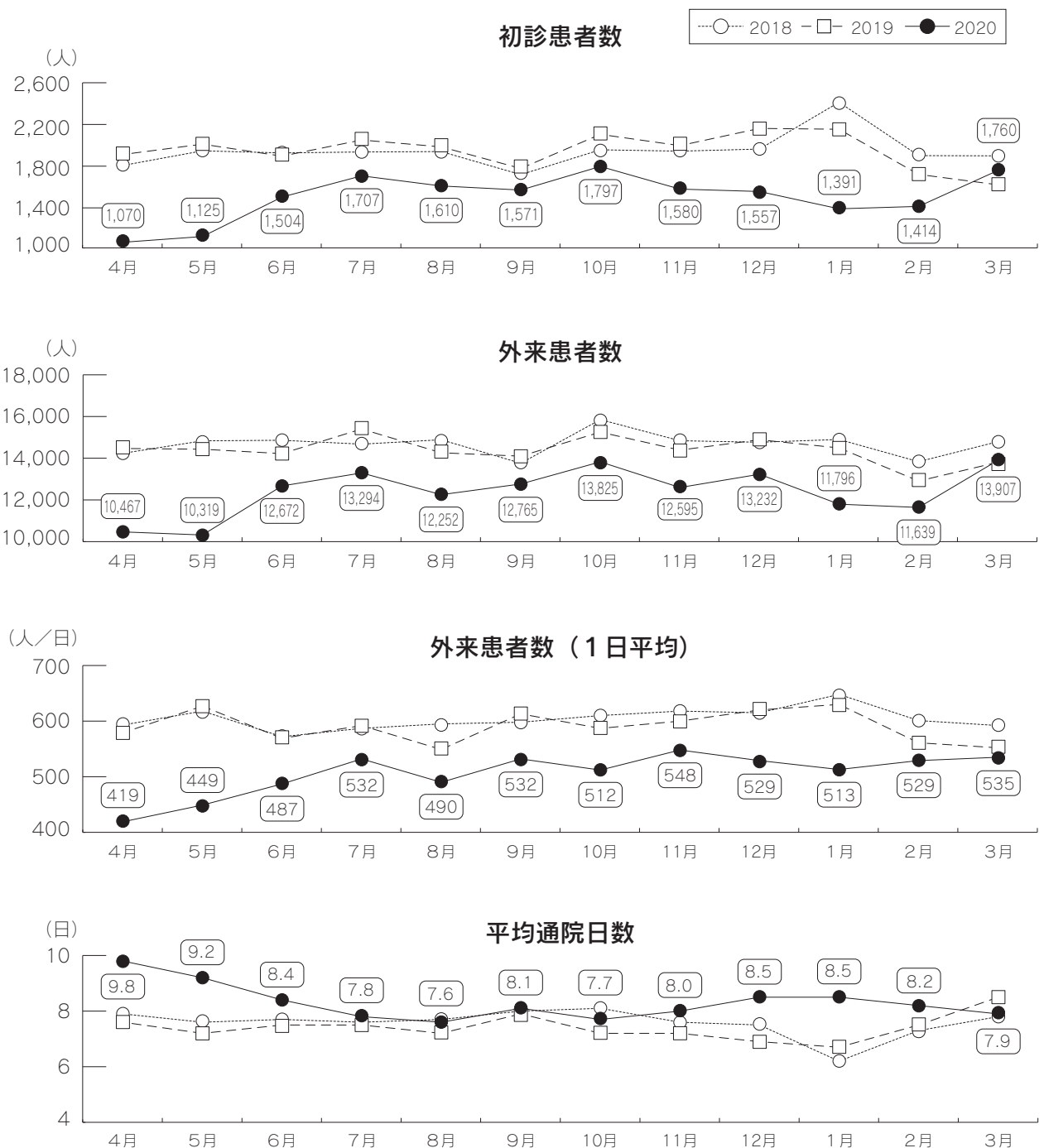
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
新入院患者数 (人)	2018	747	732	766	795	744	657	837	713	702	762	718	704	8,877
	2019	702	713	725	786	711	688	718	707	701	722	695	647	8,515
	2020	500	433	566	609	653	611	629	589	594	576	548	637	6,945
入院患者数 (人)	2018	9,078	8,855	9,255	9,340	9,521	8,580	10,054	9,368	9,558	9,631	9,316	9,423	111,979
	2019	8,751	9,229	9,430	9,886	9,049	9,041	9,884	9,638	9,541	8,989	9,194	9,244	111,876
	2020	7,488	6,370	6,841	7,351	8,467	8,246	8,567	7,886	8,557	7,908	7,924	8,948	94,553
退院患者数 (人)	2018	736	682	810	744	754	698	777	743	798	620	738	776	8,876
	2019	711	644	740	777	746	665	681	736	804	591	743	671	8,509
	2020	541	456	521	585	631	618	654	570	683	507	528	644	6,938
平均在院日数 (日)	2018	12.6	13.2	12.4	12.6	13.5	13.0	12.7	13.2	13.0	14.6	13.5	13.3	13.1
	2019	12.9	14.2	13.4	12.4	12.5	12.6	13.6	13.0	12.3	13.3	12.7	12.5	12.9
	2020	13.2	14.2	11.6	11.3	12.3	12.2	12.5	12.9	12.4	14.6	14.0	12.8	12.8
病床利用率 (%)	2018	84.3	79.6	85.9	83.9	85.6	79.7	90.3	87.0	85.9	86.5	92.7	84.7	85.5
	2019	81.3	82.9	87.6	88.8	81.3	83.9	88.8	89.5	85.7	80.8	88.3	83.1	85.2
	2020	69.5	57.2	63.5	66.1	76.1	76.6	77.0	73.2	76.9	71.1	78.8	80.4	72.2



月別患者数（外来）

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
初診患者数 (人)	2018	1,807	1,947	1,927	1,936	1,940	1,719	1,957	1,944	1,964	2,413	1,901	1,899	23,354
	2019	1,912	2,011	1,896	2,051	1,985	1,778	2,105	1,997	2,162	2,154	1,721	1,621	23,393
	2020	1,070	1,125	1,504	1,707	1,610	1,571	1,797	1,580	1,557	1,391	1,414	1,760	18,086
外来患者数 (人)	2018	14,236	14,834	14,861	14,675	14,886	13,760	15,852	14,839	14,765	14,899	13,834	14,798	176,239
	2019	14,467	14,432	14,221	15,402	14,262	14,099	15,252	14,390	14,885	14,494	12,906	13,810	172,620
	2020	10,467	10,319	12,672	13,294	12,252	12,765	13,825	12,595	13,232	11,796	11,639	13,907	148,763
1日平均 外来患者数 (人/日)	2018	593	618	572	587	595	598	610	618	615	648	601	592	614
	2019	579	627	569	592	549	613	587	600	620	630	561	552	589
	2020	419	449	487	532	490	532	512	548	529	513	529	535	506
平均通院日数 (日)	2018	7.9	7.6	7.7	7.6	7.7	8.0	8.1	7.6	7.5	6.2	7.3	7.8	7.5
	2019	7.6	7.2	7.5	7.5	7.2	7.9	7.2	7.2	6.9	6.7	7.5	8.5	7.4
	2020	9.8	9.2	8.4	7.8	7.6	8.1	7.7	8.0	8.5	8.5	8.2	7.9	8.2

※本院、腎クリニック、泌尿器クリニック合算、診療日数は本院準拠



2. 診療科別患者統計

診療科別患者数（入院）

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
総合診療科	新入院患者数	9	8	11	13	16	15	13	10	17	18	15	14	159
	患者数	183	106	189	210	222	293	275	203	225	195	288	268	2,657
	退院患者数	9	10	12	9	13	18	14	12	16	13	14	13	153
	平均在院日数	20.3	11.8	16.4	19.1	15.3	17.8	20.4	18.5	13.6	12.6	19.9	19.9	17.0
消化管内科	新入院患者数	48	46	46	50	61	58	72	76	56	61	81	72	727
	患者数	330	334	358	280	448	446	538	563	470	436	593	629	5,425
	退院患者数	52	40	49	45	59	47	73	67	67	54	66	81	700
	平均在院日数	6.6	7.8	7.5	5.9	7.5	8.5	7.4	7.9	7.6	7.6	8.1	8.2	7.6
肝胆膵内科	新入院患者数	17	11	27	20	25	24	20	20	22	18	16	25	245
	患者数	229	216	293	221	396	411	362	289	331	267	225	366	3,606
	退院患者数	15	14	26	16	18	25	22	18	26	17	12	24	233
	平均在院日数	14.3	17.3	11.1	12.3	18.4	16.8	17.2	15.2	13.8	15.3	16.1	14.9	15.1
循環器科	新入院患者数	28	29	52	48	56	41	49	38	64	44	49	44	542
	患者数	397	405	528	517	614	482	601	472	719	760	675	709	6,879
	退院患者数	29	30	38	50	51	34	59	41	54	46	46	50	528
	平均在院日数	13.9	13.7	11.7	10.6	11.5	12.9	11.1	11.9	12.2	16.9	14.2	15.1	12.9
血液内科	新入院患者数	30	22	29	30	43	31	30	19	18	28	18	27	325
	患者数	1,246	1,189	1,186	1,187	1,265	1,351	1,288	1,114	1,231	1,306	1,176	1,417	14,956
	退院患者数	25	32	22	33	35	36	37	18	24	15	25	26	328
	平均在院日数	45.3	44.0	46.5	37.7	32.4	40.3	38.4	60.2	58.6	60.7	54.7	53.5	45.8
腎臓内科	新入院患者数	15	16	11	12	18	18	16	19	17	15	12	20	189
	患者数	379	333	267	307	315	316	417	329	336	360	362	422	4,143
	退院患者数	19	20	9	15	18	19	19	20	22	14	13	20	208
	平均在院日数	22.3	18.5	26.7	22.7	17.5	17.1	23.8	16.9	17.2	24.8	29.0	21.1	20.9
呼吸器科	新入院患者数	23	32	32	33	28	27	25	31	32	30	31	31	355
	患者数	505	524	468	531	598	756	737	569	696	619	564	632	7,199
	退院患者数	31	28	25	32	27	26	34	27	36	32	28	27	353
	平均在院日数	18.7	17.5	16.4	16.3	21.7	28.5	25.0	19.6	20.5	20.0	19.1	21.8	20.3
糖尿病内科	新入院患者数	2	5	2	3	5	3	0	2	2	2	3	2	31
	患者数	22	49	35	29	84	25	18	9	18	42	55	75	461
	退院患者数	2	5	3	1	4	3	2	1	2	0	2	4	29
	平均在院日数	11.0	9.8	14.0	14.5	18.7	8.3	18.0	6.0	9.0	42.0	22.0	25.0	15.4
脳神経内科	新入院患者数	7	5	13	9	7	8	9	9	4	3	6	6	86
	患者数	252	151	210	212	136	154	204	134	152	117	156	186	2,064
	退院患者数	8	7	10	10	5	9	7	10	6	2	3	7	84
	平均在院日数	33.6	25.2	18.3	22.3	22.7	18.1	25.5	14.1	30.4	46.8	34.7	28.6	24.3
睡眠呼吸障害センター	新入院患者数	8	注1 0	15	15	12	15	14	14	12	14	14	15	148
	患者数	16	0	29	31	23	30	29	27	25	28	28	29	295
	退院患者数	8	0	14	16	11	15	15	13	13	14	14	14	147
	平均在院日数	2.0	-	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0
外科	新入院患者数	51	37	51	62	68	64	56	63	57	56	50	62	677
	患者数	842	598	634	780	1,143	1,025	721	830	928	866	856	970	10,193
	退院患者数	58	44	57	50	70	76	63	61	69	52	51	68	719
	平均在院日数	15.4	14.8	11.7	13.9	16.6	14.6	12.1	13.4	14.7	16.0	17.0	14.9	14.6
整形外科	新入院患者数	37	29	35	45	45	40	46	43	50	47	46	42	505
	患者数	1,241	868	750	1,025	1,005	964	1,156	1,070	1,215	884	1,004	833	12,015
	退院患者数	50	40	29	45	46	39	41	35	66	35	48	49	523
	平均在院日数	28.5	25.2	23.4	22.8	22.1	24.4	26.6	27.4	20.9	21.6	21.4	18.3	23.4
泌尿器科	新入院患者数	184	160	192	206	203	205	208	188	193	189	162	200	2,290
	患者数	1,285	1,146	1,416	1,444	1,530	1,383	1,548	1,576	1,504	1,306	1,318	1,561	17,017
	退院患者数	186	155	177	202	214	203	200	195	223	162	161	189	2,267
	平均在院日数	6.9	7.3	7.7	7.1	7.3	6.8	7.6	8.2	7.2	7.4	8.2	8.0	7.5
婦人科	新入院患者数	22	20	30	42	42	40	45	37	29	27	28	44	406
	患者数	107	110	146	205	240	207	254	171	214	189	149	260	2,252
	退院患者数	23	21	29	40	42	40	49	34	32	31	26	47	414
	平均在院日数	4.8	5.4	4.9	5.0	5.7	5.2	5.4	4.8	7.0	6.5	5.5	5.7	5.5
脳神経外科	新入院患者数	15	12	18	17	16	18	24	19	17	16	11	22	205
	患者数	403	334	318	345	377	381	405	527	456	481	418	499	4,944
	退院患者数	20	9	19	18	10	23	17	17	23	13	12	17	198
	平均在院日数	23.0	31.8	17.2	19.7	29.0	18.6	19.8	29.3	22.8	33.2	36.3	25.6	24.5
歯科	新入院患者数	4	1	2	4	8	4	2	1	4	8	6	11	55
	患者数	51	7	14	27	71	22	14	3	37	52	57	92	447
	退院患者数	6	1	2	3	8	5	2	1	4	7	7	8	54
	平均在院日数	10.2	7.0	7.0	7.7	8.9	4.9	7.0	3.0	9.3	6.9	8.8	9.7	8.2

※単位は009ページ月別患者数（入院）を参照

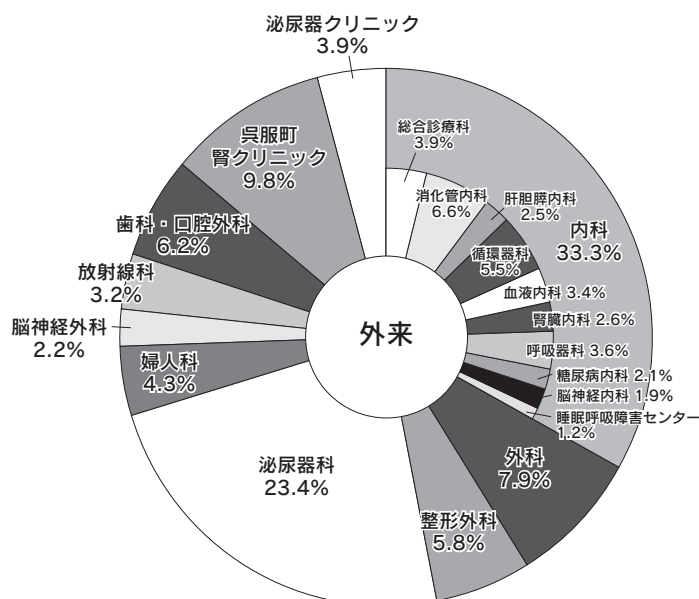
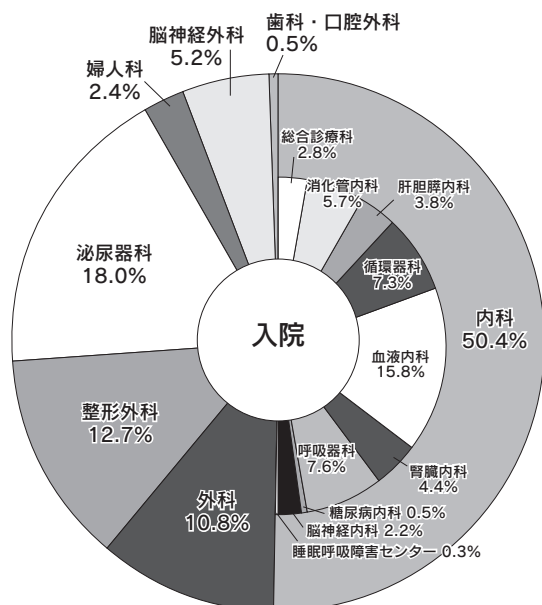
注1) 睡眠呼吸障害センターはコロナ病床対応で閉鎖（入院不可）

診療科別患者数（外来）

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
総合診療科	初診患者数	71	73	104	152	119	94	87	133	137	129	102	123	1,324
	患者数	460	423	520	598	496	492	557	523	610	547	494	582	6,302
	1日平均患者数	18.4	18.4	20.0	23.9	19.8	20.5	20.6	22.7	24.4	23.8	22.5	22.4	21.4
	通院日数	6.5	5.8	5.0	3.9	4.2	5.2	6.4	3.9	4.5	4.2	4.8	4.7	4.8
消化管内科	初診患者数	99	106	163	176	179	192	202	157	175	156	140	187	1,932
	患者数	608	550	840	1,029	950	981	1,157	950	969	842	870	1,041	10,787
	1日平均患者数	24.3	23.9	32.3	41.2	38.0	40.9	42.9	41.3	38.8	36.6	39.5	40.0	36.7
	通院日数	6.1	5.2	5.2	5.8	5.3	5.1	5.7	6.1	5.5	5.4	6.2	5.6	5.6
肝胆膵内科	初診患者数	19	27	22	16	34	41	41	38	36	26	38	30	368
	患者数	248	242	319	296	342	327	368	358	438	316	337	411	4,002
	1日平均患者数	9.9	10.5	12.3	11.8	13.7	13.6	13.6	15.6	17.5	13.7	15.3	15.8	13.6
	通院日数	13.1	9.0	14.5	18.5	10.1	8.0	9.0	9.4	12.2	12.2	8.9	13.7	10.9
循環器科	初診患者数	55	52	59	89	96	79	73	77	105	59	78	97	919
	患者数	689	621	694	813	730	782	774	747	832	724	723	856	8,985
	1日平均患者数	27.6	27.0	26.7	32.5	29.2	32.6	28.7	32.5	33.3	31.5	32.9	32.9	30.6
	通院日数	12.5	11.9	11.8	9.1	7.6	9.9	10.6	9.7	7.9	12.3	9.3	8.8	9.8
血液内科	初診患者数	35	37	41	59	70	45	57	30	39	29	28	43	513
	患者数	419	405	484	506	469	473	491	472	506	414	413	488	5,540
	1日平均患者数	16.8	17.6	18.6	20.2	18.8	19.7	18.2	20.5	20.2	18.0	18.8	18.8	18.8
	通院日数	12.0	10.9	11.8	8.6	6.7	10.5	8.6	15.7	13.0	14.3	14.8	11.3	10.8
腎臓内科	初診患者数	7	11	19	28	21	30	29	24	19	19	16	32	255
	患者数	280	287	359	378	337	384	393	371	375	330	335	450	4,279
	1日平均患者数	11.2	12.5	13.8	15.1	13.5	16.0	14.6	16.1	15.0	14.3	15.2	17.3	14.6
	通院日数	40.0	26.1	18.9	13.5	16.0	12.8	13.6	15.5	19.7	17.4	20.9	14.1	16.8
呼吸器科	初診患者数	68	31	59	65	57	52	55	48	66	59	57	62	679
	患者数	530	406	487	492	472	472	545	499	502	426	434	565	5,830
	1日平均患者数	21.2	17.7	18.7	19.7	18.9	19.7	20.2	21.7	20.1	18.5	19.7	21.7	19.8
	通院日数	7.8	13.1	8.3	7.6	8.3	9.1	9.9	10.4	7.6	7.2	7.6	9.1	8.6
糖尿病内科	初診患者数	5	3	6	7	10	2	1	7	1	1	2	4	49
	患者数	283	222	255	336	293	288	310	324	294	301	280	293	3,479
	1日平均患者数	11.3	9.7	9.8	13.4	11.7	12.0	11.5	14.1	11.8	13.1	12.7	11.3	11.8
	通院日数	56.6	74.0	42.5	48.0	29.3	144.0	310.0	46.3	294.0	301.0	140.0	73.3	71.0
脳神経内科	初診患者数	16	22	28	36	25	23	20	26	17	16	30	24	283
	患者数	191	211	283	273	268	256	317	289	291	250	229	312	3,170
	1日平均患者数	7.6	9.2	10.9	10.9	10.7	10.7	11.7	12.6	11.6	10.9	10.4	12.0	10.8
	通院日数	11.9	9.6	10.1	7.6	10.7	11.1	15.9	11.1	17.1	15.6	7.6	13.0	11.2
睡眠呼吸障害センター	初診患者数	4	2	10	12	8	6	10	7	14	11	8	11	103
	患者数	142	159	167	160	164	142	170	145	187	162	173	179	1,950
	1日平均患者数	5.7	6.9	6.4	6.4	6.6	5.9	6.3	6.3	7.5	7.0	7.9	6.9	6.6
	通院日数	35.5	79.5	16.7	13.3	20.5	23.7	17.0	20.7	13.4	14.7	21.6	16.3	18.9
外科	初診患者数	62	39	42	57	54	54	68	48	47	48	38	54	611
	患者数	874	888	1,123	1,239	1,069	1,067	1,197	1,099	1,174	995	981	1,246	12,952
	1日平均患者数	35.0	38.6	43.2	49.6	42.8	44.5	44.3	47.8	47.0	43.3	44.6	47.9	44.1
	通院日数	14.1	22.8	26.7	21.7	19.8	19.8	17.6	22.9	25.0	20.7	25.8	23.1	21.2
整形外科	初診患者数	66	97	110	135	119	143	125	125	124	107	107	133	1,391
	患者数	582	651	784	847	763	870	828	755	833	814	712	948	9,387
	1日平均患者数	23.3	28.3	30.2	33.9	30.5	36.3	30.7	32.8	33.3	35.4	32.4	36.5	31.9
	通院日数	8.8	6.7	7.1	6.3	6.4	6.1	6.6	6.0	6.7	7.6	6.7	7.1	6.7
泌尿器科	初診患者数	273	306	406	407	411	394	512	429	394	347	383	482	4,744
	患者数	2,496	2,688	3,414	3,344	3,036	3,402	3,552	3,148	3,348	3,049	2,980	3,708	38,165
	1日平均患者数	99.8	116.9	131.3	133.8	121.4	141.8	131.6	136.9	133.9	132.6	135.5	142.6	129.8
	通院日数	9.1	8.8	8.4	8.2	7.4	8.6	6.9	7.3	8.5	8.8	7.8	7.7	8.0
婦人科	初診患者数	45	64	76	91	57	83	101	99	64	68	76	90	914
	患者数	399	401	586	631	595	636	699	647	600	528	575	718	7,015
	1日平均患者数	16.0	17.4	22.5	25.2	23.8	26.5	25.9	28.1	24.0	23.0	26.1	27.6	23.9
	通院日数	8.9	6.3	7.7	6.9	10.4	7.7	6.9	6.5	9.4	7.8	7.6	8.0	7.7
脳神経外科	初診患者数	35	40	53	39	47	64	42	41	46	38	43	62	550
	患者数	229	205	320	323	252	327	315	310	320	298	281	365	3,545
	1日平均患者数	9.2	8.9	12.3	12.9	10.1	13.6	11.7	13.5	12.8	13.0	12.8	14.0	12.1
	通院日数	6.5	5.1	6.0	8.3	5.4	5.1	7.5	7.6	7.0	7.8	6.5	5.9	6.4
放射線科	初診患者数	28	26	41	54	41	43	56	51	42	39	38	73	532
	患者数	342	313	469	481	477	496	547	585	411	363	414	346	5,244
	1日平均患者数	13.7	13.6	18.0	19.2	19.1	20.7	20.3	25.4	16.4	15.8	18.8	13.3	17.8
	通院日数	12.2	12.0	11.4	8.9	11.6	11.5	9.8	11.5	9.8	9.3	10.9	4.7	9.9
歯科	初診患者数	126	129	147	195	176	158	189	160	163	144	171	171	1,929
	患者数	733	727	815	885	792	866	954	871	924	854	848	897	10,166
	1日平均患者数	29.3	31.6	31.3	35.4	31.7	36.1	35.3	37.9	37.0	37.1	38.5	34.5	34.6
	通院日数	5.8	5.6	5.5	4.5	4.5	5.5	5.0	5.4	5.7	5.9	5.0	5.2	5.3
呉服町腎クリニック	患者数	1,371	1,373	1,354	1,380	1,327	1,338	1,367	1,264	1,338	1,303	1,207	1,355	15,977
	1日平均患者数	52.7	52.8	52.1	51.1	51.0	51.5	50.6	50.6	49.6	50.1	50.3	50.2	51.0
泌尿器クリニック	患者数	551	482	564	567	516	497	609	477	608	488	492	552	6,403
	1日平均患者数	26.2	26.8	25.6	27.0	25.8	24.9	27.7	25.1	29.0	25.7	27.3	24.0	26.2

※単位は010ページ月別患者数（外来）を参照

診療科別患者率



3. 病棟別入院患者統計

病棟名	主な診療科	ベッド数
本館3階病棟	呼吸器科・消化管内科・腎臓内科・肝胆膵内科	48
本館4階病棟	地域包括ケア病棟	50
本館5階病棟	総合診療科・脳神経内科・糖尿病内科・日帰り手術センター	35
東館4階病棟	泌尿器科	46
東館5階病棟	循環器科・泌尿器科・睡眠呼吸障害センター	46
東館6階病棟	外科・婦人科・歯科	46
東館7階病棟	脳神経外科・整形外科	46
東館8階病棟	血液内科	42
合計		359

病棟別入院患者数

(単位：件)

病棟名		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
本館3階	入院	36	71	94	90	95	76	66	89	70	84	87	96	954
	在院	747	942	943	975	1,237	1,212	1,308	1,151	1,281	1,293	1,248	1,320	13,657
	退院	48	59	87	87	90	74	74	93	95	74	88	110	979
	在院(延)	795	1,001	1,030	1,062	1,327	1,286	1,382	1,244	1,376	1,367	1,336	1,430	14,636
	死亡者数	5	3	1	0	3	1	5	2	2	4	3	4	33
	在院日数	18.9	15.4	11.4	12.0	14.3	17.1	19.7	13.7	16.7	17.3	15.3	13.9	15.1
本館4階	入院	8	9	11	4	14	9	9	15	18	83	46	22	248
	在院	961	487	482	606	707	887	817	710	915	774	903	949	9,198
	退院	41	35	20	25	29	37	40	30	53	94	61	56	521
	在院(延)	1,002	522	502	631	736	924	857	740	968	868	964	1,005	9,719
	死亡者数	2	0	0	0	0	2	1	0	0	0	1	1	7
	在院日数	40.9	23.7	32.4	43.5	34.2	40.2	35.0	32.9	27.3	9.8	18.0	25.8	25.3
本館5階	入院	121	71	96	121	139	116	114	118	107	0	14	39	1,056
	在院	562	363	448	537	710	680	752	616	527	0	45	162	5,402
	退院	110	84	84	110	129	111	108	107	112	0	3	10	968
	在院(延)	672	447	532	647	839	791	860	723	639	0	48	172	6,370
	死亡者数	2	0	0	0	0	0	2	1	0	0	0	1	6
	在院日数	5.8	5.8	5.9	5.6	6.3	7.0	7.7	6.4	5.8	-	5.6	7.0	6.3
東館4階	入院	96	89	103	99	114	127	127	106	123	128	125	157	1,394
	在院	850	800	955	922	1,045	919	1,060	1,010	1,027	1,112	1,052	1,152	11,904
	退院	100	81	98	99	119	124	117	115	136	107	113	137	1,346
	在院(延)	950	881	1,053	1,021	1,164	1,043	1,177	1,125	1,163	1,219	1,165	1,289	13,250
	死亡者数	0	0	0	0	1	2	0	0	1	1	2	3	10
	在院日数	9.7	10.4	10.5	10.3	10.0	8.3	9.6	10.2	9.0	10.4	9.8	8.8	9.7
東館5階	入院	87	55	71	75	85	78	92	79	95	97	98	128	1,040
	在院	704	594	688	648	779	711	765	739	883	863	941	1,184	9,499
	退院	89	48	50	64	66	58	80	58	70	62	80	123	848
	在院(延)	793	642	738	712	845	769	845	797	953	925	1,021	1,307	10,347
	死亡者数	2	1	1	2	0	1	3	2	2	2	3	6	25
	在院日数	9.0	12.5	12.2	10.2	11.2	11.3	9.8	11.6	11.6	11.6	11.5	10.4	11.0
東館6階	入院	82	73	108	132	107	119	137	125	103	114	112	115	1,327
	在院	991	749	822	1,013	1,171	1,054	981	1,034	1,113	1,095	1,076	1,192	12,291
	退院	92	80	111	117	112	130	148	119	128	109	104	122	1,372
	在院(延)	1,083	829	933	1,130	1,283	1,184	1,129	1,153	1,241	1,204	1,180	1,314	13,663
	死亡者数	1	0	1	0	1	0	2	0	0	1	0	1	7
	在院日数	12.4	10.8	8.5	9.1	11.7	9.5	7.9	9.5	10.7	10.8	10.9	11.1	10.1
東館7階	入院	46	49	57	70	72	74	69	51	73	69	66	78	774
	在院	1,050	928	891	1,044	1,102	1,017	1,184	1,109	1,084	1,166	1,121	1,159	12,855
	退院	41	41	52	58	59	59	59	36	74	50	59	70	658
	在院(延)	1,091	969	943	1,102	1,161	1,076	1,243	1,145	1,158	1,216	1,180	1,229	13,513
	死亡者数	3	0	2	1	2	0	1	0	1	1	0	2	13
	在院日数	25.1	21.5	17.3	17.2	17.7	16.2	19.4	26.3	15.8	20.4	18.9	16.6	18.9
東館8階	入院	24	16	26	18	27	12	15	6	5	1	0	2	152
	在院	1,082	1,051	1,091	1,021	1,085	1,148	1,046	947	1,044	1,098	1,010	1,186	12,809
	退院	20	28	19	25	27	25	28	12	15	11	20	16	246
	在院(延)	1,102	1,079	1,110	1,046	1,112	1,173	1,074	959	1,059	1,109	1,030	1,202	13,055
	死亡者数	0	2	1	6	2	0	1	1	0	2	2	0	17
	在院日数	50.1	49.0	49.3	48.7	41.2	63.4	50.0	106.6	105.9	184.8	103.0	133.6	65.6
合計	入院	500	433	566	609	653	611	629	589	594	576	548	637	6,945
	在院	6,947	5,914	6,320	6,766	7,836	7,628	7,913	7,316	7,874	7,401	7,396	8,304	87,615
	退院	541	456	521	585	631	618	654	570	683	507	528	644	6,938
	在院(延)	7,488	6,370	6,841	7,351	8,467	8,246	8,567	7,886	8,557	7,908	7,924	8,948	94,553
	死亡者数	15	6	6	9	9	6	15	6	6	11	11	18	118
	在院日数	14.4	14.3	12.6	12.3	13.2	13.4	13.4	13.6	13.4	14.6	14.7	14.0	13.6

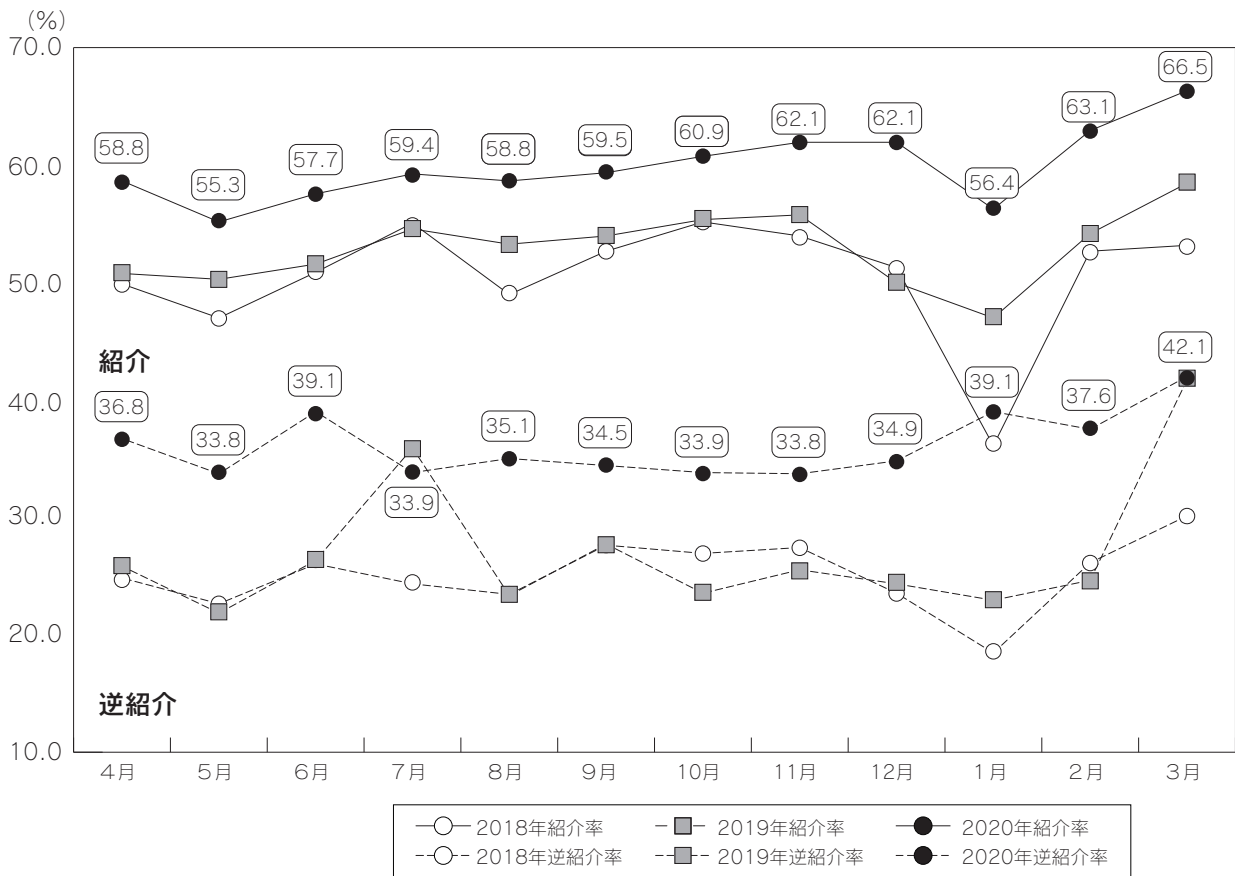
【注釈】

- ・「入院」新規入院患者数、「在院」24時時点で病床を利用している患者数、「退院」退院患者数、「在院(延)」在院患者数に退院患者数を加算した数、「死亡」退院患者の内、死亡した患者数(再掲)
- ・「在院日数」は「在院(延)」÷(「新入院」+「退院」)÷2)で求めた数
- ・本館4階病棟は地域包括ケア病棟

4. 紹介・逆紹介統計

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
初診紹介件数 (件)	2018	680	652	726	758	628	616	769	716	657	585	661	643	8,091
	2019	648	627	648	766	676	609	783	748	702	683	618	646	8,154
	2020	409	398	562	670	576	595	729	662	618	507	604	801	7,131
救急車数 (件)	2018	176	208	210	265	261	199	202	221	252	216	222	250	2,682
	2019	219	275	229	262	279	249	255	239	284	252	223	179	2,945
	2020	130	138	177	205	248	225	189	192	226	163	167	224	2,284
初診件数 (件)	2018	1,713	1,827	1,835	1,854	1,810	1,543	1,756	1,731	1,768	2,213	1,671	1,674	21,395
	2019	1,704	1,791	1,697	1,881	1,787	1,587	1,871	1,765	1,970	1,987	1,549	1,408	20,997
	2020	916	970	1,280	1,474	1,402	1,379	1,508	1,376	1,360	1,187	1,221	1,542	15,615
紹介率 (%)	2018	50.0	47.1	51.0	55.2	49.1	52.8	55.3	54.1	51.4	36.2	52.8	53.3	50.4
	2019	50.9	50.4	51.7	54.7	53.4	54.1	55.5	55.9	50.1	47.1	54.3	58.6	52.9
	2020	58.8	55.3	57.7	59.4	58.8	59.5	60.9	62.1	62.1	56.4	63.1	66.5	60.3
逆紹介件数 (件)	2018	426	415	479	452	425	427	474	476	418	409	438	506	5,345
	2019	441	392	448	677	419	441	442	452	480	458	383	589	5,622
	2020	337	328	500	500	492	476	511	465	475	464	459	649	5,656
逆紹介率 (%)	2018	24.9	22.7	26.1	24.4	23.5	27.7	27.0	27.5	23.6	18.5	26.2	30.2	25.0
	2019	25.9	21.9	26.4	36.0	23.4	27.8	23.6	25.6	24.4	23.0	24.7	41.8	26.8
	2020	36.8	33.8	39.1	33.9	35.1	34.5	33.9	33.8	34.9	39.1	37.6	42.1	36.2

紹介・逆紹介率



診療科別紹介・逆紹介統計（内科系）

（単位：件）

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
総合診療科	初診紹介件数	16	22	23	42	30	36	24	34	45	31	40	39	382
	救急車数	2	6	4	8	10	3	4	7	6	4	8	5	67
	初診件数	78	79	110	162	126	106	103	148	152	143	116	136	1,459
	紹介率(%)	23.1	35.4	24.5	30.9	31.7	36.8	27.2	27.7	33.6	24.5	41.4	32.4	30.8
	逆紹介件数	5	10	16	11	14	5	7	5	8	2	8	12	103
	逆紹介率(%)	6.4	12.7	14.5	6.8	11.1	4.7	6.8	3.4	5.3	1.4	6.9	8.8	7.1
消化管内科	初診紹介件数	39	31	59	60	53	56	73	61	63	49	55	66	665
	救急車数	20	23	21	43	53	43	32	28	46	36	27	29	401
	初診件数	108	110	176	188	194	201	223	170	185	175	151	192	2,073
	紹介率(%)	54.6	49.1	45.5	54.8	54.6	49.3	47.1	52.4	58.9	48.6	54.3	49.5	51.4
	逆紹介件数	6	14	18	25	29	23	37	23	25	16	20	31	267
	逆紹介率(%)	5.6	12.7	10.2	13.3	14.9	11.4	16.6	13.5	13.5	9.1	13.2	16.1	12.9
肝胆膵内科	初診紹介件数	9	12	18	14	23	18	27	30	23	20	29	25	248
	救急車数	4	6	8	5	6	8	4	9	3	5	3	10	71
	初診件数	22	29	26	21	45	46	49	45	42	31	47	37	440
	紹介率(%)	59.1	62.1	100.0	90.5	64.4	56.5	63.3	86.7	61.9	80.6	68.1	94.6	72.5
	逆紹介件数	3	3	7	5	3	4	8	6	5	3	8	6	61
	逆紹介率(%)	13.6	10.3	26.9	23.8	6.7	8.7	16.3	13.3	11.9	9.7	17.0	16.2	13.9
循環器科	初診紹介件数	19	23	17	41	39	27	22	27	36	26	44	49	370
	救急車数	15	20	30	34	32	32	30	30	37	22	28	38	348
	初診件数	56	60	68	102	108	89	86	88	118	66	92	105	1,038
	紹介率(%)	60.7	71.7	69.1	73.5	65.7	66.3	60.5	64.8	61.9	72.7	78.3	82.9	69.2
	逆紹介件数	43	43	62	59	63	50	59	51	46	57	58	69	660
	逆紹介率(%)	76.8	71.7	91.2	57.8	58.3	56.2	68.6	58.0	39.0	86.4	63.0	65.7	63.6
血液内科	初診紹介件数	12	14	12	15	18	11	18	8	12	7	11	19	157
	救急車数	21	24	26	25	40	33	39	23	38	22	30	36	357
	初診件数	34	37	44	62	67	47	57	32	42	29	31	48	530
	紹介率(%)	97.1	102.7	86.4	64.5	86.6	93.6	100.0	96.9	119.0	100.0	132.3	114.6	97.0
	逆紹介件数	7	12	14	12	12	14	10	6	10	10	13	11	131
	逆紹介率(%)	20.6	32.4	31.8	19.4	17.9	29.8	17.5	18.8	23.8	34.5	41.9	22.9	24.7
腎臓内科	初診紹介件数	4	9	18	19	16	22	19	19	18	10	17	26	197
	救急車数	3	1	4	4	5	4	2	3	6	3	2	6	43
	初診件数	8	11	23	30	20	31	33	25	23	19	18	36	277
	紹介率(%)	87.5	90.9	95.7	76.7	105.0	83.9	63.6	88.0	104.3	68.4	105.6	88.9	86.6
	逆紹介件数	12	8	15	10	11	16	17	23	26	14	18	16	186
	逆紹介率(%)	150.0	72.7	65.2	33.3	55.0	51.6	51.5	92.0	113.0	73.7	100.0	44.4	67.1
呼吸器科	初診紹介件数	28	10	33	36	30	29	29	29	35	32	36	38	365
	救急車数	13	7	11	11	22	12	16	21	19	7	12	11	162
	初診件数	76	35	64	73	62	58	61	55	77	62	71	71	765
	紹介率(%)	53.9	48.6	68.8	64.4	83.9	70.7	73.8	90.9	70.1	62.9	67.6	69.0	68.9
	逆紹介件数	29	23	32	26	31	26	29	19	37	31	19	26	328
	逆紹介率(%)	38.2	65.7	50.0	35.6	50.0	44.8	47.5	34.5	48.1	50.0	26.8	36.6	42.9
糖尿病内科	初診紹介件数	3	2	3	6	3	3	1	2	2	1	1	5	32
	救急車数	3	0	0	4	7	0	1	3	2	0	1	1	22
	初診件数	7	5	6	10	12	4	1	6	3	1	2	5	62
	紹介率(%)	85.7	40.0	50.0	100.0	83.3	75.0	200.0	83.3	133.3	100.0	100.0	120.0	87.1
	逆紹介件数	4	3	5	4	8	4	3	2	2	4	4	5	48
	逆紹介率(%)	57.1	60.0	83.3	40.0	66.7	100.0	300.0	33.3	66.7	400.0	200.0	100.0	77.4
脳神経内科	初診紹介件数	10	12	18	22	15	13	15	17	9	6	17	15	169
	救急車数	4	2	0	4	4	5	0	2	0	3	2	0	26
	初診件数	19	25	28	40	30	32	26	28	22	17	30	28	325
	紹介率(%)	73.7	56.0	64.3	65.0	63.3	56.3	57.7	67.9	40.9	52.9	63.3	53.6	60.0
	逆紹介件数	11	13	16	23	26	18	16	19	19	12	7	31	211
	逆紹介率(%)	57.9	52.0	57.1	57.5	86.7	56.3	61.5	67.9	86.4	70.6	23.3	110.7	64.9
睡眠呼吸障害センター	初診紹介件数	2	2	7	10	4	5	6	6	10	8	7	9	76
	救急車数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	初診件数	4	2	11	12	9	6	10	8	14	12	9	11	108
	紹介率(%)	50.0	100.0	63.6	83.3	44.4	83.3	60.0	75.0	71.4	66.7	77.8	81.8	70.4
	逆紹介件数	3	3	5	1	5	3	3	6	4	1	9	6	49
	逆紹介率(%)	75.0	150.0	45.5	8.3	55.6	50.0	30.0	75.0	28.6	8.3	100.0	54.5	45.4

診療科別紹介・逆紹介統計（外科系）

（単位：件）

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
外科	初診紹介件数	39	27	19	31	27	25	29	25	34	27	22	31	336
	救急車数	2	1	3	1	3	3	2	2	4	3	1	3	28
	初診件数	70	45	50	68	68	65	82	56	53	60	49	64	730
	紹介率(%)	58.6	62.2	44.0	47.1	44.1	43.1	37.8	48.2	71.7	50.0	46.9	53.1	49.9
	逆紹介件数	17	11	20	16	14	18	16	8	19	22	14	18	193
	逆紹介率(%)	24.3	24.4	40.0	23.5	20.6	27.7	19.5	14.3	35.8	36.7	28.6	28.1	26.4
整形外科	初診紹介件数	25	25	21	34	28	27	32	35	40	30	24	44	365
	救急車数	17	12	27	31	17	30	28	18	24	24	16	22	266
	初診件数	69	108	122	149	130	151	131	133	130	123	110	149	1,505
	紹介率(%)	60.9	34.3	39.3	43.6	34.6	37.7	45.8	39.8	49.2	43.9	36.4	44.3	41.9
	逆紹介件数	52	45	45	57	47	68	71	61	69	60	55	69	699
	逆紹介率(%)	75.4	41.7	36.9	38.3	36.2	45.0	54.2	45.9	53.1	48.8	50.0	46.3	46.4
泌尿器科	初診紹介件数	132	141	214	220	203	215	294	246	196	164	204	294	2,523
	救急車数	14	22	16	14	23	18	11	20	22	17	18	24	219
	初診件数	280	315	417	422	426	408	523	437	402	355	386	495	4,866
	紹介率(%)	52.1	51.7	55.2	55.5	53.1	57.1	58.3	60.9	54.2	51.0	57.5	64.2	56.4
	逆紹介件数	77	96	164	142	133	119	128	128	112	143	127	177	1,546
	逆紹介率(%)	27.5	30.5	39.3	33.6	31.2	29.2	24.5	29.3	27.9	40.3	32.9	35.8	31.8
婦人科	初診紹介件数	34	32	47	62	35	51	67	62	42	51	54	53	590
	救急車数	1	2	1	4	1	0	0	2	1	0	1	1	14
	初診件数	48	67	80	98	59	87	109	101	69	70	81	95	964
	紹介率(%)	72.9	50.7	60.0	67.3	61.0	58.6	61.5	63.4	62.3	72.9	67.9	56.8	62.7
	逆紹介件数	27	10	29	42	38	36	34	37	34	33	47	61	428
	逆紹介率(%)	56.3	14.9	36.3	42.9	64.4	41.4	31.2	36.6	49.3	47.1	58.0	64.2	44.4
脳神経外科	初診紹介件数	7	9	10	6	10	13	15	10	11	6	6	13	116
	救急車数	11	12	26	17	25	34	20	23	18	17	18	38	259
	初診件数	42	45	61	46	57	71	50	49	49	52	45	69	636
	紹介率(%)	42.9	46.7	59.0	50.0	61.4	66.2	70.0	67.3	59.2	44.2	53.3	73.9	59.0
	逆紹介件数	10	5	10	10	11	21	14	14	16	9	12	27	159
	逆紹介率(%)	23.8	11.1	16.4	21.7	19.3	29.6	28.0	28.6	32.7	17.3	26.7	39.1	25.0
放射線科	初診紹介件数	30	27	43	52	42	44	58	51	42	39	37	75	540
	救急車数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	初診件数	29	26	41	56	42	44	57	52	42	39	40	73	541
	紹介率(%)	103.4	103.8	104.9	92.9	100.0	100.0	101.8	98.1	100.0	100.0	92.5	102.7	99.8
	逆紹介件数	25	27	42	52	45	49	55	53	38	43	39	78	546
	逆紹介率(%)	86.2	103.8	102.4	92.9	107.1	111.4	96.5	101.9	90.5	110.3	97.5	106.8	100.9
歯科 歯科口腔外科	初診紹介件数	39	46	52	71	60	63	79	54	48	54	67	71	704
	救急車数	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1
	初診件数	126	130	150	194	184	158	190	161	165	144	173	175	1,950
	紹介率(%)	31.0	35.4	34.7	36.6	32.6	39.9	41.6	34.2	29.1	37.5	38.7	40.6	36.2
	逆紹介件数	48	40	47	65	59	68	70	59	50	55	63	77	701
	逆紹介率(%)	38.1	30.8	31.3	33.5	32.1	43.0	36.8	36.6	30.3	38.2	36.4	44.0	35.9

5. 科別手術室統計

(単位：件)

診療科	年	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
内科	2019	56	49	56	56	38	38	37	56	59	47	58	58	608
	2020	35	38	49	45	56	52	64	49	60	56	43	50	597
消化管内科	2019	0	0	0	0	1	1	1	2	3	3	0	2	13
	2020	2	3	0	0	0	2	1	1	1	0	0	2	12
肝胆膵内科	2019	0	0	0	2	1	1	1	0	2	2	1	0	10
	2020	0	0	4	0	0	2	3	0	1	1	1	0	12
循環器科	2019	42	37	40	42	27	25	26	39	35	31	42	40	426
	2020	21	17	37	30	37	35	41	30	45	41	34	33	401
血液内科	2019	0	1	0	0	0	1	0	2	0	0	0	1	5
	2020	0	0	0	1	0	1	0	0	1	0	0	0	3
腎臓内科	2019	14	11	16	12	8	10	9	13	19	11	15	15	153
	2020	12	18	8	14	19	12	19	18	12	14	8	15	169
呼吸器科	2019	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1
	2020	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
外科	2019	54	64	59	67	57	69	71	59	65	63	65	65	758
	2020	47	33	43	62	66	61	53	60	50	46	44	69	634
整形外科	2019	54	46	49	46	54	41	56	63	64	58	54	72	657
	2020	39	24	38	42	41	37	43	35	48	42	38	46	473
泌尿器科	2019	201	187	200	226	180	171	185	183	175	182	185	182	2,257
	2020	153	127	162	185	187	190	203	176	179	153	146	168	2,029
婦人科	2019	24	32	35	37	37	23	26	36	37	41	42	35	405
	2020	22	20	27	36	39	33	43	30	29	30	26	44	379
脳神経外科	2019	13	11	12	16	11	12	11	11	16	15	8	6	142
	2020	1	9	8	8	12	6	8	5	5	9	9	11	91
歯科 口腔外科	2019	3	2	3	4	6	3	5	1	5	1	8	8	49
	2020	4	1	2	4	8	2	2	1	4	8	6	10	52
合計	2019	405	391	414	452	383	357	391	409	421	407	420	426	4,876
	2020	301	252	329	382	409	381	416	356	375	344	312	398	4,255
ESWL (再掲)	2019	1	3	2	4	2	3	0	0	0	3	7	5	30
	2020	3	1	2	6	6	2	3	5	8	3	2	3	44
DS (再掲)	2019	59	64	63	63	63	59	53	61	57	66	68	62	738
	2020	58	49	44	68	59	50	60	55	57	49	46	54	649

[注釈] 消化器内視鏡等は含まず。

6. 健康管理センター統計

(単位：人)

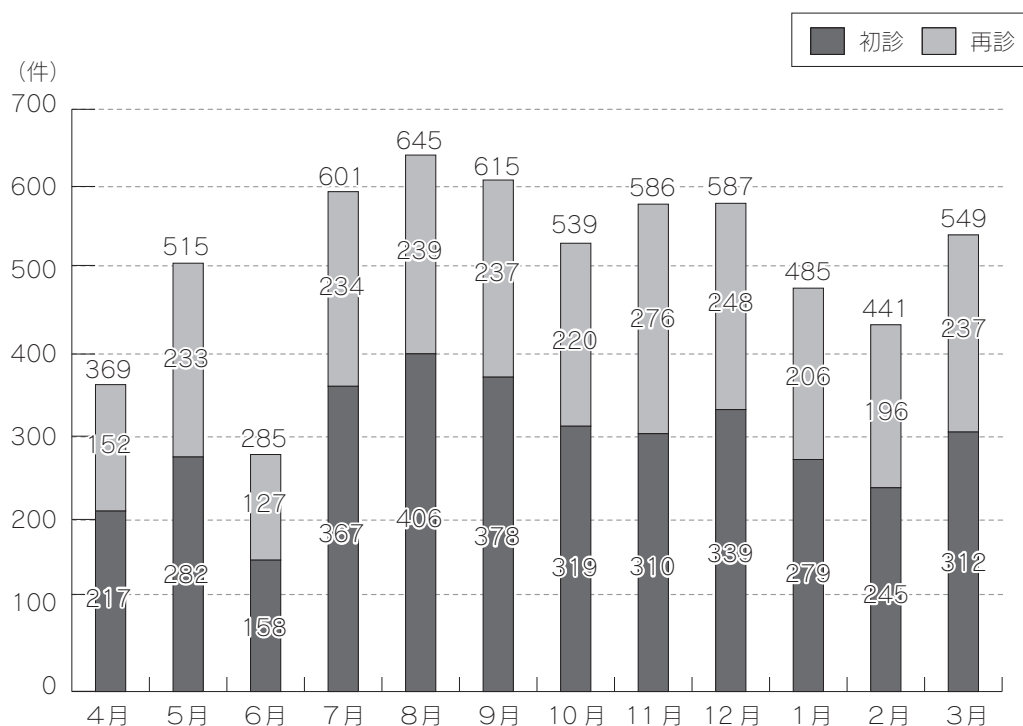
	年	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
外来受診者数	2018	951	1,294	1,471	1,270	1,086	1,281	1,273	1,202	949	932	1,033	1,152	13,894
	2019	1,189	1,175	1,487	1,356	1,226	1,286	1,221	1,247	958	956	1,077	1,043	14,221
	2020	292	160	1,075	1,331	1,211	1,602	1,656	1,476	1,355	1,055	1,108	1,224	13,545
入院ドック (1泊2日) 受診者数	2018	5	6	9	10	7	7	9	6	4	6	3	7	79
	2019	7	2	10	8	6	9	14	9	8	6	1	5	85
	2020	1	0	2	5	5	6	11	8	13	4	7	8	70
合計	2018	956	1,300	1,480	1,280	1,093	1,288	1,282	1,208	953	938	1,036	1,159	13,973
	2019	1,196	1,177	1,497	1,364	1,232	1,295	1,235	1,256	966	962	1,078	1,048	14,306
	2020	293	160	1,077	1,336	1,216	1,608	1,667	1,484	1,368	1,059	1,115	1,232	13,615

7. 救急統計

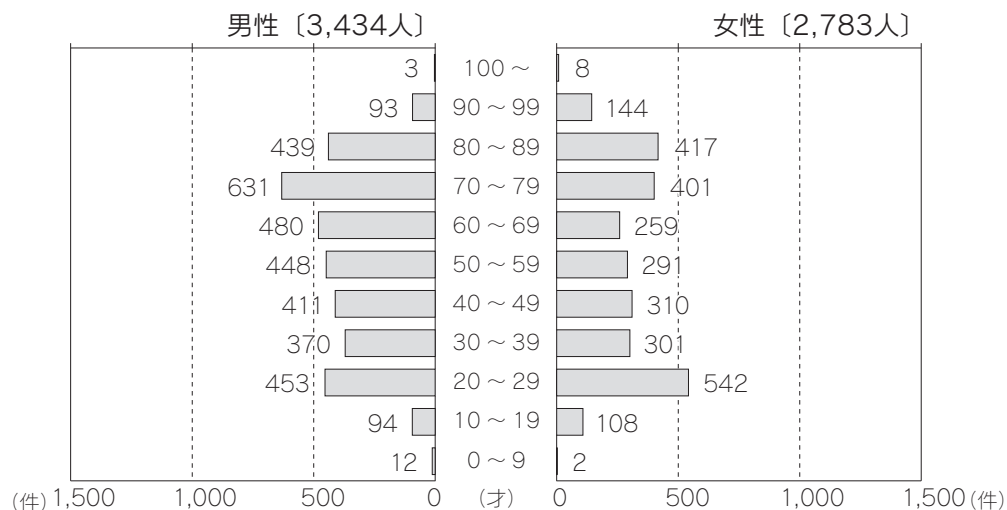
7-1 救急患者数

(単位：件)

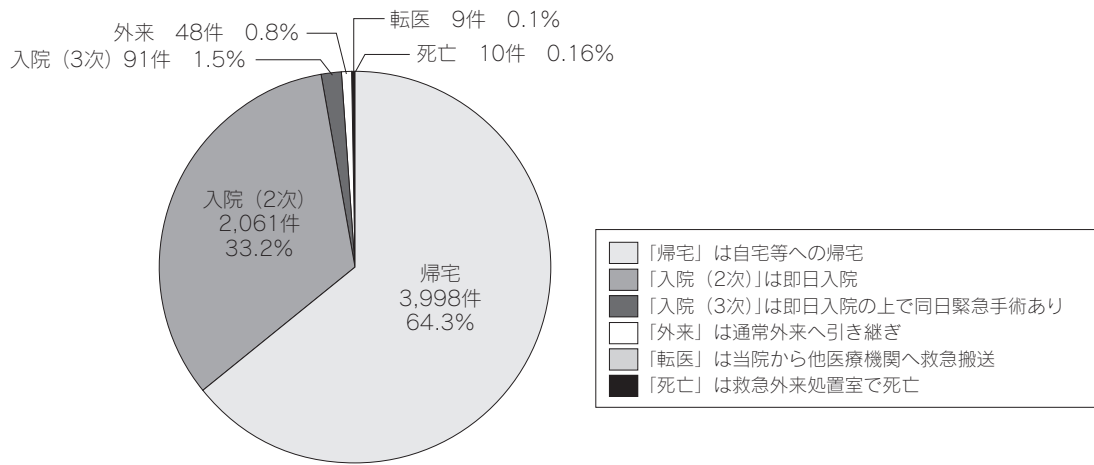
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
救急外来患者数	2019(R1)	583	756	597	625	701	578	650	625	838	881	543	440	7,817
	初診	399	488	386	431	461	384	430	406	586	616	358	282	5,227
	再診	277	352	283	282	339	287	306	295	344	355	271	227	3,618
	2020(R2)	369	515	285	601	645	615	539	586	587	485	441	549	6,217
	初診	217	282	158	367	406	378	319	310	339	279	245	312	3,612
再診	152	233	127	234	239	237	220	276	248	206	196	237	2,605	



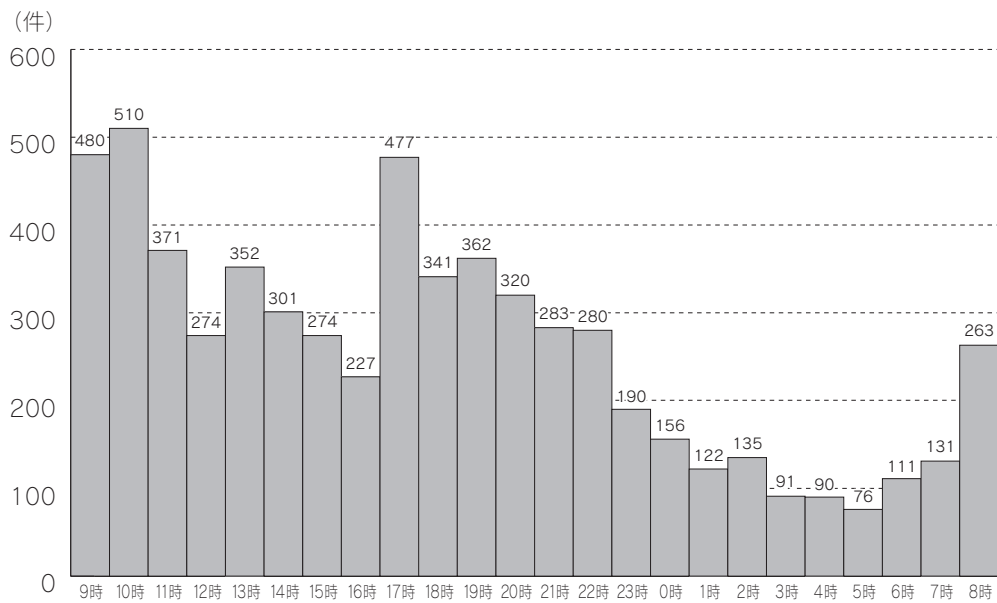
7-2 年齢・性別



7-3 転帰別



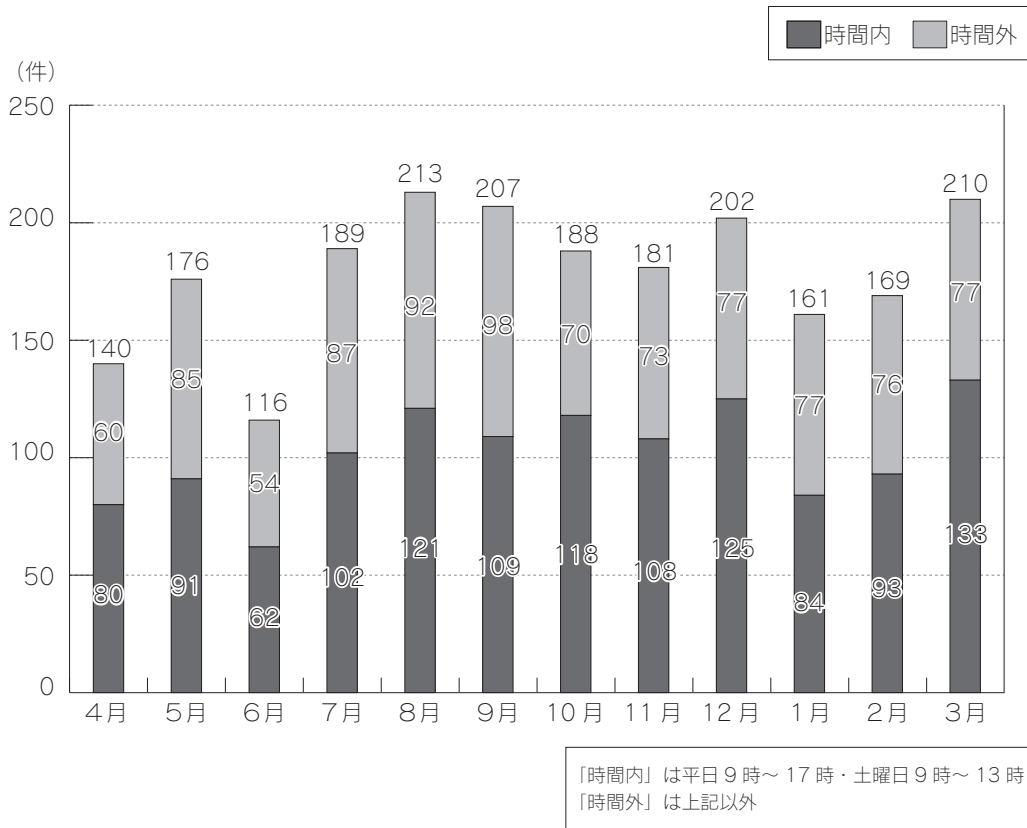
7-4 時間帯別



7-5 (救急統計)緊急入院患者数

(単位：件)

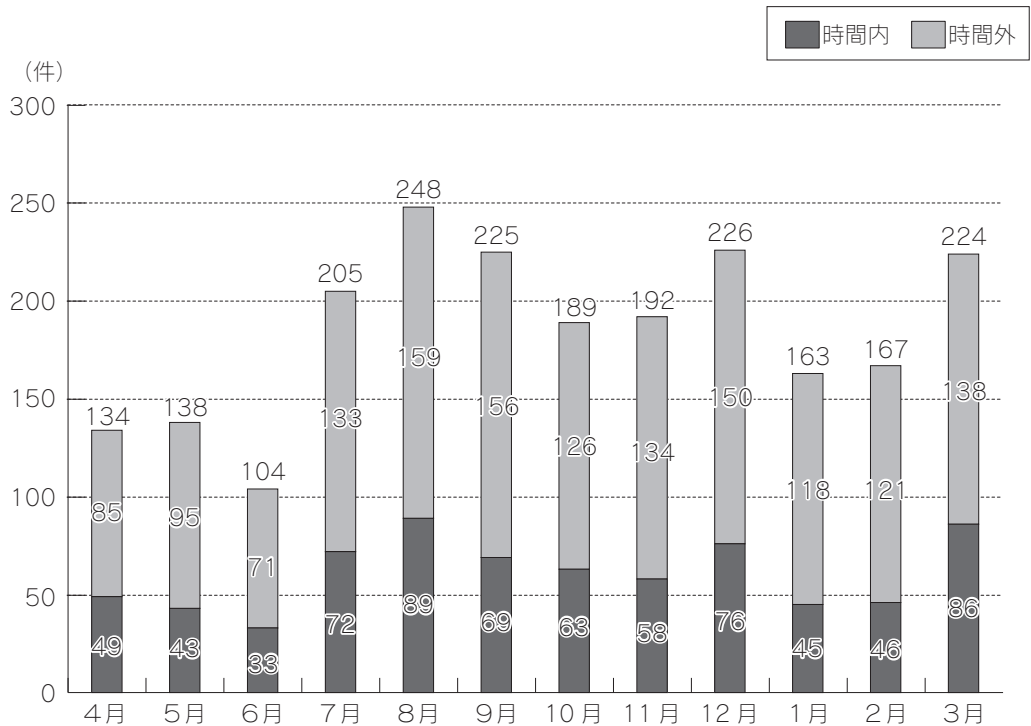
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
緊急入院患者数	2019(R1)	229	243	232	251	262	238	245	218	249	244	203	191	2,805
	時間内	130	109	115	131	140	120	122	101	117	124	117	99	1,425
	時間外	99	134	117	120	122	118	123	117	132	120	86	92	1,380
	2020(R2)	140	176	116	189	213	207	188	181	202	161	169	210	2,152
	時間内	80	91	62	102	121	109	118	108	125	84	93	133	1,226
	時間外	60	85	54	87	92	98	70	73	77	77	76	77	926



7-6 救急車搬入数

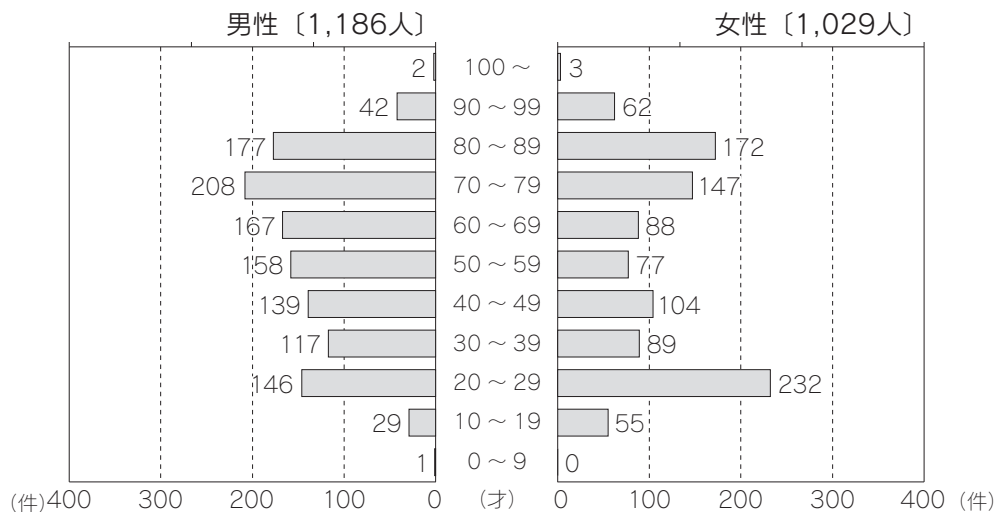
(単位：件)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
救急車搬入数	2019(R1)	218	273	226	262	279	249	255	239	284	252	223	179	2,939
	時間内	68	85	59	85	76	76	71	70	89	84	78	55	896
	時間外	150	188	167	177	203	173	184	169	195	168	145	124	2,043
	2020(R2)	134	138	104	205	248	225	189	192	226	163	167	224	2,215
	時間内	49	43	33	72	89	69	63	58	76	45	46	86	729
	時間外	85	95	71	133	159	156	126	134	150	118	121	138	1,486

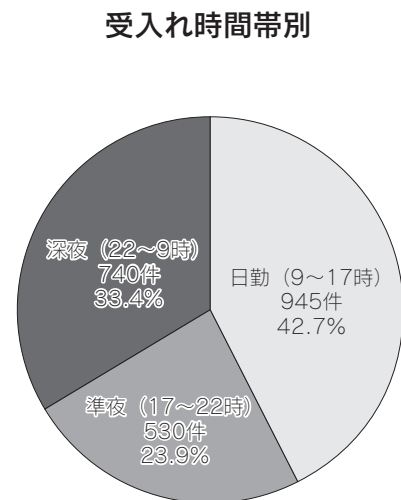
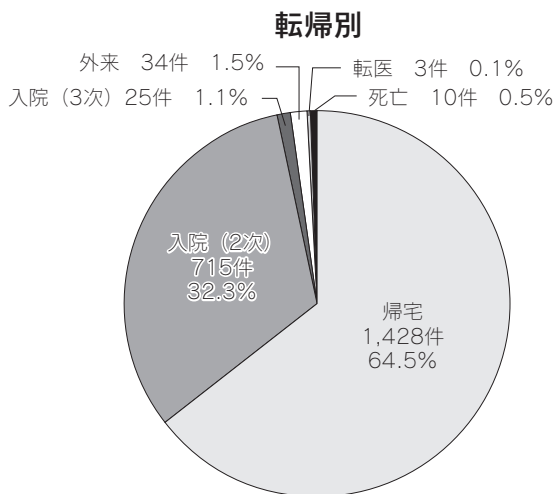
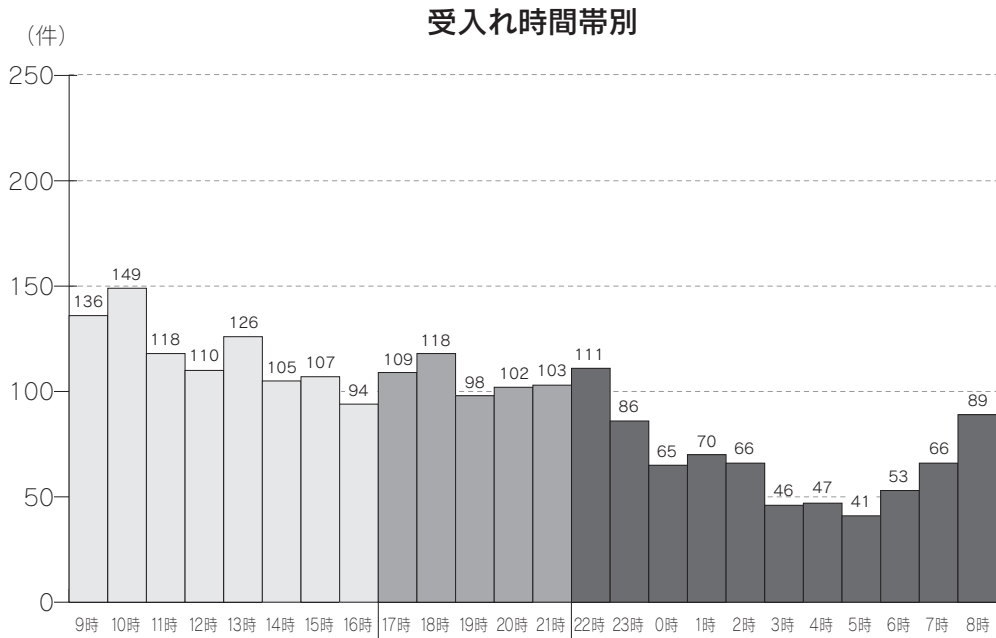
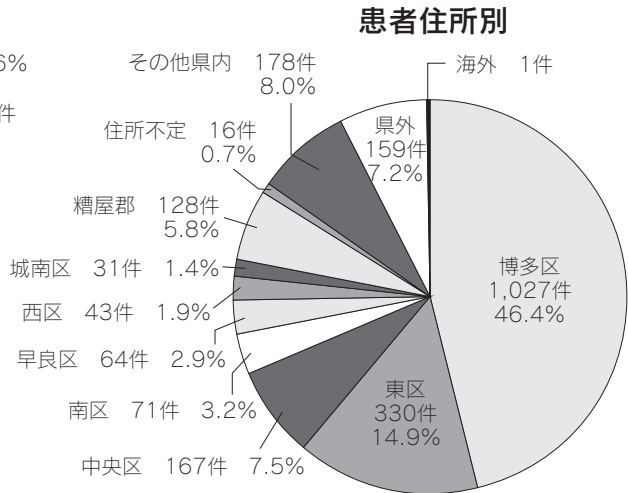
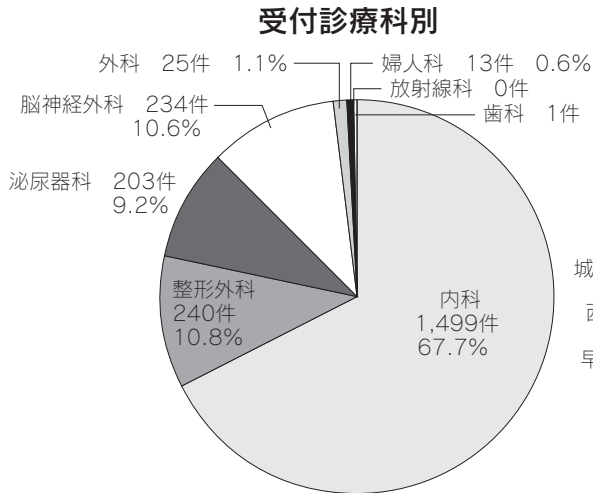


「時間内」は平日9時～17時・土曜日9時～13時
「時間外」は上記以外

7-7 救急車搬入 年齢・性別



7-8 救急車搬入 その他



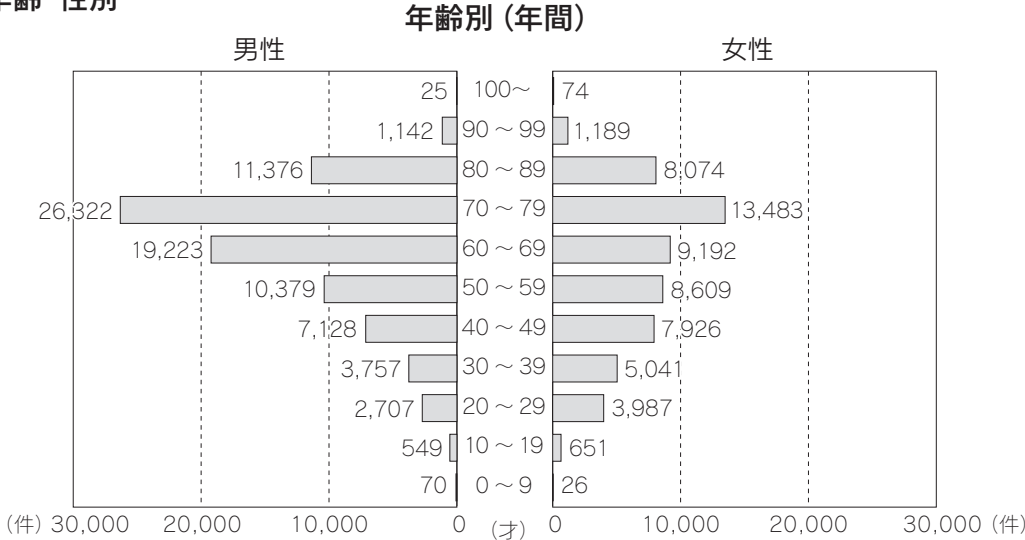
- 「帰宅」は自宅等への帰宅
- 「入院 (2次)」は即日入院
- 「入院 (3次)」は即日入院の上で同日緊急手術あり
- 「外来」は通常外来へ引き継ぎ
- 「転医」は当院から他医療機関へ救急搬送
- 「死亡」は救急外来処置室で死亡

8. 患者構成

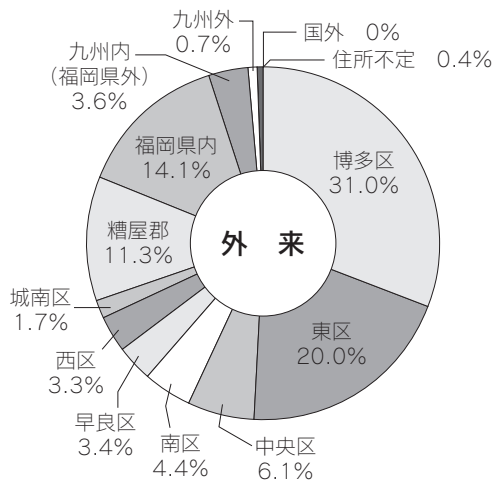
8-1 年齢別患者数（外来）延べ患者数 (単位：件)

年齢	性別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
100～	男性	2	1	2	7	2	5	3	1	0	1	0	1	25
	女性	3	6	5	7	5	6	6	3	12	7	8	6	74
90～99	男性	75	79	104	100	87	82	104	96	101	89	98	127	1,142
	女性	110	96	118	98	85	107	103	90	115	75	88	104	1,189
80～89	男性	785	829	991	987	927	1,013	1,043	985	1,045	843	878	1,050	11,376
	女性	544	553	704	720	638	663	768	697	761	624	624	778	8,074
70～79	男性	1,846	1,830	2,281	2,384	1,998	2,335	2,455	2,249	2,308	2,042	2,103	2,491	26,322
	女性	875	925	1,123	1,252	1,091	1,135	1,327	1,182	1,166	1,100	1,018	1,289	13,483
60～69	男性	1,359	1,243	1,612	1,634	1,537	1,715	1,813	1,652	1,699	1,639	1,528	1,792	19,223
	女性	636	591	824	895	735	728	844	821	775	711	727	905	9,192
50～59	男性	728	657	836	908	889	897	963	834	932	870	846	1,019	10,379
	女性	536	572	696	800	749	768	822	750	771	678	640	827	8,609
40～49	男性	514	460	602	658	589	625	661	570	695	571	563	620	7,128
	女性	467	468	659	666	664	686	776	701	783	623	660	773	7,926
30～39	男性	210	224	293	362	346	380	307	349	362	329	265	330	3,757
	女性	324	347	409	427	447	443	481	427	466	365	424	481	5,041
20～29	男性	193	194	227	233	241	211	249	223	226	224	201	285	2,707
	女性	248	256	331	379	343	362	355	377	304	327	318	387	3,987
10～19	男性	23	38	50	51	76	49	45	38	35	46	38	60	549
	女性	33	32	48	70	61	51	56	52	63	52	54	79	651
0～9	男性	8	10	15	5	7	4	2	5	4	2	2	6	70
	女性	2	0	4	2	2	5	3	1	3	2	1	1	26
合計	男性	5,743	5,565	7,013	7,329	6,699	7,316	7,645	7,002	7,407	6,656	6,522	7,781	82,678
	女性	3,778	3,846	4,921	5,316	4,820	4,954	5,541	5,101	5,219	4,564	4,562	5,630	58,252

8-2 年齢・性別



8-3 地域別患者構成

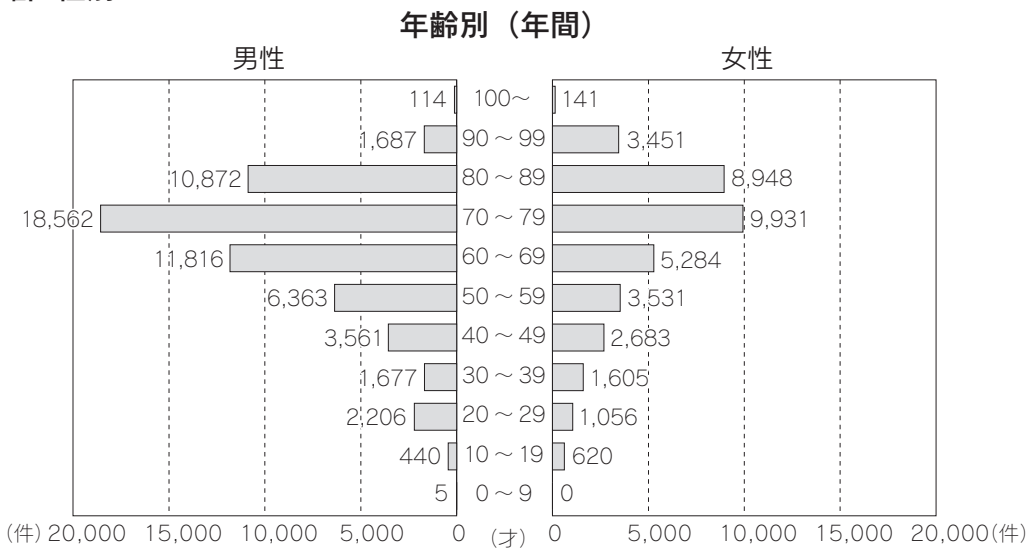


8-4 年齢別患者数（入院） 在院延べ患者数

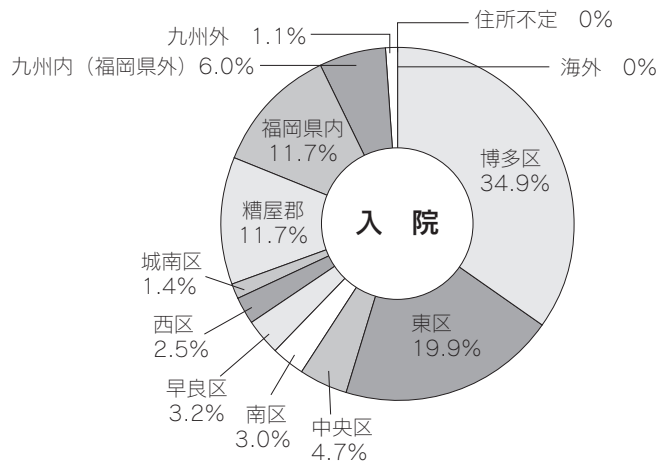
(単位：件)

年齢	性別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
100～	男性	0	0	0	20	31	30	12	21	0	0	0	0	114
	女性	30	25	0	0	0	0	23	18	0	14	10	21	141
90～99	男性	134	106	81	152	155	121	112	105	153	169	184	215	1,687
	女性	320	246	246	203	349	342	264	308	304	277	319	273	3,451
80～89	男性	633	650	784	793	1,048	1,117	1,128	1,021	990	815	883	1,010	10,872
	女性	670	644	529	509	595	640	784	843	919	842	920	1,053	8,948
70～79	男性	1,375	1,304	1,429	1,440	1,731	1,633	1,708	1,355	1,697	1,706	1,469	1,715	18,562
	女性	825	595	640	822	929	922	793	855	977	888	783	902	9,931
60～69	男性	930	866	1,038	950	1,089	886	1,234	885	855	980	1,046	1,057	11,816
	女性	562	393	352	431	378	500	493	442	517	412	321	483	5,284
50～59	男性	425	407	482	576	498	577	537	602	573	519	553	614	6,363
	女性	368	263	245	353	298	269	311	311	302	228	244	339	3,531
40～49	男性	313	236	294	343	320	344	305	299	356	281	271	199	3,561
	女性	219	155	254	203	260	172	156	183	309	222	255	295	2,683
30～39	男性	102	105	69	147	226	163	161	211	130	95	123	145	1,677
	女性	183	106	91	86	197	178	121	116	135	184	108	100	1,605
20～29	男性	234	173	188	196	194	162	189	168	151	133	202	216	2,206
	女性	96	61	61	65	91	106	91	79	83	63	136	124	1,056
10～19	男性	39	35	56	17	30	34	29	48	28	25	46	53	440
	女性	27	0	0	45	48	50	116	16	78	55	51	134	620
0～9	男性	3	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5
	女性	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	男性	4,188	3,882	4,423	4,634	5,322	5,067	5,415	4,715	4,933	4,723	4,777	5,224	57,303
	女性	3,300	2,488	2,418	2,717	3,145	3,179	3,152	3,171	3,624	3,185	3,147	3,724	37,250

8-5 年齢・性別



8-6 地域別患者構成



8-7 退院（転科含む）患者疾病別統計表

(単位：件)

コード	病名		総数	総合診療科	消化管内科	肝胆膵内科	循環器科	血液内科	腎臓内科	呼吸器科	糖尿病内科	脳神経内科	障害睡眠呼吸	外科	整形外科	泌尿器科	婦人科	脳神経外科	歯科・口腔外科	
I	(A00.0-B99) 感染症および寄生虫症	男	62	4	21	5	5	3	0	7	0	0	0	4	0	12	0	1	0	
		女	63	7	20	8	5	3	2	5	0	2	0	5	0	3	2	1	0	
II	(C00.0-D48.9) 新生物	男	1,663	0	186	56	3	152	2	90	0	0	0	156	5	992	0	21	0	
		女	687	0	89	24	1	78	0	23	0	0	0	163	0	126	168	15	0	
III	(D50.0-D89.9) 血液および造血器の疾患ならびに免疫機構の障害	男	17	2	3	1	1	6	0	0	1	0	0	2	0	1	0	0	0	
		女	24	2	1	1	0	12	0	1	0	0	0	3	1	1	1	1	0	
IV	(E00.0-E90) 内分泌・栄養および代謝疾患	男	57	11	2	1	2	4	4	3	18	0	0	3	2	7	0	0	0	
		女	57	15	4	0	4	4	6	1	11	1	0	6	0	3	1	1	0	
V	(F00.0-F99) 精神および行動の障害	男	16	0	4	0	7	0	0	0	0	1	0	0	0	2	0	2	0	
		女	17	2	5	0	7	1	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	
VI	(G00.0-G99.8) 神経系の疾患	男	174	2	0	1	3	0	0	0	0	30	121	0	2	0	0	15	0	
		女	69	2	1	0	0	0	0	0	0	20	26	0	5	0	0	15	0	
VII	(H00.0-H59.9) 眼および付属器の疾患	男	3	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0
		女	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
VIII	(H60.0-H95.9) 耳および乳様突起の疾患	男	6	2	0	0	1	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	1	0
		女	30	18	1	1	5	1	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	2	0
IX	(I00-I99) 循環器系の疾患	男	427	1	8	0	312	5	3	4	0	14	0	0	1	23	0	56	0	
		女	194	3	9	1	124	1	1	4	1	8	0	1	0	4	0	37	0	
X	(J00-J99.8) 呼吸器系の疾患	男	210	12	3	2	17	13	6	141	0	1	0	13	0	0	0	1	1	
		女	89	10	2	0	9	1	0	60	0	0	0	4	1	1	0	1	0	
XI	(K00.0-K93.8) 消化器系の疾患	男	583	2	228	102	2	5	4	1	0	0	0	226	0	3	0	0	10	
		女	342	1	129	47	6	0	1	1	0	0	0	112	0	1	2	0	42	
XII	(L00-L99.8) 皮膚および皮下組織の疾患	男	24	3	0	0	4	1	1	0	0	1	0	2	8	2	0	1	1	
		女	12	3	0	0	4	1	0	1	0	0	0	1	2	0	0	0	0	
XIII	(M00.00-M99.99) 肋骨格系および結合組織の疾患	男	70	5	1	0	0	1	1	2	0	2	0	0	53	1	0	4	0	
		女	100	6	0	0	1	2	7	4	0	3	0	0	75	1	0	1	0	
XIV	(N00-N99.9) 腎尿路生殖器系の疾患	男	711	9	3	1	7	3	81	1	0	2	0	3	0	601	0	0	0	
		女	720	16	5	1	4	2	30	1	0	1	0	18	0	425	217	0	0	
XV	(O00.0-O99.8) 妊娠・分娩および産じょく	男	18	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	18	0	0	
		女	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
XVI	(P00.0-P96.9) 周産期に発生した病態	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		女	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
XVII	(Q00.0-Q99.9) 先天奇形・変形および染色体異常	男	5	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	1	2	0	0	0	0	
		女	5	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0	2	1	0	0	0	
XVIII	(R00.0-R99) 症状・兆候および異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	男	21	1	2	1	3	2	0	4	0	0	0	1	0	7	0	0	0	
		女	17	4	1	0	1	0	0	4	0	2	0	1	1	3	0	0	0	
XIX	(S00.0-T98.3) 損傷・中毒およびその他の外因の影響	男	259	3	4	0	2	2	29	0	0	1	0	7	171	15	0	25	0	
		女	294	6	4	1	7	1	31	2	0	1	0	4	212	3	6	16	0	
XXI	(Z00.0-Z99.9) 健康状態に影響を及ぼす要因および保健サービスの利用	男	45	0	1	0	3	11	0	1	0	0	0	7	0	22	0	0	0	
		女	37	0	0	0	1	13	0	0	0	0	0	1	0	22	0	0	0	
XXII	(U07.1) エマーゼンシーコード	男	13	4	1	0	3	0	0	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		女	13	4	0	0	2	1	0	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
合計		男	4,384	61	467	170	375	211	132	259	19	54	121	425	244	1,688	18	128	12	
		女	2,770	99	271	84	181	121	80	114	12	40	26	319	299	595	397	90	42	
		計	7,154	160	738	254	556	332	212	373	31	94	147	744	543	2,283	415	218	54	

8-8 死亡退院患者疾病別統計表

(単位：件)

コード	病名		総 数	総 合 診 療 科	消 化 管 内 科	肝 胆 脾 内 科	循 環 器 科	血 液 内 科	腎 臓 内 科	呼 吸 器 科	糖 尿 病 内 科	脳 神 経 内 科	障 害 セ ン タ ー	睡 眠 呼 吸 障 害	外 科	整 形 外 科	泌 尿 器 科	婦 人 科	脳 神 経 外 科	歯 科 ・ 口 腔 外 科
I	(A00.0-B99) 感染症および寄生虫症	男	6	0	1	0	2	0	0	1	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0
		女	7	2	1	1	2	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0
II	(C00.0-D48.9) 新生物	男	27	0	0	1	0	13	0	3	0	0	0	0	3	0	5	2	0	0
		女	16	0	0	1	0	8	0	0	0	0	0	0	0	0	3	4	0	0
III	(D50.0-D89.9) 血液および造血器の疾患ならびに免疫機構の障害	男	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		女	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0
IV	(E00.0-E90) 内分泌・栄養および代謝疾患	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		女	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0
V	(F00.0-F99) 精神および行動の障害	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		女	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
VI	(G00.0-G99.8) 神経系の疾患	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		女	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
VII	(H00.0-H59.9) 眼および付属器の疾患	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		女	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
VIII	(H60.0-H95.9) 耳および乳様突起の疾患	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		女	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
IX	(I00-I99) 循環器系の疾患	男	6	0	0	0	2	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0
		女	13	0	1	1	7	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0
X	(J00-I99.8) 呼吸器系の疾患	男	15	0	0	1	2	0	1	11	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		女	7	0	0	0	3	0	0	2	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0
XI	(K00.0-K93.8) 消化器系の疾患	男	6	0	1	4	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		女	2	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
XII	(L00-L99.8) 皮膚および皮下組織の疾患	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		女	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
XIII	(M00.00-M99.99) 筋骨格系および結合組織の疾患	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		女	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0
XIV	(N00-N99.9) 腎尿路生殖器系の疾患	男	2	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0
		女	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
XV	(O00.0-O99.8) 妊娠、分娩および産じょく	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		女	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
XVI	(P00.0-P96.9) 周産期に発生した病態	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		女	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
XVII	(Q00.0-Q99.9) 先天奇形・変形および染色体異常	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		女	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
XVIII	(R00.0-R99) 症状・兆候および異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	男	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		女	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
XIX	(S00.0-T98.3) 損傷・中毒およびその他の外因の影響	男	3	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0
		女	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0
XXI	(Z00.0-Z99.9) 健康状態に影響を及ぼす要因および保健サービスの利用	男	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		女	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
XXII	(U07.1) エマーゼンシーコード	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		女	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計		男	68	0	2	7	7	15	4	16	0	0	0	0	4	0	7	6	0	0
		女	50	2	2	4	13	8	1	3	1	0	0	0	1	3	4	8	0	0
		計	118	2	4	11	20	23	5	19	1	0	0	0	5	3	11	14	0	0

9. 診療実績

〈病院全体〉

DPC14 桁分類

※ girasol データ引用

※ CCPM：手術処置と副傷病等の組み合わせに基づく医療資源必要度分類

※ 短手3：短期滞在手術等基本料3

No.	DPC14 桁	DPC 名称	症例数	平均日数
1	110080xx991xxx	前立腺の悪性腫瘍 手術なし 前立腺針生検法	339	2.5
2	11012xxx020x0x	上部尿路疾患 経尿道的尿路結石除去術等 処置1なし 副傷病なし	273	5.6
3	060100xx01xxxx	小腸大腸の良性疾患(良性腫瘍を含む) 内視鏡的大腸ポリープ・粘膜切除術等	189	3.8
4	110070xx03x20x	膀胱腫瘍 膀胱悪性腫瘍手術 経尿道的手術 電解質溶液利用等 化学療法 副傷病なし	164	7.5
5	030250xx991xxx	睡眠時無呼吸 手術なし 終夜睡眠ポリグラフィ(1及び2以外)	147	2.0
6	110420xx02xx0x	水腎症等 経尿道的尿管ステント留置術等 副傷病なし	126	3.0
7	11013xxx04xxxx	下部尿路疾患 膀胱結石、異物摘出術 経尿道的手術等	114	4.8
8	120090xx97xxxx	生殖器脱出症 手術あり	108	9.4
9	110200xx02xxxx	前立腺肥大症等 経尿道的前立腺手術等	107	7.8
10	110080xx01xxxx	前立腺の悪性腫瘍 前立腺悪性腫瘍手術等	92	13.5
11	060160x001xxxx	鼠径ヘルニア 15歳以上 鼠径ヘルニア手術等	81	5.2
12	120060xx02xxxx	子宮の良性腫瘍 腹腔鏡下腔式子宮全摘術等	80	6.4
13	050050xx9910xx	狭心症、慢性虚血性心疾患 手術なし 心臓カテーテル法による諸検査等 処置2なし	78	4.1
14	110070xx03x0xx	膀胱腫瘍 膀胱悪性腫瘍手術 経尿道的手術 電解質溶液利用等 処置2なし	76	7.4
15	120220xx01xxxx	女性性器のポリープ 子宮全摘術等	75	2.9
16	110310xx99xxxx	腎臓又は尿路の感染症 手術なし	72	14.8
17	060100xxxxlos0	小腸大腸の良性疾患(良性腫瘍を含む)+DPC対象となる病棟に入院していない	65	3.3
18	050050xx0200xx	狭心症、慢性虚血性心疾患 経皮的冠動脈ステント留置術等 処置1なし 処置2なし	62	6.0
19	040040xx9910xx	肺の悪性腫瘍 手術なし 経気管肺生検法等 処置2なし	60	2.8
20	040080xxCCPM04	肺炎等(04) 75歳以上の市中肺炎 手術なし 処置2なし 重症度:中	59	21.6

Kコード別分類

No.	Kコード	手術名称	症例数
1	K7811	経尿道的尿路結石除去術(レーザー)	273
2	K783-2	経尿道的尿管ステント留置術	266
3	K80361	膀胱悪性腫瘍手術(経尿道的手術)(電解質溶液利用)	262
4	K7211	内視鏡的大腸ポリープ・粘膜切除術(長径2cm未満)	218
5	K841-21	経尿道的レーザー前立腺切除・蒸散術(ホルミウムレーザー等使用)	98
6	K672-2	腹腔鏡下胆嚢摘出術	93
7	K843-4	腹腔鏡下前立腺悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いる)	91
8	K5493	経皮的冠動脈ステント留置術(その他)	80
9	K872-31	子宮鏡下有茎粘膜下筋腫切出術、子宮内膜ポリープ切除術(電解質溶液利用)	80
10	K8882	子宮附属器腫瘍摘出術(両側)(腹腔鏡)	69
11	K7212	内視鏡的大腸ポリープ・粘膜切除術(長径2cm以上)	66
12	K8512	会陰形成手術(筋層に及ぶ)	61
13	K7981	膀胱結石(異物)摘出術(経尿道的手術)	61
14	K634	腹腔鏡下鼠径ヘルニア手術(両側)	58
15	K877-2	腹腔鏡下腔式子宮全摘術	57
16	K802-22	膀胱脱手術(その他)	57
17	K688	内視鏡的胆道ステント留置術	53
18	K773-2	腹腔鏡下腎(尿管)悪性腫瘍手術	48
19	K068-2	関節鏡下半月板切除術	48
20	K616-41	経皮的シャント拡張術・血栓除去術(初回)	48

〈内科系〉
総合診療科

No.	DPC14桁	DPC名称	症例数	平均日数
1	110310xx99xxxx	腎臓又は尿路の感染症 手術なし	17	14.2
2	030400xx99xxxx	前庭機能障害 手術なし	10	5.9
3	100380xxxxxxxx	体液量減少症	10	8.5
3	180030xxxxadv	その他の感染症(真菌を除く)+高額薬剤使用等によりDPC対象外	8	10.3
5	040081xx99x0xx	誤嚥性肺炎 手術なし 処置2なし	7	20.7
6	100380xxxxlos0	体液量減少症+DPC対象となる病棟に入院していない	6	34.2
6	100393xx99xxxx	その他の体液・電解質・酸塩基平衡障害 手術なし	5	11.2
8	040080xxCCPM04	肺炎等(04) 75歳以上の市中肺炎 手術なし 処置2なし 重症度:中	5	18.4
9	080270xxxx0xxx	食物アレルギー 処置1なし	3	2.7
10	050140xx99x00x	高血圧性疾患 手術なし 処置2なし 副傷病なし	3	6.0

脳神経内科

No.	DPC14桁	DPC名称	症例数	平均日数
1	010060xxCCPM02	脳梗塞(02) 手術なし 処置1なし 脳血管疾患等リハ(2) 副傷病なし/水頭症等(1) 他	7	14.3
2	010160xx99x00x	パーキンソン病 手術なし 処置2なし 副傷病なし	7	22.9
3	010160xx99x10x	パーキンソン病 手術なし SPECT 等 副傷病なし	6	26.5
4	010060xxCCPM04	脳梗塞(04) 手術なし 処置1なし ラジカット(4) 副傷病なし/水頭症等(1) 他	5	20.6
5	010060xxCCPM01	脳梗塞(01) 手術なし 処置1なし 処置2なし 他	3	5.7
6	010110xxxx4xx	免疫介在性・炎症性ニューロパチー ガンマグロブリン	3	20.7
7	010160xxxxlos0	パーキンソン病 +DPC 対象となる病棟に入院していない	3	56.7
8	030400xx99xxxx	前庭機能障害 手術なし	2	2.5
9	050130xx9900xx	心不全 手術なし 処置1なし 処置2なし等	2	12.0
10	010230xxxxlos0	てんかん+DPC対象となる病棟に入院していない	2	23.0

消化管内科

No.	DPC14桁	DPC名称	症例数	平均日数
1	060100xx01xxxx	小腸大腸の良性疾患(良性腫瘍を含む)内視鏡的大腸ポリープ・粘膜切除術等	187	3.8
2	060100xxxxlos0	小腸大腸の良性疾患(良性腫瘍を含む)+DPC 対象となる病棟に入院していない	65	3.3
3	060102xx99xxxx	穿孔又は膿瘍を伴わない憩室性疾患 手術なし	44	7.6
4	060020xx04xxxx	胃の悪性腫瘍 内視鏡的胃、十二指腸ポリープ・粘膜切除術等	36	9.1
5	060090xx02xxxx	胃の良性腫瘍 内視鏡的消化管止血術等	30	7.1
6	060210xx99000x	ヘルニアの記載のない腸閉塞 手術なし 処置1なし 処置2なし 副傷病なし	28	8.0
7	060102xx02xxxx	穿孔又は膿瘍を伴わない憩室性疾患 内視鏡的消化管止血術等	19	17.2
8	060010xx02xx0x	食道の悪性腫瘍(頸部を含む)内視鏡的消化管止血術等 副傷病なし	18	9.1
9	060190xx99x0xx	虚血性腸炎 手術なし 処置2なし	15	6.9
10	060380xxxx00x	ウイルス性腸炎 処置2なし 副傷病なし	15	8.5

肝胆膵内科

No.	DPC14桁	DPC名称	症例数	平均日数
1	060340xx03x00x	胆管(肝内外)結石、胆管炎 内視鏡的胆道ステント留置術等 処置2なし 副傷病なし	31	11.6
2	060050xx99000x	肝・肝内胆管の悪性腫瘍(続発性を含む)手術なし 処置1なし 処置2なし 副傷病なし	23	6.3
3	060290xx99x0xx	慢性肝炎(慢性C型肝炎を除く)手術なし 処置2なし	17	14.2
4	060350xx99x00x	急性膵炎 手術なし 処置2なし 副傷病なし	15	10.5
5	060050xx97x0xx	肝・肝内胆管の悪性腫瘍(続発性を含む)その他手術あり 処置2なし	11	10.8
6	060340xx99x0xx	胆管(肝内外)結石、胆管炎 手術なし 処置2なし	10	16.9
7	060270xx99x0xx	劇症肝炎、急性肝不全、急性肝炎 手術なし 処置2なし	8	9.0
8	060280xxxxxxxx	アルコール性肝障害	8	13.0
9	060300xx99x00x	肝硬変(胆汁性肝硬変を含む)手術なし 処置2なし 副傷病なし	7	15.1
10	060050xx99040x	肝・肝内胆管の悪性腫瘍(続発性を含む)手術なし 処置1なし 化学療法ありかつ放射線療法なし 副傷病なし	6	20.0

循環器科

No.	DPC14桁	DPC名称	症例数	平均日数
1	050050xx9910xx	狭心症、慢性虚血性心疾患 手術なし 心臓カテーテル法による諸検査等 処置2なし	78	4.1
2	050050xx0200xx	狭心症、慢性虚血性心疾患 経皮的冠動脈ステント留置術等 処置1なし 処置2なし	61	6.0
3	050130xx9900xx	心不全 手術なし 処置1なし 処置2なし等	39	20.8
4	050070xx01x0xx	頻脈性不整脈 経皮的カテーテル心筋焼灼術等 処置2なし	28	5.8
5	050030xx97000x	急性心筋梗塞 (統病併症を含む)、再発性心筋梗塞 その他手術あり 処置1なし 処置2なし 副傷病なし	22	11.8
6	050170xx03000x	閉塞性動脈疾患 四肢の血管拡張術・血栓除去術等 処置1なし 処置2なし 副傷病なし	21	7.1
7	050050xx9920xx	狭心症、慢性虚血性心疾患 手術なし 心カテ検査 + 血管内超音波検査等 処置2なし	19	3.7
8	050210xx97000x	徐脈性不整脈 手術あり 処置1なし 処置2なし 副傷病なし	17	19.7
9	050070xx9900xx	頻脈性不整脈 手術なし 処置1なし 処置2なし	12	6.9
10	050130xx9910xx	心不全 手術なし 心臓カテーテル法による諸検査等 処置2なし等	11	23.1

血液内科

※ adv ; DPC 対象外

No.	DPC14桁	DPC名称	症例数	平均日数
1	130030xx99x5xx	非ホジキンリンパ腫 手術なし リツキサン + グラン等	19	38.1
2	130010xx97x2xx	急性白血病 手術あり 化学療法	18	58.8
3	130030xx99x9xx	非ホジキンリンパ腫 手術なし ガザイバ	16	25.9
4	130040xxxxadv	多発性骨髄腫、免疫系悪性新生物 + 高額薬剤使用等により DPC 対象外	14	51.4
5	130030xx99x6xx	非ホジキンリンパ腫 手術なし ヘルケイト等	13	26.5
6	130060xx99x4xx	骨髄異形成症候群 手術なし アザシチジン	12	16.2
7	130010xxxxadv	急性白血病 + 高額薬剤使用等により DPC 対象外	10	134.2
8	130040xx99x6xx	多発性骨髄腫、免疫系悪性新生物 手術なし エムプリシティ等	9	33.8
9	040080xxCCPM02	肺炎等 (02) 15歳～74歳の市中肺炎 手術なし 処置2なし 副傷病なし 重症度:中	8	23.3
10	130040xx97x00x	多発性骨髄腫、免疫系悪性新生物 手術あり 処置2なし 副傷病なし	7	29.1

腎臓内科

No.	DPC14桁	DPC名称	症例数	平均日数
1	180040xx97x0xx	手術・処置等の合併症 手術あり 処置2なし	37	2.2
2	110280xx9900xx	慢性腎炎症候群・慢性間質性腎炎・慢性腎不全 手術なし 処置1なし 処置2なし	32	13.1
3	110280xx02x1xx	慢性腎炎症候群・慢性間質性腎炎・慢性腎不全 血管移植術、バイパス移植術等 人工腎臓	21	46.8
4	110280xx02x00x	慢性腎炎症候群・慢性間質性腎炎・慢性腎不全 血管移植術、バイパス移植術等 処置2なし 副傷病なし	15	11.1
5	110280xx9901xx	慢性腎炎症候群・慢性間質性腎炎・慢性腎不全 手術なし 処置1なし 人工腎臓	9	27.7
6	110280xx03x0xx	慢性腎炎症候群・慢性間質性腎炎・慢性腎不全 血管結紮術 その他のもの等 処置2なし	6	6.8
7	110260xx99x0xx	ネフローゼ症候群 手術なし 処置2なし	6	22.2
8	180040xxxxlos0	手術・処置等の合併症 +DPC 対象となる病棟に入院していない	4	18.3
9	110280xx97x1xx	慢性腎炎症候群・慢性間質性腎炎・慢性腎不全 その他手術あり 人工腎臓	4	28.3
10	100393xx99xxxx	その他の体液・電解質・酸塩基平衡障害 手術なし	3	14.0

呼吸器科

No.	DPC14桁	DPC名称	症例数	平均日数
1	040040xx9910xx	肺の悪性腫瘍 手術なし 経気管肺生検法等 処置2なし	60	2.8
2	040080xxCCPM04	肺炎等 (04) 75歳以上の市中肺炎 手術なし 処置2なし 重症度:中	44	19.6
3	040080xxCCPM01	肺炎等 (01) 15歳～74歳の市中肺炎 手術なし 処置2なし 副傷病なし 軽症	18	11.5
4	040110xxxx0xx	間質性肺炎 処置2なし	15	34.3
5	040200xx99x00x	気胸 手術なし 処置2なし 副傷病なし	14	11.4
6	040080xxCCPM02	肺炎等 (02) 15歳～74歳の市中肺炎 手術なし 処置2なし 副傷病なし 重症度:中	13	15.1
7	040081xx99x0xx	誤嚥性肺炎 手術なし 処置2なし	12	19.3
8	040120xx99000x	慢性閉塞性肺疾患 手術なし 処置1なし 処置2なし 副傷病なし	10	22.1
9	040040xx9900xx	肺の悪性腫瘍 手術なし 処置1なし 処置2なし	9	14.1
10	040040xx99060x	肺の悪性腫瘍 手術なし 処置1なし ザーコリ等 副傷病なし	9	43.0

糖尿病内科

No.	DPC14桁	DPC名称	症例数	平均日数
1	10007xxxxx1xx	2型糖尿病（糖尿病性ケトアシドーシスを除く）インスリン製剤（注射薬に限る）	18	13.2
2	10007xxxxx0xx	2型糖尿病（糖尿病性ケトアシドーシスを除く）処置2なし	2	5.0
3	100040xxxx00x	糖尿病性ケトアシドーシス、非ケトン昏睡 処置2なし 副傷病なし	2	16.5
4	100040xxxxx24	糖尿病性ケトアシドーシス、非ケトン昏睡 + 入院から24時間以内の死亡（DPC対象外）	1	1.0
5	030410xxxxxxx	めまい（末梢前庭以外）	1	2.0
6	10007xxxxxlos0	2型糖尿病（糖尿病性ケトアシドーシスを除く）+DPC対象となる病棟に入院していない	1	7.0
7	040081xx99x0xx	誤嚥性肺炎 手術なし 処置2なし	1	8.0
8	130090xx99x0xx	貧血（その他）手術なし 処置2なし	1	9.0
9	060130xx9900xx	食道、胃、十二指腸、他腸の炎症（その他良性疾患）手術なし 処置1なし 処置2なし	1	21.0
10	160690xx99xxxx	胸椎、腰椎以下骨折損傷（胸・腰髄損傷を含む）手術なし	1	23.0

睡眠呼吸障害センター

No.	DPC14桁	DPC名称	症例数	平均日数
1	030250xx991xxx	睡眠時無呼吸 手術なし 終夜睡眠ポリグラフィ（1及び2以外）	147	2.0
2	040080xxCCPM04	肺炎等(04) 75歳以上の市中肺炎 手術なし 処置2なし 重症度:中	3	10.3
3	050130xx9900xx	心不全 手術なし 処置1なし 処置2なし等	2	16.0
4	040080xxCCPM08	肺炎等(08) 15歳以上の市中肺炎 手術あり 処置2なし 他	2	42.0
5	161060xx99x0xx	詳細不明の損傷等 手術なし 処置2なし	1	3.0
6	130060xx99x4xx	骨髄異形成症候群 手術なし アザシチジン	1	6.0
7	060380xxxx00x	ウイルス性腸炎 処置2なし 副傷病なし	1	7.0
8	050210xx97000x	徐脈性不整脈 手術あり 処置1なし 処置2なし 副傷病なし	1	15.0
9	050130xx9910xx	心不全 手術なし 心臓カテーテル法による諸検査等 処置2なし等	1	21.0
10	050130xx9701xx	心不全 その他手術あり 処置1なし 人工呼吸	1	34.0

〈外科系〉

外科

No.	DPC14桁	DPC名称	症例数	平均日数
1	060160x001xxxx	鼠径ヘルニア 15歳以上 鼠径ヘルニア手術等	81	5.2
2	060335xx02000x	胆嚢炎等 胆嚢摘出術等 処置1なし 処置2なし 副傷病なし	46	7.3
3	060035xx010x0x	結腸（虫垂を含む）の悪性腫瘍 結腸切除術等 処置1なし 副傷病なし	38	23.6
4	060150xx03xxxx	虫垂炎 虫垂切除術 虫垂周囲膿瘍を伴わない等	33	6.6
5	060330xx02xxxx	胆嚢疾患（胆嚢結石など）胆嚢摘出術等	32	6.4
6	060150xx02xxxx	虫垂炎 虫垂切除術 虫垂周囲膿瘍を伴う等	19	8.6
7	060020xx02xxxx	胃の悪性腫瘍 胃切除術等	18	26.7
8	060170xx02xxxx	閉塞、壊疽のない腹腔のヘルニア ヘルニア手術等	17	11.6
9	040040xx97x00x	肺の悪性腫瘍 手術あり 処置2なし 副傷病なし	14	15.8
10	110310xx99xxxx	腎臓又は尿路の感染症 手術なし	12	5.8

乳腺内分泌外科

No.	DPC14桁	DPC名称	症例数	平均日数
1	090010xx010xxx	乳房の悪性腫瘍 乳腺悪性腫瘍手術 乳房切除術等 処置1なし	24	10.5
2	090010xx02xxxx	乳房の悪性腫瘍 乳腺悪性腫瘍手術 乳房部分切除術（腋窩部郭清を伴わない）	16	9.0
3	090010xx97x0xx	乳房の悪性腫瘍 その他手術あり 処置2なし等	7	3.7
4	090010xx97x4xx	乳房の悪性腫瘍 その他手術あり シクロホスファミド + 塩酸エビルピシンあり等	6	18.2
5	100220xx01xxxx	原発性副甲状腺機能亢進症、副甲状腺腫瘍 副甲状腺腫過形成手術 副甲状腺摘出術等	4	7.5
6	100020xx010xxx	甲状腺の悪性腫瘍 甲状腺悪性腫瘍手術等 処置1なし	4	8.8
7	090010xx99x2xx	乳房の悪性腫瘍 手術なし 放射線療法	4	40.8
8	180050xx97x0xx	その他の悪性腫瘍 手術あり 処置2なし	2	6.0
9	100130xx97x0xx	甲状腺の良性結節 手術あり 処置2なし	2	8.0
10	090020xx97xxxx	乳房の良性腫瘍 手術あり	2	9.0

整形外科

No.	DPC14桁	DPC名称	症例数	平均日数
1	160620xx01xxxx	肘、膝の外傷（スポーツ障害等を含む）骨移植術等	50	18.8
2	160800xx01xxxx	股関節・大腿近位の骨折 人工関節置換術等	39	27.2
3	160620xx02xxxx	肘、膝の外傷（スポーツ障害等を含む）関節鏡下半月板切除術等	33	7.2
4	160760xx97xx0x	前腕の骨折 手術あり 副傷病なし	31	12.7
5	070085xx97xxxx	滑膜炎、腱鞘炎、軟骨などの炎症（上肢以外）手術あり	25	19.0
6	070370xx99xxxx	脊椎骨粗鬆症 手術なし	21	21.4
7	070230xx01xxxx	膝関節症（変形性を含む）人工関節置換術等	20	36.6
8	160620xx97xxxx	肘、膝の外傷（スポーツ障害等を含む）その他手術あり	16	5.5
9	160780xx97xx0x	手関節周辺の骨折・脱臼 手術あり 副傷病なし	14	9.0
10	160850xx01xxxx	足関節・足部の骨折・脱臼 骨折観血の手術等	13	36.8

泌尿器科

No.	DPC14桁	DPC名称	症例数	平均日数
1	110080xx991xxx	前立腺の悪性腫瘍 手術なし 前立腺針生検法	339	2.5
2	11012xxx020x0x	上部尿路疾患 経尿道的尿路結石除去術等 処置1なし 副傷病なし	273	5.6
3	110070xx03x20x	膀胱腫瘍 膀胱悪性腫瘍手術 経尿道的手術 電解質溶液利用等 化学療法 副傷病なし	164	7.5
4	110420xx02xx0x	水腎症等 経尿道的尿管ステント留置術等 副傷病なし	121	3.0
5	11013xxx04xxxx	下部尿路疾患 膀胱結石、異物摘出術 経尿道的手術等	114	4.8
6	110200xx02xxxx	前立腺肥大症等 経尿道的前立腺手術等	107	7.8
7	110080xx01xxxx	前立腺の悪性腫瘍 前立腺悪性腫瘍手術等	92	13.5
8	110070xx03x0xx	膀胱腫瘍 膀胱悪性腫瘍手術 経尿道的手術 電解質溶液利用等 処置2なし	76	7.4
9	120090xx97xxxx	生殖器脱出症 手術あり	67	10.1
10	110070xx99x20x	膀胱腫瘍 手術なし 化学療法 副傷病なし	58	10.3
11	11012xxx97xx0x	上部尿路疾患 その他手術あり 副傷病なし	56	6.7
12	110080xxxxlos0	前立腺の悪性腫瘍 +DPC 対象となる病棟に入院していない	51	2.5
13	11012xxx04xxxx	上部尿路疾患 体外衝撃波腎・尿管結石破砕術	41	1.4
14	11001xxx01x0xx	腎腫瘍 腎（尿管）悪性腫瘍手術等 処置2なし	38	13.4
15	11022xxx01xxxx	男性生殖器疾患 鼠径ヘルニア手術等	35	3.6
16	110060xx99x20x	腎盂・尿管の悪性腫瘍 手術なし 化学療法 副傷病なし	35	11.6
17	110080xx9903xx	前立腺の悪性腫瘍 手術なし 処置1なし 化学療法等	32	26.8
18	110060xx01x0xx	腎盂・尿管の悪性腫瘍 腎（尿管）悪性腫瘍手術等 処置2なし	28	14.2
19	110310xx99xxxx	腎臓又は尿路の感染症 手術なし	26	9.1
20	110070xx99x0xx	膀胱腫瘍 手術なし 処置2なし	23	7.3

婦人科

No.	DPC14桁	DPC名称	症例数	平均日数
1	120060xx02xxxx	子宮の良性腫瘍 腹腔鏡下腔式子宮全摘術等	80	6.4
2	120220xx01xxxx	女性性器のポリープ 子宮全摘術等	75	2.9
3	120070xx02xxxx	卵巣の良性腫瘍 子宮附属器腫瘍摘出術等	44	5.6
4	120090xx97xxxx	生殖器脱出症 手術あり	40	8.3
5	120100xx02xxxx	子宮内膜症 腹腔鏡下腔式子宮全摘術等	31	5.7
6	120230xx02xxxx	子宮の非炎症性障害 子宮頸部（腔部）切除術等	30	2.3
7	120060xx01xxxx	子宮の良性腫瘍 子宮全摘術等	27	10.1
8	120130xx97xxxx	異所性妊娠（子宮外妊娠）手術あり	9	6.0
9	120120xx99xxxx	卵巣・卵管・広間膜の非炎症性疾患 手術なし	8	3.5
10	120110xx99xxxx	子宮・子宮附属器の炎症性疾患 手術なし	8	7.6

脳神経外科

No.	DPC14桁	DPC名称	症例数	平均日数
1	010060xxCCPM04	脳梗塞（04）手術なし 処置1なし ラジカット（4）副傷病なし / 水頭症等（1）他	18	21.2
2	160100xx97x00x	頭蓋・頭蓋内損傷 その他手術あり 処置2なし 副傷病なし	14	15.7
3	160100xx99x00x	頭蓋・頭蓋内損傷 手術なし 処置2なし 副傷病なし	10	7.7
4	010230xx99x00x	てんかん 手術なし 処置2なし 副傷病なし	9	10.1
5	010060xxCCPM02	脳梗塞（02）手術なし 処置1なし 脳血管疾患等リハ（2）副傷病なし / 水頭症等（1）他	9	19.1
6	010010xx9900xx	脳腫瘍 手術なし 処置1なし 処置2なし等	7	27.0
7	010040x099000x	非外傷性頭蓋内血腫（非外傷性硬膜下血腫以外）JCS10未満 手術なし 処置1なし 処置2なし 副傷病なし	6	14.3
8	010010xx02x00x	脳腫瘍 頭蓋内腫瘍摘出術等 処置2なし等 副傷病なし	6	22.2
9	010060xxCCPM07	脳梗塞（07）手術なし / 経皮的脳血管形成術等 処置1なし tPA（5）副傷病なし / 水頭症等（1）他	6	24.2
10	010010xx990Axx	脳腫瘍 手術なし 処置1なし テモゾロミド注射等	5	9.2

10. 診療技術部統計

薬剤科

(単位：件)

項 目	2018年度(H30年度)	2019年度(R1年度)	2020年度(R2年度)	1日平均	
処方枚数	入院	66,529	64,899	57,033	194.7
	外来	5,472	4,952	3,645	12.4
	計	72,001	69,851	60,678	207.1
調剤数	入院	131,815	129,671	116,903	399.0
	外来	8,589	7,762	5,728	19.5
	計	140,404	137,433	122,631	418.5
延調剤数	入院	751,416	786,912	726,725	2,480.3
	外来	64,637	61,460	49,217	168.0
	計	816,053	848,372	775,942	2,648.3
薬剤管理指導件数	9,890	9,567	8,200	28.0	

超音波検査科

(単位：件)

項 目	2018年度(H30年度)	2019年度(R1年度)	2020年度(R2年度)	1日平均
内 科	3,915	3,671	3,354	11.4
外 科	2,905	3,081	3,172	10.8
泌尿器科	28,183	25,587	20,011	68.1
婦人科	5,262	4,918	4,751	16.2
健 診	6,379	6,661	6,435	21.9
ウロダイナミクス	858	753	519	1.8
合 計	47,502	44,671	38,242	130.1

ドック(再掲)	100	91	77	0.3
穿刺(再掲)	635	677	583	2.0

リハビリテーション科

(単位：件)

項 目	2018年度(H30年度)	2019年度(R1年度)	2020年度(R2年度)	1日平均
運 動 器	13,860	21,577	19,838	81.3
脳 血 管	8,114	6,993	12,355	50.6
呼 吸 器	4,019	3,713	5,304	21.7
心 大 血 管	3,526	3,704	4,366	17.9
がんリハビリ	10,745	10,174	10,480	43.0
廃用症候群	3,378	5,790	6,924	28.4
リハビリ総合計画評価料	2,101	1,999	1,790	7.3

栄養科（給食件数）

（単位：件）

項 目	2018年度(H30年度)	2019年度(R1年度)	2020年度(R2年度)	1日平均	
一般食	常食	139,884	133,164	103,323	282.3
	軟食	11,182	13,227	16,149	44.1
	特室食	14,657	16,347	12,246	33.5
	計	165,723	162,738	131,718	359.9
特食	特食(加算)	71,075	72,166	72,896	199.2
	特食(非加算)	27,950	31,001	25,306	69.1
	計	99,025	103,167	98,202	268.3
その他(検食)	4,234	4,102	4,050	11.1	
合計	268,982	270,007	233,970	639.3	
			1食平均	213.1	

栄養科（栄養指導）

（単位：件）

項 目	2018年度(H30年度)	2019年度(R1年度)	2020年度(R2年度)	1日平均
糖尿病	175	185	165	0.5
循環器疾患	103	173	227	0.6
脂質異常症	9	23	0	0.0
腎臓病	740	698	721	2.0
透析	302	307	247	0.7
その他	87	101	156	0.4
合計	1,416	1,487	1,516	4.1

臨床工学科

（単位：件）

項 目	2018年度(H30年度)	2019年度(R1年度)	2020年度(R2年度)	1日平均	
人工呼吸器 使用回数	挿管・気切	45	56	23	0.1
	マスク	52	58	30	0.1
	計	97	114	53	0.2
ペースメーカー	植込・交換	24	12	18	0.1
	外来チェック	133	138	115	0.5
	病棟チェック	23	16	20	0.1
	計	180	166	153	0.6
透析回数 <small>※透析回数のみ312 日で計算しています</small>	腎クリニック	17,669	16,602	15,913	51.0
	腎センター	2,279	1,967	2,063	6.6
	計	19,948	18,569	17,976	73.4
血液浄化回数	21	19	22	0.1	
修理件数	院内修理	171	123	88	0.4
	院外修理	21	18	25	0.1
	計	192	141	113	0.5
ハイパー サーミア	新患	46	35	35	0.1
	件数	1,142	902	809	3.3

放射線科（検査件数）

（単位：件）

項 目		2018年度(H30年度)	2019年度(R1年度)	2020年度(R2年度)	1日平均	
単 純	胸 部	31,334	31,464	27,374	93.1	
	腹 部	3,674	3,895	3,254	11.1	
	尿 路 系	8,174	7,618	6,867	23.4	
	骨 格	7,615	8,594	7,423	25.2	
	乳 房	2,950	3,019	2,864	9.7	
計		53,747	54,590	47,782	162.5	
造 影	消 化 器	胃・食道	3,616	3,610	3,480	11.8
		大 腸	93	92	79	0.3
		胆 嚢・胆 管	0	3	3	0.0
		術 中 胆 管	111	91	70	0.2
	計		3,820	3,796	3,632	12.4
	H S G		47	60	38	0.1
	尿 路 系		1,189	864	735	2.5
	透 視 下 造 影		1,485	1,376	1,246	4.2
計		6,541	6,096	5,651	19.2	
C T（東館1F）		14,429	14,082	12,215	41.5	
C T（救急外来）		2,271	2,524	3,874	13.2	
M R I		5,671	5,767	5,150	17.5	
R I		1,085	1,029	791	2.7	
R I（治療）		34	31	29	0.1	
心臓カテーテル		574	426	407	1.4	
一般アンギオ		139	183	157	0.5	
骨 塩 定 量		955	979	847	2.9	
合 計		85,446	85,707	76,903	261.6	

放射線科（治療件数）

項 目	2018年度(H30年度)	2019年度(R1年度)	2020年度(R2年度)	1日平均
外 部 照 射	5,682	6,605	5,632	19.2
治 療 計 画 C T	296	300	259	0.9
密 封 小 線 源	3	3	0	0.0

臨床検査科（検体検査）

（単位：件）

項 目		2018年度(H30年度)	2019年度(R1年度)	2020年度(R2年度)	1日平均	
検 体	一般検査	一 般	123,978	111,959	96,121	326.9
		糞 便	394	380	382	1.3
		精 液	210	256	177	0.6
		計	124,582	112,595	96,680	329
	血液検査	一 般	108,131	100,246	92,509	314.7
		凝 固	32,097	26,103	24,313	82.7
		骨 髄	874	903	772	2.6
		血 ガ ス	1,647	1,812	1,426	4.9
		計	142,749	129,064	119,020	405
	生化学検査	単 項 目	1,385,514	1,304,069	1,202,001	4,088.4
		免 疫 血 清	8,841	8,897	8,366	28.5
		輸 血	11,056	11,099	10,177	34.6
		感 染	13,046	13,285	15,655	53.2
		腫瘍マーカー	35,037	34,567	32,083	109.1
		治験・院内業務	99	100	232	0.8
	計	1,453,593	1,372,017	1,268,514	4,315	
	細菌検査	培 養	13,441	11,700	9,731	33.1
		同 定	5,291	5,120	4,494	15.3
		感 受 性	5,227	5,085	4,423	15.0
		S T D	274	233	270	0.9
		そ の 他	10,361	9,053	7,166	24.4
		院 内 業 務	528	513	497	1.7
	計	35,122	31,704	26,581	90	
	計	1,756,046	1,645,380	1,510,795	5,139	
	健 診	検 尿・ 検 便	17,119	19,169	15,338	52
		血 液	11,481	11,707	11,519	39
		生化学・免疫	181,801	183,237	173,657	591
計		210,401	214,113	200,514	682.0	
合 計	1,966,447	1,859,493	1,711,309	5,821		
外 注 検 査		44,177	41,858	39,158	133.2	

臨床検査科（生理検査）

(単位：件)

項 目		2018年度(H30年度)	2019年度(R1年度)	2020年度(R2年度)	1日平均
主な生理検査	心電図	11,600	10,652	9,199	31.3
	特殊心電図	762	699	885	3.0
	心エコー	6,216	5,740	5,639	19.2
	肺機能	4,019	4,064	3,378	11.5
	脳波	191	198	208	0.7
	心臓カテーテル	452	345	301	1.0
	R1心筋シンチ	113	122	80	0.3
	その他	1,934	1,785	1,640	5.6
計	25,287	23,605	21,330	72.6	
健診	心電図	10,849	11,148	10,838	36.9
	聴力	11,140	11,412	10,958	37.3
	眼底	4,287	4,391	4,220	14.4
	肺活量	3,443	3,547	55	0.2
	その他	609	655	566	1.9
計	30,328	31,153	26,637	90.6	
睡眠ポリグラフ	203	219	146	0.5	
合 計	55,818	54,977	48,113	163.6	

外注検査	198	209	280	1.0
------	-----	-----	-----	-----

臨床検査科（病理検査）

(単位：件)

項 目		2018年度(H30年度)	2019年度(R1年度)	2020年度(R2年度)	1日平均
細胞検査	泌尿器科	6,068	5,599	4,551	15.5
	婦人科	2,048	1,840	1,731	5.9
	呼吸器科	476	340	241	0.8
	外科	362	606	816	2.8
	その他	171	184	166	0.6
計	9,125	8,569	7,505	25.5	
病理検査	組織検査	5,102	4,717	4,036	13.7
	迅速	58	37	46	0.2
	免疫染色	553	585	537	1.8
計	5,713	5,339	4,619	15.7	
合 計	14,838	13,908	12,124	41.2	

健診	婦人科	2,287	2,322	2,188	7.4
	呼吸器科	76	52	53	0.2
	計	2,363	2,374	2,241	7.6

解剖	2	1	0	0.0
----	---	---	---	-----

1. 論文・著書

〈診療部〉

呼吸器科

筆頭著者	発表課題名	発表誌名		
		掲載著書	巻(号・章):ページ	年号
穴井 諭	Splenic volume in pneumococcal pneumonia patients is associated with disease severity and mortality	Journal of Infection and Chemotherapy		2020年 5月
高木 陽一 (櫻井 優子の代理)	突発性縦隔気腫9例の臨床的検討	月刊地域医学	Vol.34 No.11	2020年 11月

外科

筆頭著者	発表課題名	発表誌名		
		掲載著書	巻(号・章):ページ	年号
当間 宏樹	腹壁ヘルニアに対するTEPの手法を応用した内視鏡下腹膜外修復法	日本内視鏡外科学会雑誌	第25巻 第5	2020年 9月
藤井 圭	ヘルニアなどのシート固定法①(タッカーの固定法を中心に)	内視鏡外科手術 役立つテクニック100		2020年 10月

泌尿器科

筆頭著者	発表課題名	発表誌名		
		掲載著書	巻(号・章):ページ	年号
横溝 晃	Salvage Radiotherapy Versus Hormone Therapy for Prostate-specific Antigen Failure After Radical Prostatectomy: A Randomised, Multicentre, Open-label, Phase 3 Trial (JCOG0401)	European Urology	77(6): 689-698	2020年 6月
	特集 前立腺がんの診断と治療— update 2021 治療 2) 根治的前立腺摘除術後の再発に対する救済放射線治療	泌尿器科	13(1): 31-37	2021年 1月
武井実根雄	座談会 私たちの力で変える泌尿器科の手術と術前・術後看護—変遷・魅力・未来—	泌尿器 Care & Cure Uro-Lo	25(1): 8-19	2020年 2月
	夜間頻尿診療ガイドライン 第2版	日本排尿機能学会、 日本泌尿器科学会 編: 夜間頻尿診療ガイドライン 第2版		2020年 5月
	Ⅲ 各種疾患、病態における代表的な UDS 所見 3. 過活動膀胱 (overactive bladder: OAB) / 7. 女性膀胱出口部閉塞 (1) 膀胱頸部閉塞 / (2) 尿失禁術後尿排出障害 / 10. 間質性膀胱炎 (interstitial cystitis: IC)	見てわかるウロダイナミクス - これであなたもエキスパート!!	3:203-209 7: (1) 229-238 (2) 239-245 (3) 259-264	2020年 6月
	解説 低活動膀胱の診断ポイント	泌尿器科	11(6): 768-775	2020年 6月
	特集 慢性骨盤痛症候群、その正体は? 排尿障害からみる慢性前立腺炎や間質性膀胱炎の実態	泌尿器科	12(6): 633-639	2020年 12月
	19 泌尿器科疾患 膀胱・尿道結石	今日の治療指針 2021年版	1,218-1,219	2021年 1月
野村 博之	泌尿器科診療の最新スタンダード 下部尿路機能障害 前立腺肥大症:手術治療	臨床泌尿器科 増刊号	74(4): 181-183	2020年 4月
	特集2: 低侵襲前立腺肥大症手術(レーザー)の現状と今後 波長980nmの高出力ダイオードレーザーを用いた前立腺肥大症に対する接触式レーザー前立腺蒸散術(CVP)の初期経験	Japanese Journal of Endourology	33(1): 40-44	2020年 7月
	話題 抗血栓療法中の患者に対する接触式レーザー前立腺蒸散術(CVP)の安全性と有効性に関する検討	泌尿器科	12(4):431-435	2020年 10月
	特集 始めよう!新たに2020年保険収載された手術・検査・管理指導経尿道的レーザー前立腺蒸散術	泌尿器外科	33(10): 1,291-1,295	2020年 10月
	特集 泌尿器科医のためのクリニカル・パール—いま伝えたい箴言・格言・アフォリズム 〈下部尿路機能障害/小児・女性・アンドロロジー/結石・感染症/腎不全編〉 〈下部尿路機能障害〉 レーザー前立腺蒸散術のクリニカル・パール	臨床泌尿器科	74(12): 926-932	2020年 11月
眞崎 拓朗	特集3: 上部尿路結石治療の標準化~ Precision な結石治療のためにPNLの標準化	Japanese Journal of Endourology	33(1): 55-65	2020年 4月
	特集 尿路結石治療のパラダイムシフト PNLの現状と治療成功のための工夫	泌尿器科	11(5): 528-538	2020年 5月

筆頭著者	発表課題名	発表誌名		
		掲載著書	巻(号・章):ページ	年号
真崎 拓朗	特集 斜に構えて尿路結石を切る —必ず遭遇するイレギュラーケースにどう対処するか?〈リスクに応じた対処〉抗血栓療法の対処 drug off or on?	臨床泌尿器科	75(3):236-246	2021年 3月

脳神経外科

筆頭著者	発表課題名	発表誌名		
		掲載著書	巻(号・章):ページ	年号
森岡 隆人	Terminal syringomyelia associated with lumbar limited dorsal myeloschisis.	Child's Nervous System	36(4):819-826	2020年 4月
	Neurosurgical pathology and management of limited dorsal myeloschisis with congenital dermal sinus in infancy.	Pediatric Neurosurgery	55(2):113-125	2020年
	Congenital dermal sinus elements in each tethering stalk of coexisting thoracic limited dorsal myeloschisis and retained medullary cord.	Pediatric Neurosurgery	55(6):380-387	2020年
舟越 勇介	Intraoperative tissue expansion using a Foley catheter for a scalp defect: Technical Note.	World Neurosurgery	143:63-67	2020年 11月

〈看護部〉

看護部長室

筆頭著者	発表課題名	発表誌名		
		掲載著書	巻(号・章):ページ	年号
田原 恒	透析室清拭・消毒の見直しと費用の検討	日本透析医学会雑誌	53巻6	2020年 6月

腎臓病センター

筆頭著者	発表課題名	発表誌名		
		掲載著書	巻(号・章):ページ	年号
徳田 勝哉	透析室の臨床推論 不整脈	透析ケア 2020	第206巻9号	2020年 9月
	日本臨床腎臓病看護研究会 (JSCNN) COVID-19対策委員会の活動報告	日本血液浄化技術学会雑誌	第28巻2号	2020年 12月
	私の心に残った患者さん	透析ケア 2021	vol.27 no.1	2021年 1月

〈診療技術部〉

リハビリテーション科

筆頭著者	発表課題名	発表誌名		
		掲載著書	巻(号・章):ページ	年号
高橋 大	聴覚的理解が可能であった単語においても LASC error を認めた表層性失書の1例	音声言語医学	Vol.61, No.3	2020年 7月

2. 学会

〈診療部〉

消化管内科

筆頭発表者	発表課題名	開催日	場所	学会名称
原口 和大	表在性非乳頭部十二指腸上皮性腫瘍腫瘍 (SNADET) に対するESDの現状と治療成績の検討：多施設共同研究	2020年 9月2日	京都府 Web開催	第99回 日本消化器内視鏡学会総会
麻生 暁	遠隔医療を利用した日本から世界へ発信する胆膵内視鏡医の教育プログラムの現状	2020年 6月19日	福岡 紙上開催	第109回 日本消化器内視鏡学会九州 支部例会
	切除不能胃癌に対する免疫チェックポイント阻害薬投与後サルベージ化学療法の現状	2020年 8月12日	広島県 Web開催	第106回 日本消化器病学会総会
	EUS-FNAによる極微量腹水診断が有用であった成人発症、粘膜型好酸球性胃腸炎の一例	2020年 9月2日	京都府 Web開催	第99回 日本消化器内視鏡学会総会
	当科における悪性大腸狭窄に対するSelf expandable metallic stent (SEMS) と化学療法を組み合わせたInterventional oncologyの現状	2020年 9月2日		
	当院における消化管難治性瘻孔に対するPGAシートとフィブリン糊を用いたEndoscopic transmural salvage treatmentの有用性	2020年 11月5日	兵庫県 誌上開催	第100回 日本消化器内視鏡学会総会
気管ステント留置術により救済化学療法が可能となった食道気管瘻の1例	2020年 12月10日	徳島県 Web開催	第74回 日本食道学会学術集会	

循環器科

筆頭発表者	発表課題名	開催日	場所	学会名称
山岡 慶士	冠縮により誘発された冠動脈解離の一例	2020年 11月29日	宮崎県 Web開催	第331回 日本内科学会九州地方会
山本 光孝	複雑化するインターベンション時代での臨床工学技士の果たすべき役割	2021年 1月30日	熊本県 Web開催	第15回 九州・沖縄臨床工学会

血液内科

筆頭発表者	発表課題名	開催日	場所	学会名称
上村 智彦	Daratumumab-based therapy がもたらす 初発骨髄腫治療の展望	2020年 10月23日	東京都 Web開催	第82回 日本血液学会学術集会
	招聘講演3 Venetoclax が切り拓く 新しい CLL 治療	2020年 11月28日	大阪府 Web開催	第114回 近畿血液学地方会
	メディカルセミナー 41 移植患者に対する チーム医療の必要性 ～ SOS (肝類洞閉塞症候群) 対策も含めて ～	2021年 2月21日	京都府 Web開催	第18回 日本臨床腫瘍学会学術集会
	イブニングセミナー 1 多発性骨髄腫における初期治療の重要性	2021年 3月6日	東京都 ハイブリッド開催	第43回 日本造血細胞移植学会総会

外科

筆頭発表者	発表課題名	開催日	場所	学会名称
当間 宏樹	腹壁ヘルニアに対する新しい低侵襲手術 (eTEP) の可能性について～開腹術との比較～	2020年 8月15日	神奈川県 Web開催	第120回 日本外科学会定期学術集会
	10年間の治療成績に基づく発生部位別の腹壁ヘルニア手術のベストプラクティス	2020年 11月3日	東京都 Web開催	第18回 日本ヘルニア学会学術集会
	腹腔鏡下鼠径ヘルニア修復術 (TEP) の習得に向けて	2020年 12月24日	久留米 Web開催	第45回 日本外科系連合学会学術集会
藤井 圭	当院における女性鼠径部ヘルニアの手術成績と今後の課題	2020年 11月3日	東京都 Web開催	第18回 日本ヘルニア学会学術集会
	原発性虫垂癌7例に関する検討	2020年 12月15日	和歌山県 Web開催	第75回 日本消化器外科学会総会
佐藤 瑠	肝切除後に発症した腹壁癒痕ヘルニアに対して enhanced-view totally extraperitoneal (eTEP 法) で修復術を行った一例	2020年 9月26日	福岡 集合形式	第30回 九州内視鏡・ロボット外科手術 研究会
	検診マンモグラフィの第二読影で要精査となり、トモシンセンスで病変が明瞭に描出された浸潤性小葉癌の一例	2020年 11月22日	宮城県 ハイブリッド開催	第30回 日本乳癌検診学会学術総会
	多発性脾腫瘍を形成した脾紫斑病の一例	2021年 2月19日	福岡 Web開催	第57回 九州外科学会
	トモシンセンスで石灰化病変が明瞭に描出された非浸潤性乳管癌の症例	2021年 3月6日	熊本県 Web開催	第18回 日本乳癌学会九州地方会

泌尿器科

筆頭発表者	発表課題名	開催日	場所	学会名称
横溝 晃	ロボット支援前立腺全摘除術における術後尿失禁を改善するレチウス腔修復法	2021年 1月23日	福岡 Web開催	第13回 日本ロボット外科学会学術集会
武井実根雄	オムツはずしの実践 ー福岡高齢者排泄改善委員会における介入研究ー	2020年 9月11日	奈良県 ハイブリッド開催	第33回 日本老年泌尿器科学会
野村 博之	日進月歩の技術の恩恵に与りつつも、原点回帰を忘れないことこそがPVPの技術向上に通ずる	2020年 9月12日	奈良県 集合形式	第9回 PVP研究会学術集会
	CVP（接触式レーザー前立腺蒸散術）はBPH手術のGAME CHANGERとなりうるか	2020年 11月5日	沖縄県 Web開催	第72回 西日本泌尿器科学会総会
	CVP（接触式レーザー前立腺蒸散術）の有効性と安全性に関する前向き研究（初期成績）	2020年 11月19日	岡山県 Web開催	第34回 日本泌尿器内視鏡学会総会
志賀健一郎	前立腺癌骨転移による症状に対し放射線治療を行い晩期遅発性の両下肢筋力低下を来した1例	2021年 1月23日	宮崎県 Web開催	日本泌尿器科学会 第92回宮崎地方会
眞崎 拓朗	DJ スtent 抜去に尿管アクセスシースが有効であった一例	2021年 1月23日	宮崎県 Web開催	日本泌尿器科学会 第92回宮崎地方会
田中 祥子	当院における骨盤臓器脱手術の術式選択について	2021年 3月26日	千葉県 Web開催	第14回 日本骨盤臓器脱手術学会 学術集会
岡部 彩美	陰茎転移をきたした前立腺癌の2例	2020年 8月8日	福岡 Web開催	日本泌尿器科学会福岡地方会 第306回例会
児浦未季史	当院における denovo CRPC 患者と根治療法後に CRPC となった患者の予後の比較	2020年 11月5日	沖縄県 Web開催	第72回 西日本泌尿器科学会総会

整形外科

筆頭発表者	発表課題名	開催日	場所	学会名称
高崎 実	関節内変形を伴う橈骨遠位端骨折変形治癒・陳旧性骨折に対して施行した関節鏡下矯正骨切りの小経験	2020年 9月11日	福岡 Web開催	第46回 日本骨折治療学会学術集会

脳神経外科

筆頭発表者	発表課題名	開催日	場所	学会名称
森岡 隆人	潜在性二分脊椎としての Limited dorsal myeloschisis の病態と外科治療	2020年 8月10日	石川県 Web開催	第40回 日本脳神経外科コンgres総会
小柳 侑也	放射線照射40年後に発症した側頭骨骨肉腫の一例	2021年 3月20日	北九州 Web開催	第137回 日本脳神経外科学会九州支部会

放射線科

筆頭発表者	発表課題名	開催日	場所	学会名称
高嶋 陽子	大脳基底核に T1 強調像で高信号を呈する病態の考察	2021年 2月7日	大分県 Web開催	第192回 日本医学放射線学会九州地方会

〈看護部〉

看護部長室

筆頭発表者	発表課題名	開催日	場所	学会名称
田原 恒	透析室におけるフットケアの取り組み	2020年 10月17日	福岡 Web開催	第2回 日本フットケア・足病医学会 九州・沖縄地方会学術集会
	CKD 外来通院により、先行的腎移植に至った1症例	2020年 11月2日	大阪府 Web開催	第65回 日本透析医学会学術集会・総会
	CKD 外来の取り組み～意思決定支援を振り返る～	2020年 11月21日	広島県 Web開催	第23回 日本腎不全看護学会 学術集会・総会
	透析患者の腎臓リハビリテーションを開始するにあたって	2021年 3月21日	宮城県 Web開催	第11回 日本腎臓リハビリテーション学会 学術集会
黒田 豊子	体験学習を中心とした皮膚・排泄ケア分野の現任教育について	2020年 7月23日	福岡 Web開催	第29回 日本創傷・オストミー・失禁 管理学会学術集会

本館5階病棟

筆頭発表者	発表課題名	開催日	場所	学会名称
有馬 弥生	当院のフットケア外来と皮膚・排泄ケア認定看護師との連携への取り組み	2020年 7月23日	福岡 Web開催	第29回 日本創傷・オストミー・失禁 管理学会学術集会

東館5階病棟

筆頭発表者	発表課題名	開催日	場所	学会名称
松永 享子	病棟と外来のフットケアチームの連携について ～循環器病棟からフットケア外来へ～	2020年 10月17日	福岡 Web開催	第2回 日本フットケア・足病医学会 九州・沖縄地方学会学術集会

東館8階病棟

筆頭発表者	発表課題名	開催日	場所	学会名称
横田 宜子	メディカルセミナー 41 移植意思決定期から退院早期の支援	2021年 2月21日	京都府 Web開催	第18回 日本臨床腫瘍学会学術集会
	多発性骨髄腫患者が治療を継続できる要因 コーポレートセミナー3 看護師が実践するベネクレクスタの副作用マネジメント	2021年 3月5-7日	東京都 Web開催	第43回 日本造血細胞移植学会総会

手術室

筆頭発表者	発表課題名	開催日	場所	学会名称
矢野奈々美	下肢拘縮があり、碎石位が取れない高齢患者の体位の検討	2020年 9月12日	奈良県 Web開催	第33回 日本老年泌尿器科学会

泌尿器センター

筆頭発表者	発表課題名	開催日	場所	学会名称
宮川みどり	自己導尿が必要となった関節リウマチ患者への関わり	2020年 7月23日	福岡 Web開催	第29回 日本創傷・オストミー・失禁 管理学会学術集会

腎臓病センター

筆頭発表者	発表課題名	開催日	場所	学会名称
徳田 勝哉	慢性疾患を有する急性期患者の血液浄化療法における連携	2020年 10月10日	大阪府 Web開催	第26回 日本 HDF 医学会 学術集会・総会
	AVF に対するエコー下穿刺の適応と不適応	2020年 11月2日	大阪府 Web開催	第65回 日本透析医学会学術集会
	CKD 治療における腎臓病療養指導士の役割と実践 透析室にて quick SOFA を使用した報告			
	患者の期待に応える穿刺に対するスタッフ教育	2020年 11月21日	広島県 Web開催	第23回 日本腎不全看護学会 学術集会・総会
	穿刺 Beginner と穿刺 Expert の違い～手技に対する考察～ バスキュラーアクセスに対する理学所見の可視化	2020年 11月27日	大阪府 ハイブリッド開催	第24回 日本透析アクセス医学会 学術集会・総会
	足病透析患者の周術期透析看護	2020年 12月4日	神奈川県 ハイブリッド開催	第1回 日本フットケア・足病医学会 年次学術集会
	Standard infection in dialysis room in Japan	2020年 12月11日	中国 Web開催	上海腎臓学会
	腎・透析領域の繋げる感染対策～主に COVID-19 対策について～	2021年 1月24日	東京都 Web開催	日本腎不全看護学会 第15回 Topics 研修
	日本の透析における感染対策	2021年 2月26日	モンゴル Web開催	モンゴル透析学会 (Mongolian and Japanese Joint Seminar on Hemodialysis Technology)
秋元 夕香	CKD 外来10年の振り返り	2020年 11月2日	大阪府 Web開催	第65回 日本透析医学会学術集会・総会
緒方あゆみ	透析患者の腎臓リハビリテーションへの取り組み	2020年 11月21日	広島県 Web開催	第23回 日本腎不全看護学会 学術集会・総会

訪問看護ステーション

筆頭発表者	発表課題名	開催日	場所	学会名称
染矢麻衣子	療養者・家族の望む生き方を最期まで支えるために、皮膚・排泄ケア認定看護師を地域におけるチーム医療でどう活かすのか	2020年 7月23日	福岡 Web開催	第29回 日本創傷・オストミー・失禁 管理学会学術集会

〈診療技術部〉

リハビリテーション科

筆頭発表者	発表課題名	開催日	場所	学会名称
高橋 大	音読所要時間に基づく音韻失読例の文字 - 音韻変換能力の評価	2020年 6月19日	茨城県 誌上開催	日本言語聴覚士協会 第21回 日本言語聴覚学会

放射線科

筆頭発表者	発表課題名	開催日	場所	学会名称
坂本真之介	当院における肝細胞癌に対する放射線治療効果からみた IGRT による位置照合の妥当性	2020年 6月22日	久留米 Web 開催	第6回 福岡県診療放射線技師会 学術大会

臨床検査科

筆頭発表者	発表課題名	開催日	場所	学会名称
松井勇二郎	FGFR1 異常を伴う骨髄系/リンパ系腫瘍に対して同種移植後長期寛解を維持している1例	2020年 10月1日	千葉県 ハイブリッド開催	日本臨床衛生検査学会 第69回 日本医学検査学会
	予測至適処理血液量を用いた末梢血幹細胞採取の有用性に関する検討	2021年 3月12日	東京都 ハイブリッド開催	第43回 日本造血細胞移植学会総会

3. 講演・司会・座長

〈診療部〉 血液内科

筆頭発表者	発表課題名	開催日	場所	学会名称
上村 智彦	多発性骨髄腫における感染症対策	2020年 5月29日	Web 開催	Janssen Hematology Web Seminar
	医療チームによる Venetoclax 導入の実際 ～ TLS 予防・管理を中心に ～	2020年 6月17日	Web 開催	AbbVie オンコロジー Web セミナー
	多発性骨髄腫に対する 自家移植後維持療法の意義	2020年 7月15日	Web 開催	ニンラーロ®WEB 講演会 九州・中国・四国エリア
	Highlights of the EHA25 Multiple Myeloma	2020年 7月21日	福岡 Web 開催	EHAハイライト in FBMGTG
	EPd 療法が有効だった triple refractory の症例	2020年 8月7日	福岡 Web 開催	Multiple Myeloma Interactive WEB Meeting
	座長	2020年 8月29日	福岡	真菌感染 WEB フォーラム in 博多
	Daratumumab-based therapy がもたらす 初発骨髄腫治療の ベネフィット	2020年 9月1日	Web 開催	Multiple Myeloma Small Web Meeting
	Venetoclax が切り開く 新しい CLL 治療	2020年 9月3日	福島県 Web 開催	BCL-2 Forum in いわき
	骨髄腫における初期治療の重要性と daratumumab がもたらす benefit	2020年 9月18日	埼玉県 Web 開催	Multiple Myeloma Treatment conference in SAITAMA
	多発性骨髄腫治療における 自家移植後維持療法	2020年 9月23日	Web 開催	ニンラーロ WEB 講演会 (TAKEDA ONCOLOGY CHANNEL)
	アドバイザー	2020年 9月29日	Web 開催	Daratumumab アドバイザーボード
	Venetoclax を活かす CLL 治療のマネジメント	2020年 10月2日	高知県 Web 開催	Kochi CLL Web Expert Meeting
	骨髄腫における初期治療の重要性と daratumumab がもたらす benefit	2020年 10月16日	千葉県 Web 開催	Hematology Frontier Seminar 2020
	多発性骨髄腫の初期治療 ～各薬剤の役割と課題～	2020年 10月26日	福岡 Web 開催	第8回 Basic Hematology Seminars @ Kurume University
	Daratumumab が導くこれからの初発移植非適応骨髄腫治療	2020年 10月29日	埼玉県 Web 開催	第9回 所沢多発性骨髄腫 治療講演会 online
	多発性骨髄腫の診断と治療	2020年 11月3日	福岡 Web 開催	オリゾン オンライン骨髄 腫福岡セミナー 2020 ～患 者・家族・医療者のつどい～
	IsaPd 具体的な患者像を考える	2020年 11月19日	Web 開催	サークリサ® Online
	初発移植非適応骨髄腫の 標準治療を考える ～ Daratumumab の可能性～	2020年 11月27日	静岡県 Web 開催	Multiple Myeloma Clinical Meeting in SHIZUOKA
	Daratumumab の投与マネジメント ～実臨床における治療継続のための工夫～	2020年 12月3日	福岡 Web 開催	高齢者 MM WEB セミナー
	New Treatment Options for NDMM ～ Dara-VMP regimen を使いこなす～	2020年 12月6日	Web 開催	DARAZALEX Web Seminar
	Venetoclax を活かす投与マネジメント	2020年 12月22日	福岡 Web 開催	南福岡血液 WEB セミナー
	座長	2021年 1月7日	九州 Web 開催	中外ナーシングセミナー
	Evidence と Practice から NDMM における初期治療を考える	2021年 1月16日	鳥取県 Web 開催	第77回 山陰血液同好会
	Carfilzomib を活かす新しい RRMM 治療	2021年 1月22日	奈良県 Web 開催	Multiple Myeloma Seminar in NARA
	Real-world practice から考える Daratumumab の役割	2021年 1月26日	Web 開催	DARAZALEX WEB SEMINAR
	Kd-based regimen を活かす多発性骨髄腫治療	2021年 1月30日	大阪府 Web 開催	Multiple Myeloma Expert Meeting in OSAKA
	初発 CLL 治療のパラダイムシフト	2021年 2月4日	九州 Web 開催	CLL Small Web Meeting in KYUSHU
	Carfilzomib を活かす心血管合併症マネジメント	2021年 2月13日	広島県 Web 開催	医療スタッフ・血液腫瘍 多職種チームのための スキルアップセミナー ～多発性骨髄腫～
	自家移植後の維持療法を考える ～IXZ の位置づけ～	2021年 3月10日	京都府・北陸 Web 開催	Hematology Webinar

筆頭発表者	発表課題名	開催日	場所	学会名称
上村 智彦	移植非適応 ハイリスク患者の治療戦略	2021年 3月26日	北海道 Web開催	Web Meeting in HOKKAIDO

泌尿器科

筆頭発表者	発表課題名	開催日	場所	学会名称
内藤 誠二	座長：講演II 第109回日本泌尿器科学会総会：泌尿器科の世界観 －Cosmos Inside of Urology－	2020年 10月31日	福岡 Web開催	令和2年度福岡県泌尿器科 医会教育講演
	特別講演座長： 可食性色素による生体染色とレーザー顕微内視鏡を用いた画像 解析の術中迅速診断への応用	2020年 12月23日	兵庫県 ハイブリッド開催	第108回 日本泌尿器科学会総会
	理事長講演座長： 外科系医師のジョブセキュリティ	2021年 1月23日	福岡 Web開催	第13回 日本ロボット外科学会学術集会
	座長：講演II 前立腺癌診療における最新の話題	2021年 2月20日	福岡 Web開催	令和3年度福岡県泌尿器科 医会教育講演会
	特別講演座長： 関西医科大学腎泌尿器外科30年の取り組み	2021年 3月13日	Web開催	Urological Cancer Expert Seminar
横溝 晃	mCRPCにおける初回治療の重要性は？	2020年 5月29日	Web開催	Meet the Expert in Virtual
	M1 前立腺癌治療の Risk と Benefit を再考する lecture2 mCSPCにおける治療戦略のアップデート	2020年 6月24日	Web開催	前立腺癌 Webセミナー
	座長：ショートレクチャー	2020年 7月4日	Web開催	Fukuoka Urologist Symposium 2020
	前立腺癌薬物治療薬エンザルタミド：mCRPCからM0CRPC、 さらにmHSPCへ	2020年 8月4日	Web開催	イクスタンジ WEBシンポジウム
	前立腺癌診療のクリニカルクエスト：cN1症例の治療を再考 する	2020年 8月24日	Web開催	AstraZeneca Urological TV Seminar
	ランチョンセミナー2：進化し続ける前立腺癌内分泌療法を再考 する	2020年 9月5日	Web開催	第17回 泌尿器科再建再生研究会
	スポンサーセミナー5：nmCRPC治療におけるニューベクオ（ダ ロルタミド）の有用性 ダロルタミドの基礎的特徴から考えるnmCRPC治療への有用性	2020年 9月12日	奈良県 ハイブリッド開催	第33回 日本老年泌尿器科学会
	特別講演：ジェブタナ治療の現状と未来像	2020年 9月17日	福岡 集合形式	CRPC Conference in South of Fukuoka
	特別講演：転移性ホルモン感受性前立腺癌に対するUp front 治 療の新展開	2020年 10月22日	福井県 集合形式	福井県泌尿器科医会講演会
	座長：シンポジウム7 前立腺がんへのprecision medicine	2020年 10月25日	京都府 ハイブリッド開催	日本泌尿器腫瘍学会 第6回学術集会
	特別講演2：原三信病院泌尿器科の現状および過活動膀胱診療に ついて	2020年 10月26日	福岡 ハイブリッド開催	第21回 九州泌尿器科カンファレンス
	座長：特別講演・ディスカッション	2020年 11月11日	Web開催	前立腺がん WEBセミナー
	Moderator：CVP導入が泌尿器科に及ぼす Synergy を問う	2020年 11月13日	Web開催	第4回 zoom ウェビナー 接触式レーザー前立腺蒸散術最前線
	講演②：前立腺癌治療における骨マネージメントの重要性	2020年 11月18日	Web開催	Bone Health Webセミナー
	座長：Special Lecture 司会：Discussion	2020年 11月27日	Web開催	Meet the Expert in virtual
	講演：テーマ2 ミニレクチャー mCSPCのエビデンスレビュー	2020年 11月30日	福岡 ハイブリッド開催	第38回 福岡泌尿器診療セミナー
	座長：特別講演・ディスカッション	2020年 12月4日	Web開催	前立腺がん WEBセミナー
	座長：特別講演I	2020年 12月5日	Web開催	Urology Web Seminar ～Advance～
	講演2：転移性ホルモン感受性前立腺癌に対するUp front 治療 の展開	2020年 12月9日	Web開催	Prostate Cancer Web Seminar
	座長：一般口演62 前立腺癌（抗がん剤その他）	2020年 12月24日	兵庫県 ハイブリッド開催	第108回 日本泌尿器科学会総会
	ディスカッション：前立腺がん化学療法におけるジラスタ®皮 下注3.6mgの適正使用について	2021年 1月7日	福岡 Web開催	前立腺がん Up to date Seminar in 福岡
	座長：一般口演08	2021年 1月23日	福岡 Web開催	第13回 日本ロボット外科学会 学術集会
	ワークショップ13 ロボット支援前立腺全摘除術後の尿失禁ゼロ を目指す ロボット支援前立腺全摘除術（RALP）における術後尿失禁ゼロ を目指す：レチウス腔修復法	2021年 3月10日	神奈川県 ハイブリッド開催	第33回 日本内視鏡外科学会総会

筆頭発表者	発表課題名	開催日	場所	学会名称
横溝 晃	特別講演①:限局性前立腺癌に対する根治治療後の PSA 再発に対する治療戦略	2021年 3月27日	福岡 Web 開催	WEB シンポジウム Prostate Cancer Symposium in FUKUOKA
山口 秋人	座長:一般演題 ポスター2 手術、その他	2020年 9月11日	奈良県 ハイブリッド開催	第33回 日本老年泌尿器科学会
	司会:臨床研究の報告	2020年 9月12日	奈良県 集合形式	第9回 PVP 研究会学術集会
	座長:シンポジウム「Large prostate に対するテクノロジーとテクニック (大きな前立腺腺腫における XPS の利点と手術手技について)」	2020年 9月12日		
	座長:テーマ3 教育講演	2020年 11月30日	福岡 ハイブリッド開催	第38回 福岡泌尿器診療セミナー
	座長:イブニングセミナー 11 PVP で切り開く新たな未来 -術式から考察する PVP の利点とは-	2020年 12月22日	兵庫県 ハイブリッド開催	第108回 日本泌尿器科学会総会
武井実根雄	1. Lecture 夜間頻尿診療ガイドライン改訂のポイント -排尿日誌の再考とデスマプレシン内服薬の可能性-	2020年 6月16日 2020年 6月23日	Web 開催	夜間頻尿 教えて Expert Web Seminar in 九州
	座長:特別講演3 シンポジウム3 骨盤内の科学 ~泌尿器と消化器の融合~ 排泄管理における尿路の特性と泌尿器科的対処法について	2020年 7月23日	福岡 Web 開催	第29回 日本創傷・オストミー・失禁 管理学会学術集会
	総合司会:これからの夜間頻尿治療 夜間頻尿診療ガイドライン [第2版]を踏まえたデスマプレシンの位置付けを考える	2020年 7月28日	Web 開催	MinirinMelt Expert Meeting in Kyushu
	デスマプレシン内服薬を用いた夜間頻尿の新しい治療戦略 夜間頻尿診療ガイドライン [第2版]を踏まえて	2020年 7月31日	Web 開催	Ask the Expert Webinar
	座長	2020年 8月1日	Web 開催	第3回 Men's Health expert Meeting
	1. Lecture 夜間頻尿診療ガイドライン改訂のポイント -排尿日誌の再考とデスマプレシン内服薬の可能性-	2020年 8月20日	Web 開催	夜間頻尿 教えて Expert Web Seminar in 北阪神
	総合司会	2020年 8月21日	Web 開催	MinirinMelt Web Seminar
	講演2:夜間頻尿治療ガイドライン改訂のポイント -排尿日誌の再考とデスマプレシン内服薬の可能性-	2020年 9月24日	福岡 ハイブリッド開催	筑後泌尿器科医会 第171回研修会
	講演:デスマプレシン内服薬を用いた夜間頻尿の新しい治療戦略 -夜間頻尿診療ガイドライン [第2版]を踏まえて-	2020年 9月26日	Web 開催	ミニリンメルト OD50 μ g/ 25 μ g 発売1周年記念 Web セミナー in 奈良
	司会	2020年 10月3日	福岡 ハイブリッド開催	Meet the Expert Seminar in 九州
	ワークショップ:多角的アプローチ1 間質性膀胱炎/膀胱痛症候群 間質性膀胱炎/膀胱痛症候群 新しい定義と疑うべき症状	2020年 10月15日	東京都 ハイブリッド開催	第27回 日本排尿機能学会
	座長:ワークショップ 多角的アプローチ2 前立腺癌術後尿失禁			
	司会:教育セミナー9 男性・女性 それぞれの下部尿路機能障害	2020年 10月16日		
	司会:日本専門医機構泌尿器科専門医卒後教育セミナー Clinical Question から読み解く夜間頻尿診療ガイドラインのポ イント	2020年 10月17日		
	シンポジウム4 難治性排尿障害の治療 game changers 間質性膀胱炎・慢性骨盤痛症候群の治療	2020年 11月5-25 日	沖縄県 Web 開催	第72回 西日本泌尿器科学会総会
	座長 / Summary Speech: イブニングセミナー 5 ボツリヌス療法 の臨床経験と投与手技の実際	2020年 11月6日		
	座長	2020年 11月17日	Web 開催	OAB Area Web Seminar in Fukuoka
	座長: Lecture・Discussion	2020年 11月20日	Web 開催	ミニリンメルトOD錠50 μ g/ 25 μ g発売1周年記念 Expert Meeting in 九州
	特別講演:間質性膀胱炎・膀胱痛症候群の診断と治療 -新しい 診療ガイドラインを踏まえて-	2020年 11月28日	大分県 集合形式	令和2年大分県臨床泌尿器 科医会総会学術講演会
	講演:テーマ1 保険診療教育講座 保険審査の現況	2020年 11月30日	福岡 ハイブリッド開催	第38回 福岡泌尿器診療セミナー
座長:イブニングセミナー7 最新尿失禁治療 ~非蒸散式エルビウムヤグレーザーを使用した低侵襲尿失禁治 療 VELT の経験~	2020年 12月22日	兵庫県 ハイブリッド開催	第108回 日本泌尿器科学会総会	
UP TO DATE 7 新・間質性膀胱炎診療ガイドライン ~第1版から追加されたエビデンス・変更点を中心に~ 定義	2020年 12月23日			

筆頭発表者	発表課題名	開催日	場所	学会名称
武井実根雄	シンポジウム21 低活動膀胱の新展開 男性における UDS (排尿筋低活動) 座長：スポンサーセミナー 1	2020年 12月24日	兵庫県 ハイブリッド開催	第108回 日本泌尿器科学会総会
	シンポジウム1 女性骨盤底診療におけるウロダイナミクス 女性骨盤底疾患に関連する下部尿路機能障害とウロダイナミクス 検査の意義 座長：シンポジウム 難治性間質性膀胱炎の外科治療 ～私の治療方法～	2021年 1月16日	大阪府 Web開催	第22回 日本女性骨盤底医学会
	講演1：OAB 治療の新たな展開 ～臨床現場から～	2021年 1月29日	Web開催	LUTS WEB シンポジウム in 九州
	特別講演：過活動膀胱・難治性頻尿の治療最前線	2021年 2月26日	福岡 Web開催	福岡市博多区内科医会学術 講演会
	座長：特別講演	2021年 3月17日	Web開催	夜間頻尿 Meeting
	座長：基調講演	2021年 3月19日	福岡 Web開催	第28回 福岡排尿障害研究会
	講演：アスモプレシン内服薬を用いた夜間頻尿の新しい治療戦略 ～夜間頻尿診療ガイドライン [第2版] を踏まえて～	2021年 3月23日	Web開催	Tokushima Urology Zoom Meeting
	講演：下部尿路機能障害の薬物療法について	2021年 3月27日	福岡 Web開催	第64回 高齢者排泄ケア講習会
	野村 博之	大学・連携病院における泌尿器科の取組み 講演2：連携病院の役割からみた排尿障害診療	2020年 7月4日	Web開催
エキスパートが語る CVP のイノベーション		2020年 9月15日	Web開催	CVP (接触式レーザー前立腺 蒸散術) Web Seminar
第1回白熱教室 導入初期の合併症		2021年 3月1日	Web開催	CVP (接触式レーザー前立腺 蒸散術) Web Seminar
第2回白熱教室 該当症例に対する手技的解決策の提示		2021年 3月30日	Web開催	CVP (接触式レーザー前立腺 蒸散術) Web Seminar
志賀健一郎	ランチョンセミナー 9 膀胱癌ハイボリュームセンターにおける手 技の実際 ～ NBI & PDD 令和のニュースタンダード～ TURBT に対する我々のこだわり	2020年 12月22日	兵庫県 ハイブリッド開催	第108回 日本泌尿器科学会総会
相島真奈美	講演1：男性の排尿障害治療 ～種々の前立腺癌治療における排尿状態の変化にスポットを当てて～	2020年 11月27日	Web開催	山口市泌尿器科医会 リモート講演会
真崎 拓朗	シンポジウム23 結石治療 難症例に対する治療戦略 抗血栓療法中で PNL を要する腎結石に対する治療戦略	2020年 11月21日	岡山県 Web開催	第34回 日本泌尿器内視鏡学会総会
	シンポジウム5 難治性尿路結石の現状と今後の展望 さんご状結石	2020年 12月22日	兵庫県 ハイブリッド開催	第108回 日本泌尿器科学会総会
	シンポジウム23 上部尿路結石に対する内視鏡手術とその適応 経皮的尿路結石除去術 (PCNL) とその適応	2020年 12月24日		
岩井 秀憲	シンポジウム 多角的に見つめる性機能 令和時代のペロニー病治療について	2021年 2月13日	北九州 Web開催	第30回 日本性機能学会西部総会

〈看護部〉

看護部長室

筆頭発表者	発表課題名	開催日	場所	学会名称
柳迫 昌美	会長講演：管理者から見た WOC 看護 ～日々のリフレクションから見えるもの～	2020年 7月23日	福岡 Web開催	第29回日本創傷・オスト ミー・失禁管理学会学術集会
田原 恒	座長：特別講演1 新型コロナ陽性患者受け入れの実際	2021年 1月21日	福岡 Web開催	第10回 博多 CKD 研究会
	座長：特別講演2 新型コロナ陽性患者の透析方法			
	司会：透析施設ディスカッション 自施設での感染対策			

東館8階病棟

筆頭発表者	発表課題名	開催日	場所	学会名称
横田 宜子	ベネクレクスタの副作用マネジメント	2020年 9月3日	福島県 Web開催	BCL-2 Forum in いわき
	ニンラーロ継続治療における看護師の役割	2020年 9月23日	Web開催	ニンラーロ WEB 講演会 (TAKEDA ONCOLOGY CHANNEL)
	看護師が中心となった移植患者への継続支援	2020年 10月19日	東京都 Web開催	東葛エリア 血液疾患セミナー
	血液疾患におけるチーム医療の取り組み	2021年 1月7日	九州 Web開催	中外ナーシングセミナー
	新規薬剤治療のマネジメント ～ CFZ 看護を中心に～	2021年 2月13日	広島県 Web開催	医療スタッフ・血液腫瘍多職種チ ームのためのスキルアップセミナー ～多発性骨髄腫～

5

一年の流れ

<2020年>

4月 1日(水)	2020年度 入社式 男性看護師・技術部女性(栄養科・リハビリ除く)制服変更
4月 2日(木)~7日(火)	2020年度 新入職員研修
4月 7日(火)~ 5月24日(日)	新型コロナウイルス感染拡大に伴い、緊急事態宣言(1回目)
5月 1日(金)	クールビズ実施[10月31日(土)まで]
6月 1日(月)	睡眠呼吸障害センター(SAS)検査入院用病室変更(東館5階病棟→東館6階病棟)
6月12日(金)	原三信病院 創立141周年 永年勤続者表彰式
6月20日(土)	第1回 2020年度看護師定期採用試験
6月24日(水)	2020年度 事業計画説明会
7月10日(金)	上半期賞与
8月 1日(土)	第2回 2020年度看護師定期採用試験 2020年度 第1回感染防止対策研修会(eラーニング受講)
9月 1日(火)	2020年度 第1回医療安全研修会(eラーニング受講)
9月 5日(土)	第3回 2020年度看護師定期採用試験
9月14日(月)	放射線フィルムバッチ着用者研修(eラーニング受講)
10月 1日(木)	入退院支援センター開設(南館1階 売店前) 2020年度 接遇研修会(eラーニング受講) 令和2年 国勢調査[10月7日(水)まで]
10月 3日(土)	第4回 2020年度看護師定期採用試験
10月15日(木)	第40回クリニカルパス検討会(外科)
10月25日(日)	全館停電作業
10月29日(木)~31日(土)	第26回 原三信病院医学総会 「JOINT~繋いでいこう、明日の医療へ~」
11月 1日(日)	ウォームビズ実施[2021年3月31日(水)まで] 2020年度 第2回感染防止対策研修会(eラーニング受講) 診療用放射線の安全利用のための研修(eラーニング受講)
11月 2日(月)	2021年 職員定期健康診断実施[2021年3月23日(火)まで]
11月 9日(月)	慰霊祭 2020年度 倫理研修会(eラーニング受講)
12月10日(木)	下半期賞与
12月14日(月)	新型コロナウイルス感染症対策に伴い、サーマルカメラ運用開始 (本館正面玄関・本館東口・救急外来入口・東館正面玄関)
12月23日(水)	カレンダー配布
12月29日(火)	仕事納め

<2021年>

1月 1日(金)	2020年度 第2回医療安全研修会(eラーニング受講)
1月 4日(月)	仕事始め
1月 8日(金)	神農祭 泌尿器センター専門外来として、男性尿失禁外来開設
1月 9日(土)	健康管理センター X線撮影装置入れ替え
1月13日(水)~2月28日(日)	福岡県緊急事態宣言(2回目)
2月 1日(月)	2020年度 褥瘡対策研修会(eラーニング受講) MRI安全教育研修会(eラーニング受講)

2月 1日(月)～19日(金)	ストレスチェック実施
2月 8日(月)	第41回クリニカルパス検討会(血液内科)
2月15日(月)	睡眠呼吸障害センター(SAS)検査入院用病室変更(東館6階病棟→東館5階病棟)
3月16日(火)	職員向け新型コロナウイルスワクチン接種開始
3月19日(金)～4月30日(金)	東館LED照明器具切り替え工事

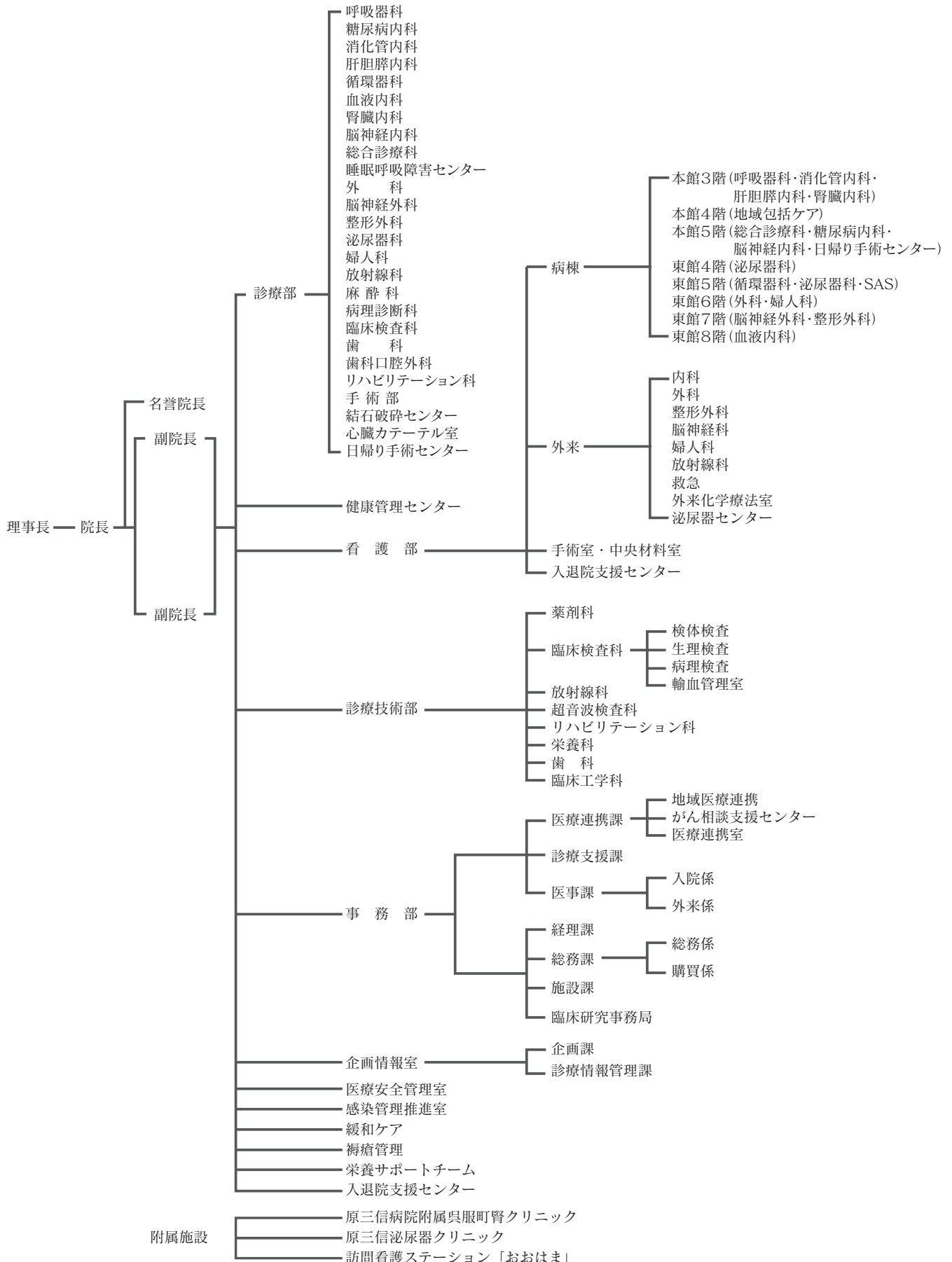
※コロナ禍にて多くの病院行事が中止となった。

6

組織紹介

1. 組織図

(2021年3月31日現在)



● 2. 職員配置

(2021年3月31日現在)

診療部	93
看護部	433
診療技術部	109
事務部	142

合計	777
----	-----

診療部内訳

医師	90
歯科医師	3

合計	93
----	----

看護部内訳

看護師	378
准看護師	1
看護補助者	53
理学療法士	1

合計	433
----	-----

診療技術部内訳

薬剤師	15
管理栄養士	6
診療放射線技師	19
臨床検査技師	32
理学療法士	12
作業療法士	3
言語聴覚士	2
臨床工学技士	11
歯科衛生士	4
その他	5

合計	109
----	-----

(※委託職員、派遣職員を含む)

3. 管理職名簿

(2021年3月31日現在)

理事長	平 祐二	
名誉院長	内藤 誠二	
院長	原 直彦	健康管理センター長、医療安全管理室室長
副院長(院長補佐)	江口 徹	外科主任部長、日帰り手術センター長
副院長	林 真	内科主任部長

診療部

主任部長	市來 俊弘	循環器科・睡眠時呼吸障害センター兼任
	横溝 晃	泌尿器科
	上村 智彦	血液内科
部長	谷合 啓明	総合診療科・感染管理推進室室長兼任
	古藤 和浩	肝胆膵内科・放射線治療兼任
	野口 賢一	肝胆膵内科・緩和ケア担当医(専任)
	原口 和大	消化管内科
	麻生 暁	消化管内科
	山本 光孝	循環器科・心臓カテーテル室長兼任
	高木 陽一	呼吸器科
	藤木 富士夫	脳神経内科
	廣田 伊千夫	胸部外科
	当間 宏樹	外科
	小川 尚洋	乳腺内分泌外科
	橋爪 健太郎	肝胆膵外科
	高崎 実	整形外科
	武井 実根雄	泌尿器科
	宮崎 薫	泌尿器科・救急外来副部長兼任
	一倉 晴彦	泌尿器科
	片岡 恵子	婦人科
	庄野 禎久	脳神経外科・リハビリテーション科担当兼務
	田中 厚生	放射線科
	小野田 慈美	歯科
	河野 真司	病理診断科
	下澤 浩基	麻酔科
	渡邊 隆郁	手術部
	小松 潔	臨床検査科
副部長	上徳 豊和	循環器科
	野間 秀哉	泌尿器科・リハビリテーション科担当兼務
	野村 博之	泌尿器科
	志賀 健一郎	泌尿器科
	眞崎 拓朗	泌尿器科
	奥村 雄三	健康管理センター副センター長
	藤井 圭	外科
	未廣 貴一	腎臓内科
顧問	寺嶋 廣美	放射線科
	津田 知輝	健康管理センター
	白石 直孝	放射線科
	古川 達也	放射線科
	山口 秋人	泌尿器科
	稲永 隆	腎臓内科
	森岡 隆人	脳神経外科
呉服町腎クリニック院長	石田 伊都子	腎臓内科
泌尿器クリニック院長	中牟田 誠一	泌尿器科

看護部

部長	柳迫 昌美	
副部長	宮崎 さとみ	入退院支援センター副センター長・看護教育担当・日帰り手術センター顧問
	村岡 弘恵	東館4階病棟科長兼任
	谷村 明美	業務担当
科長	大無田一平	本館3階病棟
	山田 恵理子	本館4階病棟
	寺脇 深香	本館5階病棟（日帰り手術センター）
	松永 享子	東館5階病棟
	野田 佳代子	東館6階病棟
	永井 智子	東館7階病棟
	川崎 美智子	東館8階病棟
	下釜 里美	本館外来（内科・整形外科・脳神経内科・脳神経外科）緩和ケア担当兼任
	金子 浩子	東館外来（泌尿器センター・外科・婦人科・放射線科・化学療法室）病床管理担当兼任
	藤川 暢子	手術室・中央材料室
	津村 礼	呉服町腎クリニック
	栗秋 佐智恵	緩和ケア専従
	松本 真知子	看護部長室
所長	那須 百合美	訪問看護ステーションおおはま

診療技術部

部長	中小川 隆	放射線科科長兼任
科長	和佐野智美	臨床検査科
	河野 祐子	薬剤科
	石橋 誠史	リハビリテーション科
	石崎 律子	栄養科
	嶽本 洋	臨床工学科
科長代理	栗崎 淳子	薬剤科
科長代行	廣門 将一	超音波検査科

事務部

部長	弥永 伸治	
顧問	泉 敏郎	
	白石 義則	総務課
課長	西 弘樹	総務課
	平山 憲史	経理課
	北御門智之	医事課
	加藤 宗一郎	医療連携課・診療支援課課長兼任
	橋本 俊介	施設課
科長	秦 里美	健康管理センター
課長代理	原 成孝	診療支援課
統括主任	隅田 幸恵	医事課

企画情報室

室長	藤原 勝	
課長	田代 信司	企画課
	平原 俊吾	診療情報管理課

医療安全管理室

科長	大野 聡子	医療安全管理専従
	田原 恒	医療安全管理専従

● 2020年度原三信病院医学総会を終えて

テーマ：JOINT ～繋いでいこう、明日の医療へ～

第26回原三信病院医学総会は、2020年10月17日～19日、例年通りの3日間の日程で開催されました。今回は、新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の感染拡大を受け、口演については初めてのZoomを使ったWeb開催となりました。院内での発表の様子はWebにて院内各所に中継され、また事前に申し込みれば院外や自宅でも視聴できるという最新のリモート学会となりました。17日と18日は一般演題を4題ずつ、19日は一般演題5題と教育要望講演、特別講演の発表が行われました。一般演題は各部署が取り組まれてきた課題について発表され、慣れないWebを通じての質疑応答となりましたが、活発な発言をいただきました。続いて、教育要望講演は外科の三浦敬史先生から、「ニューヨークでの腹部多臓器移植FellowshipとCOVID-19 Crisis」と題し、COVID-19の猛威下で、懸命に腹部多臓器移植に取り組む米国の緊迫した臨床現場と三浦先生のご活躍の様子を紹介いただき、視聴させていただいた私達に深い感銘を与えていただきました。そして最後に、本学会のテーマ「JOINT ～繋いでいこう、明日の医療へ～」の由来となった、まえだ整形外科の前田朗先生から「スポーツに対する医療」と題して特別講演を頂きました。この講演では、スポーツ医学の最新の知見や治療法のみならず、著名なスポーツ選手の治療に携われたご経験について、選手一人一人の身体的、社会的状況に応じた個別の治療選択とその支援法を実践されていること、そして、選手の人生そのものに大きな影響を与えたエピソードもご紹介いただきました。前田先生の特別講演は、とても勉強になる内容であったのみでなく、私達に大きな感動を与えていただきました。今回ご発表頂いた一般演題の発表者とその研究チームの方々、そして、三浦先生と前田先生にこの場をお借りしてお礼申し上げます。

最後になりますが、初めてのWeb開催にあたり、その準備と運営に多大なご尽力を賜りました企画情報室の方々、そして長期間に渡り準備に取り組んで頂いた本医学総会準備委員会の方々に対し厚くお礼申し上げます。

次回の第27回の医学総会は、COVID-19感染も収束し、例年通りアクロス福岡で皆様のご参集の元で開催され、盛会となりますことを祈念しております。

第26回原三信病院医学総会 準備委員会
委員長 横溝 晃

第26回 医学総会準備委員会

委員長	横溝 晃	(診療部)
副委員長	四枝 英樹	(診療部)
委員長	永井 智子 山田恵理子	(看護部)
	久保田景子 松島 毅	(診療技術部)
	原 成孝 宮本 亮	(事務部)
	津留 史絵 福吉 祥	(香椎原病院)
事務局	藤原 勝 田代 信司	
(企画情報室)	齋藤 栄介 上野 綾華	

第26回 原三信病院医学総会プログラム

第1日目 10月29日(木)

一般演題 第1部

17:30~18:30

座長：栗秋 佐智恵、和佐野 智美

1. 『入院のご案内』改訂への取り組み
～患者さんにとってわかりやすいパンフレットを目指して～
企画情報室 企画課 ●浜田康子 上野綾華 齋藤栄介 田代信司 藤原勝
2. 業務アンケートを実施して
～振り返りと今後の課題～
栄養科 ●古川唯 原練留美 花野絵美 東さやか 石崎律子
3. 骨盤底筋訓練指導の評価と今後の外来指導における必要性の検討
泌尿器センター ●倉地碧 権藤ひとみ 宮川みどり 矢嶋光江 田中祥子 武井実根雄
4. 個人防護具に対する意識調査と業務改善
本館 3 階病棟 ●吉田将太 岩崎彩奈 上川美里 恒松玲奈

第2日目 10月30日(金)

一般演題 第2部

17:30~18:30

座長：野田 佳代子、原 成孝

1. 独居高齢者の看取りにおける訪問看護師の支援と多職種との連携
訪問看護ステーションおおはま ●川村亜矢子 出田勝子
2. 緩和ケアチームの活動報告と緩和ケア認定看護師活動の評価
緩和ケア認定看護師 ●横田亜水
3. インフォーマルサポートとの連携状況と今後の取り組みについて
～地域包括ケアシステムの視点から～
香椎原病院 地域ケアセンターかしいの杜 居宅介護支援事業所だいち
●長尾拓典 野瀬奈央 橋本寿美 石田利恵子 長谷川都紀代
4. 購買係で考える院内図書
総務課 購買係 ●小西加奈子 川畑幸一 川上優 西弘樹

第3日目 10月31日(土)

教育要望講演 ニューヨークでの腹部多臓器移植Fellowship
とCOVID-19 Crisis

13:35~14:05

座長：四枝 英樹

演者 三浦 敬史 先生

【 原三信病院 外科 医長 】

－ 休憩 10分 －

一般演題 第3部

14:15~15:15

座長：武井 実根雄、久富 美穂

1. 香椎原病院における口腔ケアの取り組みについて
～歯科衛生士の役割～

歯科・口腔外科 ●尾上真波 田籠祥子

香椎原病院 看護部 高野晃子

2. 地域包括ケア病棟設立に伴う病棟看護師の職務内容と
職務満足に関する調査報告

本館 4階病棟 ●藤谷文 新村尚美 阿多口美穂 井上莉那 出田久博 小松彩

3. 社会参加に繋がった終了者と訪問リハビリテーション長期利用者との比較

香椎原病院 地域ケアセンターかしいの杜 訪問リハビリテーションげんき

●有田顕 中島真由美 橋富涼輔 内山園子 岡村美雪 久家由紀法 荒木真宏 小澤詩織

4. 当院におけるスピーチロックに対するスタッフの意識調査

香椎原病院 3階 2病棟 ●松口尚美 池上彩 松本麻美

5. 当院に導入した腹腔鏡を用いた骨盤臓器脱手術の試み

婦人科 ●片岡恵子

－ 休憩 15分 －

特別講演 スポーツに対する医療

15:30~16:30

座長：横溝 晃

演者 前田 朗 先生

【 まえだ整形外科 博多ひざスポーツクリニック 院長 】

表彰式

【目次】

1. 診療部	
総合診療科	60
肝胆膵内科	62
消化管内科	63
循環器科	65
血液内科	67
腎臓内科	69
呼吸器科	70
糖尿病内科	71
脳神経内科	72
睡眠呼吸障害センター	73
脳神経外科	74
外科	75
整形外科	77
泌尿器科	78
婦人科	81
放射線科	83
歯科・口腔外科	84
病理診断科	85
麻酔科	86
原三信病院附属呉服町腎クリニック	87
健康管理センター	88
日帰り手術センター	89
2. 看護部	90
3. 診療技術部	95
4. 事務部	96
5. 企画情報室	98

1. 診療部

● 総合診療科

院内活動・診療部

副院長兼総合診療科主任部長 林 真
総合診療科部長 谷合 啓明

《2020年度活動報告》

2020年度は常勤医師が1名減り、2名での診療体制となった。新型コロナウイルス感染症拡大による病院全体への影響と診療科としてのマンパワー低下とが重なり入院診療、外来診療においても厳しい1年となった。

入院診療においては、4月～8月にかけて入院患者数、入院収入ともに昨年と比較し大幅に減少したが、9月以降は昨年度同様の入院数を確保し、全体を通して30%の減収に留まった。また地域包括病棟の利用率も昨年同様高い数値であった。

外来診療においても新型コロナ感染症の影響もあり、総患者数、初診患者数はともに減少したが、他院からの紹介率は高く、外来単価も変わらず高い数値を維持できており、様々な訴えの患者様に対する必要十分な検査、診療が提供できたと考える。

また下半期においては、日中午前での発熱外来診療、新型コロナウイルス感染者の入院受け入れも含め、院内において十分な機動力を示すことができた。

2021度は引き続き2名での診療体制となる。2020年度に新たに掲げたビジョン『新しい総合診療科の確立』を継続し、少ないスタッフでも医療の質を落とさぬよう、他職種含め一つのチームとして、より円滑な医療が行えるよう引き続き努力していきたい。そして『機動力のある診療で院内、地域に貢献する』のテーマもそのままに、発熱患者への対応、新型コロナウイルス感染症患者の入院診療も含め、これまで以上に総合診療医（Generalist）として、また病院総合診療医（Hospitalist）として各科の壁を越えた院内診療の充実、そして患者様と御家族、周辺の医療機関を含めた地域に貢献できるよう全人的診療を目指し、日々邁進していきたい。（文責 谷合）



林



谷合

《2021年度目標》

ビジョン『新たな総合診療科の確立』

戦略テーマ『機動力のある診療で院内、地域に貢献する』

	戦略目標
顧客の視点	総合診療の充実（Gate Keeper、Hospitalistとして） ホームページの充実 訪問診療の継続
業務の視点	チーム医療の充実（チームとしての機動力向上、スムーズな退院支援システムの推進） 地域包括病棟との連携強化
学習と成長の視点	講演会、学会発表など積極的な参加 感染症専門医、総合診療専門医の育成 病棟勉強会などによるスタッフ教育
財務の視点	「連携カード」を用いた逆紹介の推進 開業医訪問による積極的な広報活動

		2018年度 (H30年度)	2019年度 (R1年度)	2020年度 (R2年度)
スタッフ構成		3名	3名	2名
入院	患者数(人)	3,962	3,865	2,656
	新入院(人)	330	303	159
	診療単価(円)	35,584	36,282	36,872
	平均在院日数(日)	12.2	13.1	17.0
外来	患者数(人)	9,142	8,328	5,566
	初診(人)	2,986	2,648	1,396
	診療単価(円)	10,175	9,947	10,571
救急車(台)		236	205	67
紹介(件)		630	681	522
逆紹介(件)		190	189	103

肝胆膵内科部長 古藤 和浩
肝胆膵内科部長 野口 賢一

《2020年度活動報告》

肝胆膵内科は昨年同様、古藤部長と野口の2名の診療体制だった。2020年度の入院患者数は微増、外来患者数は低下した。特に2020年4-7月はコロナウイルス蔓延に伴う緊急事態宣言の影響もあり入院、外来とも患者数の落ち込みが激しかった。8月以降は患者数の増加が見られた。

入院の内訳は今年度も従来のウイルス性肝疾患は減、逆に非ウイルス性肝疾患は増。また胆膵疾患の増加が目立った。また患者の高齢化が進み併存疾患も多く、従来よりも入院期間が長くなる傾向が見られた。今後他科との連携がより必要となってくると思われた。

外来ではウイルス性肝疾患の減少と治療が一段落した事で患者数の下がり止まりが引き続き見られている。

しかしながらコンスタントに新規のウイルス性肝炎患者は見られており新規の治療導入を行った。

また脂肪性肝疾患が増加しており今後も介入が必要なNASH（非アルコール性脂肪肝炎）の拾い上げが必要と思われた。2019年度は看護部、薬剤部から4名が肝疾患コーディネーターの資格を取得したが2020年度はコロナウイルス蔓延の影響もあり新たな取得はいなかった。院内での肝炎ウイルス拾い上げや治療啓蒙、NASH 拾い上げ、治療啓発等でお手伝い頂いている。今後希望者がおられれば資格取得をお願いしたい。（文責 野口）



古藤



野口

《2021年度目標》

ビジョン『患者や開業医に信頼される肝胆膵内科の確立』

戦略テーマ『質の高い満足して頂く医療の提供』

	戦略目標
顧客の視点	患者・家族の満足の向上 紹介医の満足の向上
業務の視点	対象疾患の拡大（ウイルス性肝炎・NASHの拾い上げ、肝硬変、肝臓、胆膵疾患） 検査・処置の効率化、パスの活用
学習と成長の視点	肝疾患コーディネーターの育成 スキルアップ
財務の視点	肝胆膵内科の収入増

	2018年度(H30年度)	2019年度(R1年度)	2020年度(R2年度)	
スタッフ構成	2名	2名	2名	
入院	患者数(人)	3,083	3,514	3,606
	新入院(人)	240	283	245
	診療単価(円)	41,309	42,952	45,658
	平均在院日数(日)	13.3	12.8	15.1
外来	患者数(人)	3,668	3,516	3,308
	初診(人)	544	557	394
	診療単価(円)	14,864	15,878	19,752
救急車(台)	101	109	71	
紹介(件)	358	408	373	
逆紹介(件)	65	54	55	

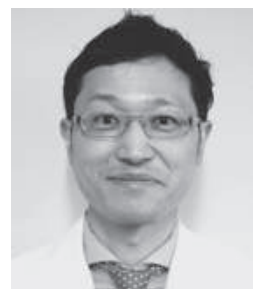
消化管内科部長 原口 和夫
消化管内科部長 麻生 暁

《2020年度活動報告》

2020年度、消化管内科は常勤医師10名、非常勤医師2名の体制で診療を行った。年度当初からの新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い、特に2020年4月から6月にかけて、特に健診部門の内視鏡検査制限と患者の受診控えのため、今年度は内視鏡検査数の減少と入院患者数の減少が目立つ結果となった。2020年度の内視鏡検査件数は上部消化管6,144件、下部消化管2,200件、総数8,344件であり、近年は年間約1万件の内視鏡検査数であったが、本年度は昨年比2割弱の内視鏡検査数の減少となった。内視鏡治療件数は上部消化管219件、下部消化管1,011件であった。消化管早期癌に対する内視鏡的粘膜下層剥離術（ESD）件数は、食道19件、胃69件、十二指腸5件、大腸32件、総数125件であった。大腸ポリープに対する内視鏡治療はEMR217件、コールドポリペクトミー335件、総数882件であった。累計の入院患者数は5,424人、外来患者数は9,700人であった。



原口



麻生

スタッフの育成に関しては、原口が日本消化器内視鏡学会指導医を取得し、日本消化器内視鏡学会の学術評議員に選出された。（文責 原口）

《2021年度目標》

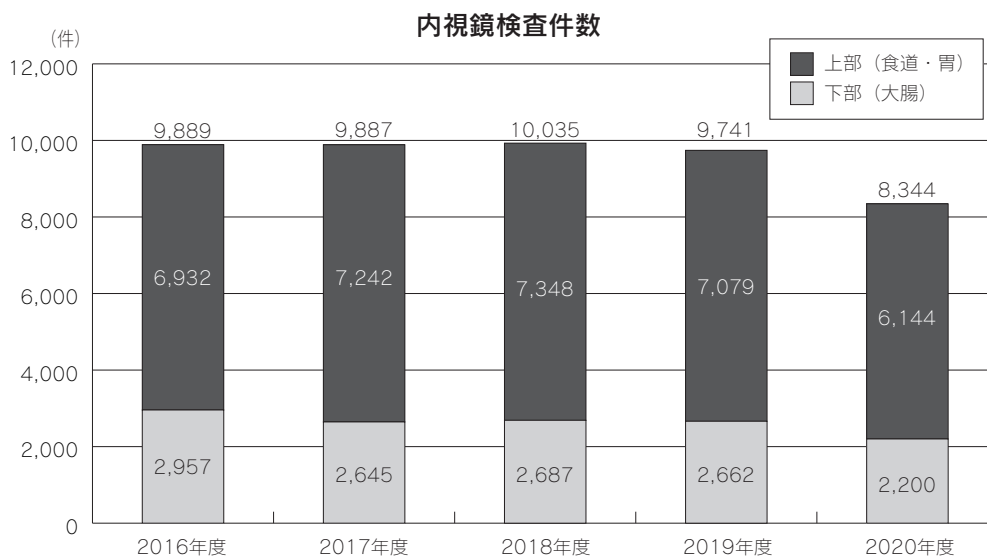
ビジョン『患者や開業医に信頼される消化管内科の確立』

戦略テーマ『質の高い満足して頂く医療の提供』

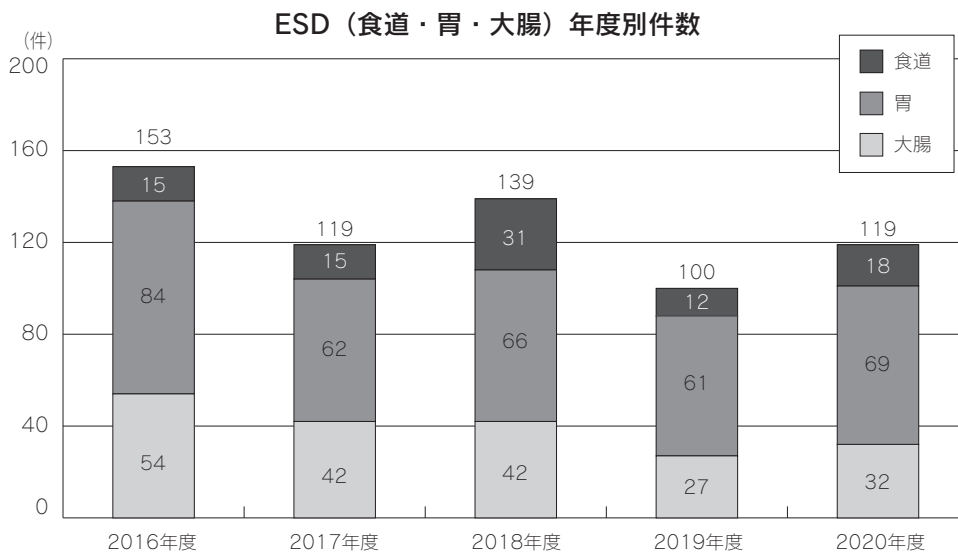
	戦略目標
顧客の視点	患者・家族の満足の向上 紹介医の満足の向上
業務の視点	消化管内科新病棟の確立 内視鏡センターの充実 クリニカルパスの充実
学習と成長の視点	レジデント（消化器専門医）の育成 内視鏡学会認定技師の育成（看護師）
財務の視点	消化器科の収入増加

		2018年度(H30年度)	2019年度(R1年度)	2020年度(R2年度)
スタッフ構成		12名	11名	12名
入院	患者数(人)	8,696	6,724	5,424
	新入院(人)	1,029	949	726
	診療単価(円)	43,600	45,874	46,929
	平均在院日数(日)	8.6	7.2	7.6
外来	患者数(人)	12,773	11,988	9,700
	初診(人)	2,624	2,553	1,923
	診療単価(円)	16,972	18,461	21,780
救急車(台)		427	481	401
紹介(件)		1,211	1,156	941
逆紹介(件)		264	216	267
上部内視鏡手術件数		273	233	219
下部内視鏡手術件数		1,328	1,282	1,011

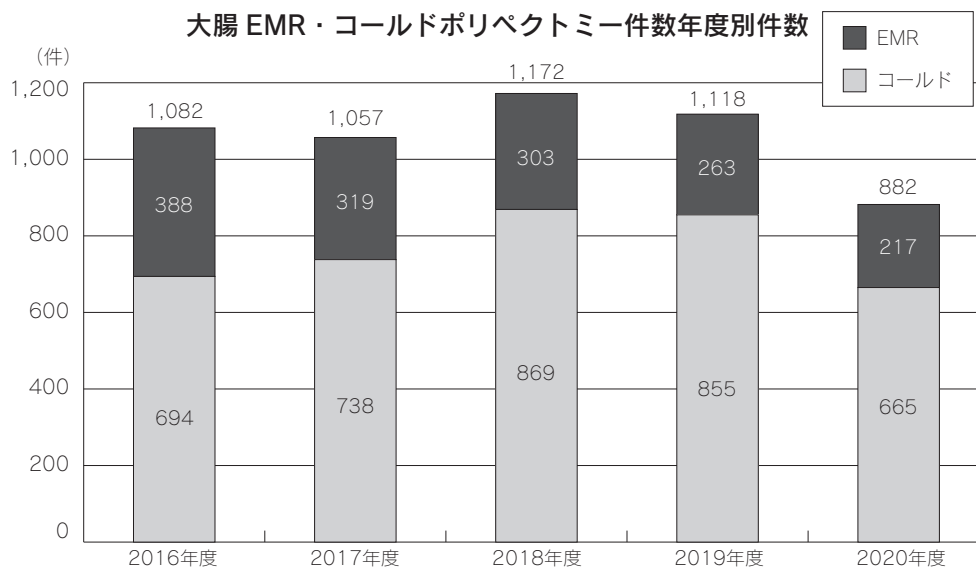
①内視鏡総数



②ESD (食道・胃・大腸)



③大腸EMR (EMR + COLD)



..... 循環器科主任部長 市来 俊弘
 循環器科部長・心臓カテーテル室室長 山本 光孝

《2020年度活動報告》

長く循環器科に勤められた赤塚主任部長が2020年6月に退職され、市来が後任となったが、臨床の現場はこれまで通り山本部長を中心に虚血性心疾患や心不全、下肢閉塞性動脈硬化症などの診断・治療に取り組んでいる。

2020年4月より山本部長、小嶋医長を中心にして心房細動のカテーテルアブレーションを本格的に開始し、順調に症例を増やしている。2021年度はカテーテルアブレーション件数の増加に加え、心不全再入院の抑制や心臓リハビリテーションの充実を目標としている。

2020年4～5月は新型コロナウイルス感染拡大のため、カテーテル検査・治療を中断した。そのため診断カテーテル検査、PCIの件数は5～15%減少した。しかし、その後心不全患者など入院患者数が若干増加したため、入院収入は概ね2019年度と同程度となった。

外来患者数は、2019年度と比べ2割減がつづき、新型コロナウイルス感染拡大前のレベルに戻っていない。不急の受診が減ったとも考えられるが、紹介患者数の増加が喫緊の課題である。紹介患者を増やすため、2020年度34件のクリニック訪問を実施した。2021年度も新型コロナウイルス感染の状況を見ながら継続する予定である。また2020年10月からは地域医療機関との連携を目指したWeb講演会を積極的に企画している。これらの取り組みを通して、開業医の先生方と顔の見える関係を作り、病診連携を強化していきたい。(文責 市来)



市来



山本

《2021年度目標》

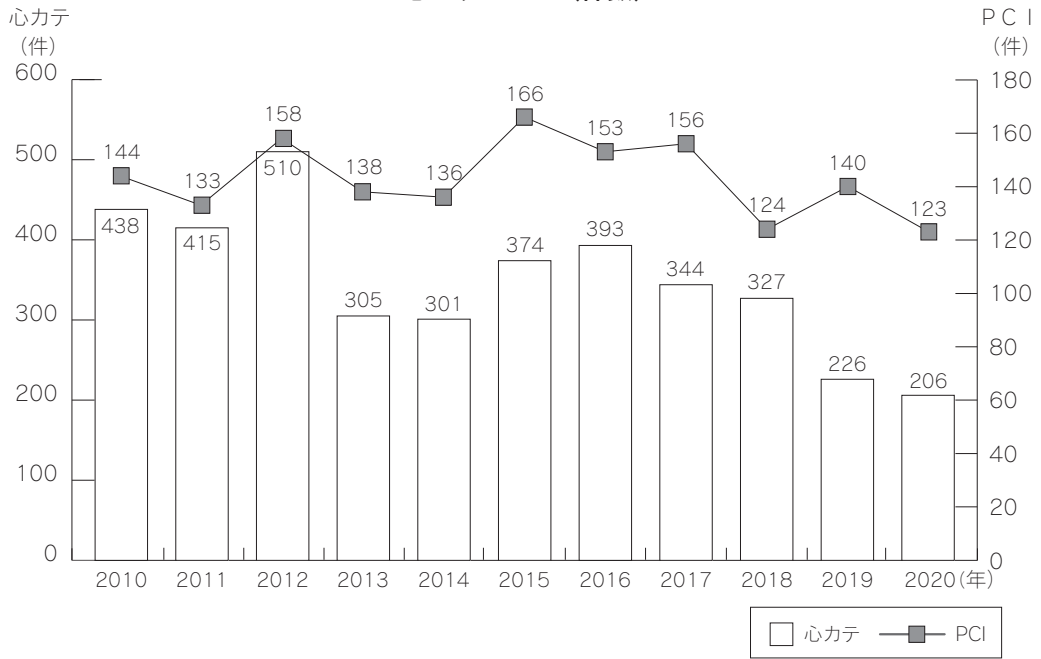
ビジョン『信頼される循環器科』

戦略テーマ『院内院外連携充実と全身循環治療』

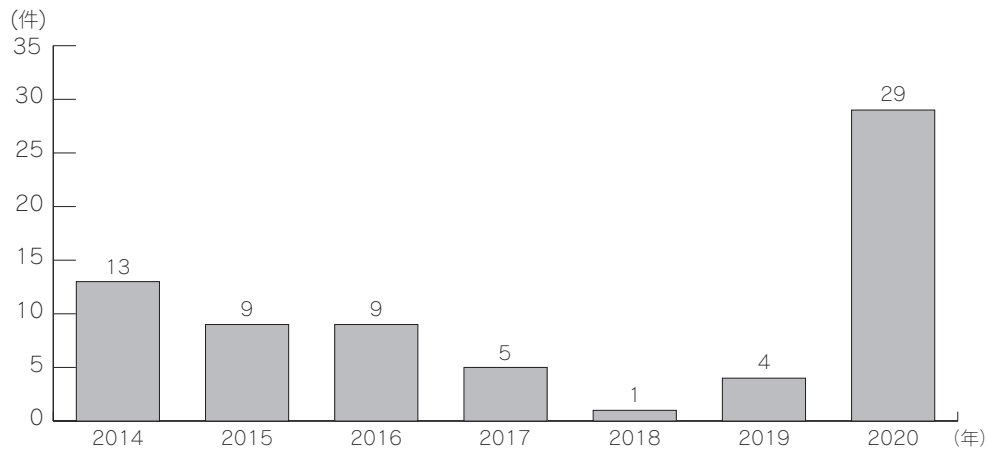
	戦 略 目 標
顧 客 の 視 点	患者満足の上昇 院外紹介医師満足の上昇 院内協診の充実
業 務 の 視 点	カテーテルアブレーションの増加・適応範囲の拡大 地域包括ケア病棟の活用 慢性心不全患者入院の増加 心不全治療の更なる向上・再入院の抑制 心大血管リハビリの充実
学 習 と 成 長 の 視 点	院内教育の充実 共同研究への積極的参加 資格取得、専門知識の向上 学会発表と論文発表
財 務 の 視 点	患者数増加・紹介の増加 カテーテルインターベンション治療の増加 医療材料費の見直し

		2018年度(H30年度)	2019年度(R1年度)	2020年度(R2年度)
スタッフ構成		8名	8名	8名
入 院	患 者 数(人)	7,823	6,986	6,878
	新 入 院(人)	684	514	542
	診 療 単 価(円)	68,742	66,668	69,418
	平均在院日数(日)	11.3	13.6	12.9
外 来	患 者 数(人)	9,749	9,422	7,637
	初 診(人)	1,203	1,259	932
	診 療 単 価(円)	8,947	9,835	11,515
救 急 車(台)		356	387	348
紹 介(件)		681	663	695
逆 紹 介(件)		521	762	660

(図1)
心カテ・PCI (件数)



(図2)
心臓カテーテルアブレーション



血液内科主任部長 上村 智彦

《2020年度活動報告》

2020年度は前年度と同様4名体制で診療を開始したが、11月以降は3名体制となった。しかし、前年度以上の入院患者数を診療することができ、累積入院患者数増加、外来化学療法の充実もあって外来収入も増加、合計は前年比113%であった。造血細胞移植コーディネーター（HCTC）資格の取得、造血細胞移植関連の設備整備も整い、2017年に取得した造血細胞移植学会の非血縁者間造血幹細胞移植認定診療科の資格は、九州で4施設5診療科にとどまるカテゴリー1認定を得ているが、2020年度も維持することができている。整備された設備・人材含むソフトを活かし、充実した医療チームによる包括的支援を目指した。こうした独自のチーム医療の取り組みを差別化戦略として戦略テーマを策定している。新規薬剤が相次いで国内承認された多発性骨髄腫領域の他、新しい機序であるBCL-2阻害剤Venetoclaxのマネジメントにおいても、当院の取り組みを全国講演会等で情報発信することができている。『医療チームによる包括的な患者支援』という目標に添った、患者・家族も参加しての血液がんサロンは2020年以降、COVID-19パンデミックもあって開催できていない。こうした中で、同種移植患者に対する移植経験者によるピアサポートも一時中止を余儀なくされたが、WEB面談を導入することで再開に漕ぎ着けている。COVID-19パンデミックの中、工夫を凝らして高度かつ良質な血液医療をこれまで以上に目指し、医療チームの連携を更に充実させ、プライベートホスピタルの良さを活かし、地域の血液診療に貢献したい。



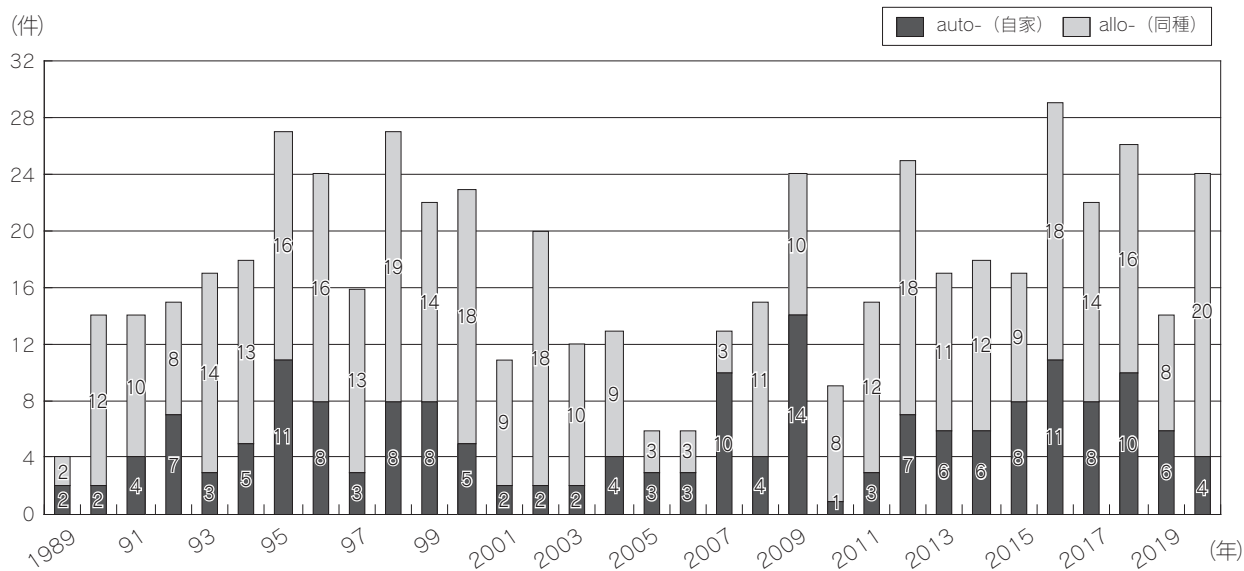
《2020～2021年度目標》

ビジョン『患者・家族とともに作る質の高い血液内科医療』

戦略テーマ『自己完結型の造血幹細胞移植施設として、血液疾患治療の地域における先進的な役割を担い、患者・家族とともに作る質の高い血液内科医療を目指す～医療チームによる包括的な患者支援～』

	戦 略 目 標
顧 客 の 視 点	医学・看護研究の推進 化学療法・移植の質向上 HCTCによる患者&ドナー支援の充実 患者・家族の満足度向上 患者・家族との連携強化
業 務 の 視 点	多発性骨髄腫治療・看護の強化 新規薬剤・新しい移植法への対応 移植認定基準のクリア・維持 末梢血幹細胞採取管理の向上 血液内科リハビリの強化
学 習 と 成 長 の 視 点	臨床試験・研究への積極参加・実施 血液疾患の学習 講演・発表活動の充実（広報として） 移植外来の充実 感染症サーベイランスの充実と利用
財 務 の 視 点	多発性骨髄腫患者の増加 紹介患者の確保 移植件数の安定 治療の医療経済的適正化

		2018年度(H30年度)	2019年度(R1年度)	2020年度(R2年度)
スタッフ構成		4名	4名	3名
入院	患者数(人)	15,805	14,465	15,008
	新入院(人)	425	405	326
	診療単価(円)	68,105	67,006	72,842
	平均在院日数(日)	37.1	35.1	45.9
外来	患者数(人)	6,258	6,068	5,064
	初診(人)	734	915	493
	診療単価(円)	48,122	50,948	69,374
救急車(台)		277	382	357
紹介(件)		283	316	286
逆紹介(件)		146	156	131



腎臓内科副部長 末廣 貴一

《2020年度活動報告》

2020年度は四枝、末廣、入江、佛坂の4人体制で開始し、四枝の退職により12月より3人体制で診療した。外来診療には稲永隆先生の応援をいただいた。

外来部門に関しては、COVID-19の影響で一時的に患者数が減少する時期はあったが、患者数が外来枠数の限界に近づいており、逆紹介を行うことで患者数をコントロールした。専門外来である慢性腎臓病外来（CKD 外来）を週3回行っており、医師・専門看護師・管理栄養士によるチーム医療で包括的な腎不全治療を提供している。2020年度は、腹膜透析患者が増加し、外来診療単価の上昇に寄与した。



入院部門では、患者数、手術件数ともに増加傾向を保っている。

腎臓病センターでは腎臓内科以外に、循環器科、消化管内科、整形外科、総合診療科、血液内科などの透析患者さんの合併症入院も連携して治療している。血漿交換や血液吸着療法などアフェレーシス療法も各科と連携して施行した。

COVID-19の影響を大きく受けた1年であったが、これまで培ってきた診療体制をなんとか守り続けることに注力した。2021年度からは新たな部長として満生先生が着任し、新しい腎臓内科としてスタートする。

《2021年度目標》

ビジョン『腎炎から末期腎不全、腎移植まで対応できる』

戦略テーマ『急性、慢性、末期腎不全、腎移植の各病態で信頼される医療を提供する』

	戦 略 目 標
顧 客 の 視 点	原三信病院 腎臓内科を信頼していただく
業 務 の 視 点	腎臓病センターの底上げを図る
学 習 と 成 長 の 視 点	手術、手技の向上 若手医師やスタッフへの指導
財 務 の 視 点	腹膜透析外来を拡充する 透析アクセス手術件数の増加

	2018年度(H30年度)	2019年度(R1年度)	2020年度(R2年度)	
スタッフ構成	4名	5名	4名	
入 院	患 者 数(人)	3,530	3,528	4,143
	新 入 院(人)	218	232	189
	診 療 単 価(円)	45,862	47,396	46,912
	平均在院日数(日)	16.2	15.3	20.9
外 来	患 者 数(人)	3,744	3,720	3,539
	初 診(人)	277	294	267
	診 療 単 価(円)	15,590	18,153	22,473
救 急 車(台)	44	45	43	
紹 介(件)	410	457	379	
逆 紹 介(件)	135	136	186	
透 析 延 べ 回 数	2,279	1,967	2,063	

…………… 院長（呼吸器科）・健康管理センター長 原 直彦
呼吸器科部長 高木 陽一

《2020年度活動報告》

2020年度は、高木、久末、穴井の3名体制で診療にあたった。引き続き九大より福山医師の応援があり、金曜日の外来、回診、気管支鏡検査に携わって頂いている。2019年同様、肺癌治療患者の増加を目標に診療にあたった。スタッフが昨年に続き、さらに1名減少したため、各種経営指標は低下したが、検査と診療の質の向上を目指し努力できた。また、チーム医療を中心として、過誤査定対策、禁煙外来の状況確認、呼吸器勉強会を継続した。



高木

2019年度末よりのCOVID-19流行の影響で、外来入院とも検査治療に制限がかかり、運営に大きな影響がでている。特に、感染の危険性が高い気管支ファイバー検査は意識的に必要最小限の施行とし、前年度131例であったものが、今年度は77例と減少した。一方、COVID-19診療に関しては、穴井医師が藤田医科大学・国立国際医療研究センターのレジストリー研究に加入することで、当院でのファビピラビル（アビガン）処方が可能となった。中等症対応医療機関としての診療に貢献するため、最新の情報収集と治療薬確保につとめた。（文責 高木）

※気管支鏡77例（非小細胞肺癌 15例、小細胞肺癌 4例）

《2021年度目標》

ビジョン『呼吸器科の発展を目指して』

戦略テーマ『呼吸器科の底上げ Ver.7』

	戦略目標
顧客の視点	顧客満足の向上（紹介元・紹介先医療機関、患者）
業務の視点	紹介元医療機関の信頼回復 重症度、医療看護必要度の確保 高額腫瘍剤の使用時検証
学習と成長の視点	スキル向上（医師・看護師・チーム医療メンバー）
財務の視点	入院…重症患者の確保・査定の抑制 外来…禁煙外来の定着 総収入の回復

		2018年度(H30年度)	2019年度(R1年度)	2020年度(R2年度)
スタッフ構成		5名	4名	3名
入院	患者数(人)	9,803	9,010	7,197
	新入院(人)	621	551	355
	診療単価(円)	39,491	39,354	40,892
	平均在院日数(日)	16.0	16.5	20.3
外来	患者数(人)	6,072	6,244	4,601
	初診(人)	1,210	1,165	689
	診療単価(円)	16,695	15,031	18,649
救急車(台)		365	261	162
紹介(件)		741	827	550
逆紹介(件)		357	418	328

糖尿病内科医長 深水 豊

《2020年度活動報告》

入院は常勤医1名体制。外来は常勤週2回、非常勤週1回で行っている。

2020年度は病院全体のみならず糖尿病内科としても変動の年となった。

COVID-19入院に対応するための病棟・スタッフ再編に伴い、2020年12月～2021年4月まで糖尿病教室を一時中止せざるを得なくなった。2021年2月中旬からは新たな病棟にて活動をしているが以前と同様の糖尿病教室や医療・看護が行えるように2021年度は病棟スタッフの教育に注力していく。

COVID-19が沈静化するにはまだまだ期間が必要と推測されるため、外来も密を避ける方策は進めていく必要がある。他科との併診の患者さんは難しいが、当科のみのfollowで経過が落ち着いている患者さんに関しては自宅近くの診療所への転医を積極的にお勧めしている。



《2021年度目標》

ビジョン『テーラーメイドな医療の提供』

戦略テーマ『合併症の重症化予防』

	戦 略 目 標
顧 客 の 視 点	外来枠以外での協診対応の継続 受診・診療継続を促す指導（フットケア外来・腎不全外来など）
業 務 の 視 点	教育入院の充実 入院と外来の連携
学 習 と 成 長 の 視 点	DM知識の向上 スキルの向上
財 務 の 視 点	安定的な収入の確保と無駄の削減 地域の医療機関との連携強化

		2018年度(H30年度)	2019年度(R1年度)	2020年度(R2年度)
スタッフ構成		1名	1名	1名
入 院	患 者 数(人)	800	447	461
	新 入 院(人)	56	32	31
	診 療 単 価(円)	33,553	36,954	36,750
	平均在院日数(日)	14.7	14.0	15.4
外 来	患 者 数(人)	2,566	2,333	1,921
	初 診(人)	179	165	57
	診 療 単 価(円)	16,496	17,496	17,549
救 急 車(台)		54	73	22
紹 介(件)		90	74	92
逆 紹 介(件)		55	57	48

脳神経内科部長 藤木富士夫

《2020年度活動報》

入院および外来対応は、例年同様に常勤1名体制で行った。COVID-19流行による受診抑制のため大幅に外来初診患者数や紹介患者数が減少、入院患者数も同様に減少した。



《2021年度目標》

当科では、パーキンソン病、脊髄小脳変性症、認知症などの慢性疾患を抱える高齢者対応が主になるため、COVID-19流行による受診抑制の影響が大きく、しばらくこの状況はつづくものと思われた。まずは凡事徹底の初心へ立ち返り、丁寧に一人一人の診療にあたることを目標とする。

ビジョン『別無工夫（シンプルに）』

戦略テーマ『凡事徹底』

	戦略目標
顧客の視点	患者・家族の満足度向上 他院紹介医の満足度向上
業務の視点	効率的な運用 MSW・地域連携室との連携強化
学習と成長の視点	他職種連携の充実
財務の視点	入院患者増加

		2018年度 (H30年度)	2019年度 (R1年度)	2020年度 (R2年度)
スタッフ構成		1名	1名	1名
入院	患者数(人)	1,869	2,537	2,064
	新入院(人)	125	123	86
	診療単価(円)	37,499	36,101	39,661
	平均在院日数(日)	15.6	20.8	24.3
外来	患者数(人)	3,059	3,053	2,528
	初診(人)	416	488	302
	診療単価(円)	11,779	12,180	18,479
救急車(台)		41	87	26
紹介(件)		288	349	294
逆紹介(件)		199	228	211

……………循環器科主任部長兼睡眠呼吸障害センター長 市来 俊弘

《2020年度活動報告》

2020年度の終夜睡眠ポリグラフィー検査は148件であった。2019年度と比べ71件減少した。新型コロナウイルス対応のため、4月中旬から5月いっぱい検査を中止した影響もあるが、その後も検査件数は2019年度を下回った。紹介患者数が減少していることに起因している。持続陽圧呼吸療法（CPAP）の管理は200件/月程度で大きな増加はなかった。2020年4月から遠隔モニタリング加算の算定要件が緩和されたため、CPAP使用状況の良好な方は2ヶ月に一度の受診とした。その影響と思われるが、なかなか減らなかった未受診者が減少傾向にある。



睡眠時無呼吸症候群が心血管病を増加させることから、高血圧合併例などリスクの高い患者に対して、頸動脈エコーや心エコーなどによる心血管病のスクリーニングを積極的に進めている。

睡眠時無呼吸症候群についての理解を深め、紹介を増やしていただくよう、循環器科と共同で地域医療機関との連携を目的とした講演会を開催してきたが、2020年度は新型コロナウイルス感染症拡大のため中止となった。その代わりに、クリニック訪問を精力的に行った（訪問34件）。また2020年10月からは、循環器科と共同のWeb講演会を積極的に企画している。2021年度も引き続き原三信病院で睡眠時無呼吸症候群の診療を行っていることを開業医の先生方へ周知し、より多くの患者を紹介してもらえるように努力したい。

《2021年度目標》

ビジョン『快適で良質な睡眠による健康増進』

戦略テーマ『院内外との連携強化と総合的な生活習慣病治療』

	戦略目標
顧客の視点	患者満足度の向上 総合的な健康管理
業務の視点	院内外との連携強化 総合的な生活習慣病治療
学習と成長の視点	睡眠時無呼吸症候群の周知を図る
財務の視点	紹介患者の増加 PSG、CPAP件数の増加を図る CPAP外来未受診患者を減らす

		2018年度(H30年度)	2019年度(R1年度)	2020年度(R2年度)
スタッフ構成		1名	1名	1名
入院	患者数(人)	422	437	295
	新入院(人)	211	219	148
	診療単価(円)	47,858	48,139	54,636
	平均在院日数(日)	2.0	2.0	2.0
外来	患者数(人)	2,081	2,079	1,599
	初診(人)	150	133	108
	診療単価(円)	14,940	16,005	20,648
紹介(件)		125	129	89
逆紹介(件)		45	67	49

脳神経外科部長 庄野 禎久

《2020年度活動報告》

2020年度から脳神経外科顧問として森岡隆人先生に赴任して頂き、小柳侑也先生と3人体制で診療を行った。4月と5月は他科同様、新型コロナウイルス感染症第1波の影響で外来患者数、救急車受け入れ台数、入院患者数、手術数など軒並み減少したが、その後徐々に回復傾向となっている。特に森岡顧問の専門分野の一つであるてんかん患者の外来診療が増加傾向で、難治性てんかんに対する迷走神経刺激装置（VNS）の設置術など新たな外科治療も開始している。また小柳医師は12月に脳神経外科専門医試験を受け、無事に合格することができた。2021年度も新型コロナウイルス感染症に対する院内ルールを遵守し、院内感染やクラスターを招かないように細心の注意を払いつつ、救急対応をはじめ外来診療、入院診療や外科治療を継続する方針である。



《2021年度目標》

ビジョン『必要かつ最善な脳外科診療を遂行する』
『長期的に持続できる診療体制の構築』

戦略テーマ『チーム医療による質の高い医療の提供及び持続可能な診療体制作り』

	戦略目標
顧客の視点	情報提供の充実（患者さん・連携医療機関） 救急及び紹介患者の受け入れ体制強化
業務の視点	外来～病棟～手術～退院（転院）の連携強化 救急患者への迅速な対応
学習と成長の視点	医療従事者の知識の向上 積極的な論文作成及び学会発表
財務の視点	救急及び紹介患者の確保 効率的医療の実践 重症度、医療・看護必要度の維持

		2018年度(H30年度)	2019年度(R1年度)	2020年度(R2年度)
スタッフ構成		2名	3名	3名
入院	患者数(人)	5,206	5,466	4,944
	新入院(人)	247	271	205
	診療単価(円)	53,033	55,882	52,634
	平均在院日数(日)	21.3	20.6	24.5
外来	患者数(人)	2,961	3,274	3,038
	初診(人)	504	633	567
	診療単価(円)	16,032	14,384	14,381
救急車(台)		240	319	259
紹介(件)		182	223	218
逆紹介(件)		200	158	159
手術件数		112	142	91

副院長兼外科主任部長 江口 徹
 胸部外科部長 廣田伊千夫 消化器外科部長 当間 宏樹
 肝胆膵外科部長 橋爪健太郎 乳腺内分泌外科部長 小川 尚洋



江口



廣田



当間



橋爪



小川

《2020年度活動報告》

令和2年度の活動は、COVID-19の影響を受けて、多くの予定変更を余儀なくされ、例年とは大きく異なった一年になりました。外科のスタッフは一部入れ代わりがあり、4月には片山医師に代わって佐藤医師が、6月には中房医師に代わって三浦医師が就任しました。三浦医師は今回で2回目の入社になりますが、直前まで臓器移植の海外研修のため米国に滞在し、ニューヨークで未曾有のCOVID-19パンデミックを経験して帰国しました。肝移植など、COVID-19下でも継続しなければならない移植医療があり、その奮闘談は、今年の病院総会や全国学会で披露され、多くの注目を集めました。COVID-19の感染予防と通常医療の両立は、昨年より大きなテーマになりましたが、今後もしばらく継続的な取り組みが必要でしょう。外科では悪性疾患の手術件数はほぼ従来どおりでしたが、鼠径ヘルニアや胆石症などの良性疾患の手術は減少し、全体では約10%の手術減でした。ヘルニアの場合、常にヘルニア嵌頓のリスクは考慮しなければならず、放置していると思わぬ緊急事態を招くこともありますので、対象の患者さんがいらしたら、ぜひ一度当科まで御相談ください。

消化器外科の領域では、近年、新しい低侵襲手術に取り組んでいます。胃粘膜下腫瘍に対する腹腔鏡内視鏡合同手術の一つにCLEAN-NETと言う術式があり、局所切除に伴う胃の変形や腫瘍播種のリスクなどが低減化されることが知られていますが、精緻な剥離を要し、より困難な手技です。その分、患者さんにはメリットが大きく、今後も適応を選びながら、慎重に取り組んで参りたいと思います。また、腹壁ヘルニアに対する新しい内視鏡外科手術であるeTEPにも取り組んでおり、従来の手術より術後疼痛が軽減されることが分かって参りました。腹壁ヘルニアには、時に成人頭大に達する巨大なものもあり、その手術治療は難度が高く、学会でも未だ議論の尽きない所です。しかし、術後の患者さんの満足度は概して高く、今後の発展が見込まれます。新しい治療には、一時的な脚光を浴びたものの、普及には至らないものもあり、患者さんへのメリットという視点を忘れることなく、今後も積極的に取り組んで参りたいと思います。

地域の医療施設への訪問は、やはりCOVID-19下で自粛せざるを得ませんでした。その分、ホームページのアップデートなどに取り組み、令和2年度の閲覧数は1.5倍増になりました。開業医の先生方との面会は、貴重なコミュニケーションの機会ですが、再開できるまではまだしばらく時間がかかりそうです。今年度より当院は地域がん診療連携拠点病院に認可され、がんセンターも開設されました。外科は、いわゆる五大がん（肺がん、乳がん、胃がん、肝臓がん、大腸がん）の全ての診療に関与しており、がん診療連携パスの運用などを通じて近隣の医療施設とのつながりを深め、今年度も地域のがん診療に貢献して参りたいと思います。（文責 当間）

《2021年度目標》

ビジョン『がん治療の充実』

戦略テーマ『臓器別診療体制の充実』『術後合併症の抑制』

	戦 略 目 標
顧 客 の 視 点	「説明と同意」の充実 患者満足度の向上 治療体制の臓器別センター化 外科広報の充実
業 務 の 視 点	リスク管理の徹底化 クリニカルパスの充実化 臓器別治療体制の充実 術後感染率の低下 より良い労働環境作り
学 習 と 成 長 の 視 点	高度な治療技術の取得 安全で確実な外科医療を提供する為の職員教育 周術期ケアの充実（東館6F病棟・外科）
財 務 の 視 点	患者確保 無駄のない医療 腎移植後患者の治療拡充

		2018年度(H30年度)	2019年度(R1年度)	2020年度(R2年度)
スタッフ構成		9名	9名	9名
入 院	患 者 数 (人)	10,718	11,240	10,192
	新 入 院 (人)	714	853	677
	診 療 単 価 (円)	61,776	65,367	66,063
	平均在院日数(日)	14.3	12.8	14.6
外 来	患 者 数 (人)	12,472	12,665	11,844
	初 診 (人)	708	802	644
	診 療 単 価 (円)	25,142	24,889	21,185
救 急 車 (台)		38	39	28
紹 介 (件)		561	628	562
逆 紹 介 (件)		222	229	193
手 術 件 数		682	758	634

外科手術件数

		2018年度(H30年度)	2019年度(R1年度)	2020年度(R2年度)
内 分 泌 (甲状腺・副甲状腺・乳腺)	甲状腺・副甲状腺	2	21	14
	乳腺	47	42	48
	計	49	63	62
胸 部 (肺、食道)	肺悪性	22	18	19
	良性	23	16	15
	計	45	34	34
腹 部 消 化 管 (人工肛門含む)	胃	27	40	33
	結腸直腸	161	88	107
	その他	54	28	18
	計	134	156	158
虫垂炎		64	67	60
肝、胆、膵、脾		25	37	27
胆石症、胆嚢ポリープ		110	122	95
ヘルニア(腹壁、鼠径)		151	155	100
痔、肛門ポリープ		8	9	4
下肢静脈瘤		0	0	0
皮下腫瘍、リンパ節腫張		36	35	34
その他 (PTCD、気切、ポート挿入等)		60	80	60
合 計		682	758	634

..... 整形外科部長 高崎 実

《2020年度活動報告》

2020年度は、整形外科部長が交代し、私、高崎が赴任しました。その他のローテーターのスタッフも3人交代しました。しかし、2020年度は人事的な影響よりも、新型コロナウイルスによる影響をもろに受けた年となりました。整形外科があつかう疾患は、骨折以外は不急の疾患が多いため、全国的にも全診療科の中でも最も影響を受けた科の一つとなりました。当院も、特に4～6月に外来・入院・手術が激減し、その後も完全には回復していません。このため、当方の努力で患者を増やすことを目標に、救急車対応に關しての強化を行いました。



2021年度に向けた目標としては、2020年度に掲げていた目標などが、新型コロナウイルスの影響で適切に運用できなかったこともあり、2020年度のものをもそのまま2021年度目標としました。明るい材料としては、整形外科スタッフの構成が、従来は常勤スタッフが2人（部長と永野医師）と九大整形外科ローテーターが3人でしたが、2021年度は常勤スタッフが4人と倍増しました（酒見医師、田邊医師が新たに常勤スタッフとなりました）。これにより、今後、当院整形外科の診療体制が以前よりもレベルアップし、安定すると思われます。

《2021年度目標》

ビジョン『地域が求める整形外科』

戦略テーマ『二次救急・急性期入院医療の充実』

	戦 略 目 標	
顧 客 の 視 点	患者・スタッフの満足度の向上 情報提供と共有	早期社会復帰 診療機能の充実
業 務 の 視 点	手術の拡充 救急対応の継続 専門的医療の強化	クリニカルパス更新と活用 地域包括ケア病棟との院内連携
学 習 と 成 長 の 視 点	スキルアップ	
財 務 の 視 点	新規入院患者の確保 適正な診療報酬	平均在院日数の軽減 不要な医療費の削減

		2018年度(H30年度)	2019年度(R1年度)	2020年度(R2年度)
スタッフ構成		5名	6名	5名
入 院	患 者 数(人)	13,354	18,309	12,321
	新 入 院(人)	689	708	505
	診 療 単 価(円)	52,028	47,543	50,140
	平均在院日数(日)	19.4	25.9	24.0
外 来	患 者 数(人)	10,781	11,206	8,609
	初 診(人)	1,853	1,874	1,411
	診 療 単 価(円)	8,680	8,385	8,965
救 急 車(台)		273	305	266
紹 介(件)		707	695	583
逆 紹 介(件)		854	722	699
手 術 件 数		633	657	473

名誉院長 内藤 誠二
泌尿器科主任部長 横溝 晃
泌尿器科部長 武井実根雄・宮崎 薫・一倉 晴彦



内藤



横溝



武井



宮崎



一倉

《2020年度活動報告》

2020年度の泌尿器科は原三信泌尿器クリニックを含め18人体制で診療を行った。当院泌尿器科は、尿路結石症、泌尿器がん、前立腺肥大症、女性泌尿器科を始めとして、小児泌尿器科以外の全ての泌尿器科疾患に対し、高度な専門治療を行うことができる国内唯一無二の施設であり、それぞれの患者数と手術件数は日本のトップレベルにある。外来は平成27年3月に新設された東館2階泌尿器センターを中心に、同階にある透視下手術室、ESWL室、3階の手術室、4階の泌尿器科病棟とともに緊密な連携のもとで泌尿器科診療を円滑に行っている。月曜から金曜日まで毎日新患を受け付けており、一般泌尿器科診療以外に特殊外来として女性泌尿器外来、尿失禁外来、ED外来および不妊外来を設けている。2020年の統計を表1に示す。新型コロナウイルス感染症の影響で、外来診療、入院診療ともに約15%減の実績となった。月別の統計を見ると4-5月の著明な減益と2020年2月の第3波の影響が大きい。共通するものとして、紹介患者の減少→新患の減少→手術数の減少→入院患者数の減少→収益の減少とすべてパラレルに推移しており、新型コロナウイルスのため、患者が紹介元医療機関への受診を控えた結果、最終的に当院の入院、手術統計に影響したことが見て取れる。続いて、2020年の主な手術件数を表2に示す。手術日毎月曜から金曜日まで毎日、経尿道的な内視鏡手術を始め、腹腔鏡下手術、ロボット支援手術も毎日行っている。手術数の多いものからの順位に大きな変化はないが、全体的に手術数が減少しており、こちらも上記の影響と思われる。そのため、2021年の戦略テーマは、『柔軟性に富む安全なチーム医療の実践』とした。これは新型コロナウイルスの感染状況の変化に合わせて、病院全体の対応には全面的に協力しながら、その中で安全かつ柔軟に泌尿器科診療を可能な限り提供していくことを目指したものである。そのため、2021年の目標はコロナ前の2019年度の診療実績と同じレベルに戻すこととした。紹介患者の減少が最も大きな影響を及ぼしているため、紹介元医療機関との病診連携をこれまで以上に活性化することが必要と考えている。また診療部スタッフの入れ替えもあり、円滑に手術を行うため、手術枠を執刀医ベースの枠を基本とし、その枠数を曜日ごとに設定して手術予定を入力できる方法に変更した。この方法により、年間2,500例の手術が可能となった。

円滑で質の高い安心、安全な医療を提供するため、週2回の症例カンファレンス、週1回の回診、手術カンファレンス、抄読会、女性泌尿器科カンファレンス、そして、月1回のキャンサーボードと神経泌尿器科カンファレンス、医師と泌尿器科診療に関わるスタッフ全員を交えてのチーム医療検討会を開催している。そして平成26年に放射線科と病理診断科の協力のもと開始した前立腺がんキャンサーボードはすべて予定通り開催され、そのことが功を奏して、2021年4月に、「地域がん診療連携拠点病院」の指定を受けることができた。当科はすでに前立腺がん地域連携パス(手術後と放射線治療後)を使用しているが、「がん治療連携計画策定料」の請求が可能となったため、今年度はますます前立腺がん地域連携パスの運用を活発に行っていく予定である。また働き方改革に対応するため、1)木曜日の午後はカンファレンスの時間とする 2)当直翌日の午後は休み 3)タイムカードによる就業時間の管理と必要な有給休暇の取得の徹底を行っている。(文責 横溝)

《2021年度目標》

診療実績をコロナ禍前の2019年度レベルまで回復させ、病院の黒字経営に貢献する。

ビジョン『未来をリードする泌尿器科診療』

戦略テーマ『柔軟性に富む安全なチーム医療の実践』

	戦 略 目 標
顧 客 の 視 点	<ul style="list-style-type: none"> ・待ち時間の短縮、初診問診票の改定、テンプレート入力、AI問診票の導入 ・待ち時間短縮→新患予約の推進（紹介いただく病院へ情報公開） ・逆紹介を増やし、かかりつけ医と連携・情報の共有を行い効率的な診療を行う ・ホームページの更新、活用 ・安心、安全な看護を提供し、不安の軽減に努める ・正確で迅速な検査結果の提供 ・高い専門性を活かした服薬指導、及び副作用モニタリング
業 務 の 視 点	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルスの感染状況に応じた迅速、柔軟な対応 ・仕事に誇りがもてる充実した職場づくり ・働き方改革を取り入れた業務改善、業務を見直し重複や過剰業務を改善する ・チーム医療メンバーとの良好なコミュニケーションと勉強会、研修会の開催、参加 ・専門領域を生かした診療体制の樹立、各専門外来の周知を図る ・泌尿器科外来薬剤師の配置、専門看護師の育成、資格取得、泌尿器科担当手術看護師の育成 ・個々の専門知識・技術の向上をはかり、正確な検査結果を迅速に提供する ・他医療職種との連携をはかり、定期的に勉強会、Web講演会の聴講などで理解を深める
学 習 と 成 長 の 視 点	<ul style="list-style-type: none"> ・スタッフの専門知識の向上 ・各部門のスタッフの講演会、学会への参加と発表の推進 ・専門資格の習得 ・チーム医療の参加推進
財 務 の 視 点	<ul style="list-style-type: none"> ・査定減少の努力を継続する（チーム医療を通じてフィードバックと周知を実践する） ・残業削減 ・高額薬剤・試薬やディスプレイ製品の慎重な使用 ・パスの改訂→効率化を推進する ・一時購入薬品の在庫管理、後発品への切り替え ・コスト意識を持つ。高価な試薬や消耗器具の必要以上の使用を控える

表 1

		2018年度(H30年度)	2019年度(R1年度)	2020年度(R2年度)
スタッフ構成		18名	18名	18名
入 院	患 者 数 (人)	24,281	23,054	17,056
	新 入 院 (人)	2,817	2,595	2,290
	診 療 単 価 (円)	59,705	61,961	69,494
	平均在院日数(日)	8.6	8.9	7.5
外 来	患 者 数 (人)	44,325	41,853	35,279
	初 診 (人)	5,591	5,489	4,753
	診 療 単 価 (円)	22,047	24,501	24,475
救 急 車 (台)		211	229	219
紹 介 (件)		2,993	2,843	1,546
逆 紹 介 (件)		1,357	1,457	2,029
手 術 件 数		2,329	2,257	2,029

表2 2020年度の主な手術件数

手術コード	手術名称	件数
K7811	経尿道的尿路結石除去術（レーザー）	272
K8036イ	膀胱悪性腫瘍手術（経尿道的手術）（電解質溶液利用）	262
K783-2	経尿道的尿管ステント留置術	251
K841-21	経尿道的レーザー前立腺切除・蒸散術（ホルミウムレーザー等使用）	98
K843-4	腹腔鏡下前立腺悪性腫瘍手術（内視鏡手術用支援機器を用いる）	91
K7981	膀胱結石（異物）摘出術（経尿道的手術）	61
K8512	会陰形成手術（筋層に及ぶ）	60
K802-22	膀胱脱手術（その他）	57
K773-2	腹腔鏡下腎（尿管）悪性腫瘍手術	48
K768	体外衝撃波腎・尿管結石破砕術	44
K800-2	経尿道的電気凝固術	43

..... 婦人科部長 片岡 恵子

《2020年度活動報告》

2020年度の診療体制は常勤医師4名を継続し、良性の婦人科疾患に特化した診療を継続しています。COVID-19の影響もあり、受診患者数は約10%低下、それに伴い手術数も減少しています。2020年4～5月は初回緊急事態宣言の影響を受け、手術を延期、中止するなど対応に追われました。

2020年6月頃より病院の受け入れ体制も整い、コロナウイルスPCR検査や抗原検査を行いつつ手術を例年通り施行しています。幸いなことに手術室などでのCOVID-19発生はなく、感染に注意しながらの診療を継続中です。

当科は骨盤臓器脱に対しては女性泌尿器科グループと連携し術式の検討や必要な検査、術後のフォローなどを展開しており、最適な治療を提供できる点が他に例を見ない大きな特徴です。

もちろん良性疾患を対象に内視鏡手術にも継続して力を入れており、2014年から現時点で1,600例を超える内視鏡手術を実施し、大きな合併症や後遺症なく経過できています。不妊治療専門のクリニックより生殖医療前後の子宮鏡手術や腹腔鏡手術を依頼されることも多く、治療を急がれる患者さんには日程や手術のタイミングもCOVID-19の感染状況をにらみつつ、柔軟に対応するように心がけています。今後も小回りの利く対応で良性疾患全般、特に不妊・内分泌領域および女性のヘルスケア（骨盤臓器脱や更年期障害など）に適した内視鏡手術、治療を行っていくとともに、地域の皆様と強く連携し、頼りにされる診療をさらに進めていきたいと思えます。

なお、オンラインでの診療予約も試行を開始しています。現在は再来予約のみ受け付けておりますが、将来的には初診にも間口を広げていく予定です。今後とも地域のよきパートナーとして尽力していきたいと存じます。どうぞよろしくお願い申し上げます。



《2021年度目標》

ビジョン『安心して治療が受けられ笑顔で帰っていただける診療』

戦略テーマ『安心と信頼と身近な医療の提供』

	戦略目標
顧客の視点	患者満足度の向上（親切、丁寧、優しい婦人科）
業務の視点	健診～外来～病棟～手術室の連携強化 業務の効率化
学習と成長の視点	知識及び技術の充実 情報の共有
財務の視点	収入増

		2018年度 (H30年度)	2019年度 (R1年度)	2020年度 (R2年度)
スタッフ構成		4名	4名	4名
入院	患者数(人)	2,603	2,358	2,252
	新入院(人)	439	428	406
	診療単価(円)	89,155	95,711	96,881
	平均在院日数(日)	5.9	5.5	5.5
外来	患者数(人)	7,162	7,069	6,567
	初診(人)	1,199	1,204	929
	診療単価(円)	10,652	10,552	10,307
救急車(台)		18	22	14
紹介(件)		778	799	679
逆紹介(件)		300	414	428
手術件数		405	405	379

婦人科手術症例件数 (2020年4月～2021年3月)

腹腔鏡下子宮付属器腫瘍摘出術	68	子宮脱手術 4. 腔壁形成手術及び子宮全摘術	24
腹腔鏡下子宮筋腫核出術	27	流産手術(妊娠11週まで)	1
腹腔鏡下腔式子宮全摘術	53	流産手術(妊娠11週まで)(手動真空吸引法)	3
腹腔鏡下子宮外妊娠手術	7	女子外性器腫瘍摘出術	3
腹腔鏡下子宮付属器癒着剥離術	27	腹式子宮筋腫核出術	15
腹腔鏡下多嚢胞性卵巣焼灼術	2	開腹下子宮付属器腫瘍摘出術	5
腹腔鏡下仙骨脛固定術	6	腔壁形成手術	3
腹腔鏡下子宮内膜症病巣除去術	24	子宮頸管ポリープ切除術	6
腹腔鏡下卵管摘出術	3	胎状奇胎除去術	2
子宮鏡下子宮内膜ポリープ切除術	80	試験開腹術	1
子宮鏡下子宮筋腫核出術	5	限局性腹腔膿瘍手術	1
子宮鏡下子宮中隔切除術、子宮内腔癒着切除術(癒着剥離術を含む)	2	創傷処理(筋肉、臓器に達しない)(長径5cm未満)	2
アウス	1	腔閉鎖術	2
子宮全摘術	12	会陰形成術 2. 筋層に及ぶもの	1
子宮内膜搔爬術	39	腔壁裂創縫合術 1. 前又は後壁裂創	1
子宮内容除去術(不全流産)	2	腔壁裂創縫合術 3. 膣門蓋に及ぶ裂創	1
バルトリン腺嚢胞摘出術・造袋術	1	血管塞栓術(頭部、胸腔、腹腔内血管等)(その他)	1
合 計			431

放射線科部長 田中 厚生

《2020年度活動報告》

本年度より改正医療法が施行され診療用放射線の安全管理体制が法制化された。これにより患者との情報共有が定められ、我々放射線科医も医療従事者として機器の適正な運用確認およびわかりやすい患者説明への対応を開始した。また医療放射線の安全利用のための研修も開始した。

当院では全身MRIをすでに開始していたが保険収載に伴いMRI、ひいてはそれ以外のCT検査などもより一層の適正管理が要求されるようになり、マニュアル整備および機器設定の点検見直し最適化を行ってきたが、今後も続ける予定である。今後の医療施設のスタンダードになるであろう画像診断管理認証施設の認定も取得できた。

コロナ禍で検査件数は減った一方で、放射線治療は件数が維持されている。また検査に対する医師の要求が増大する中、懸念されていたクラスター感染発生も無くここまで来ている。多大な努力を重ねてきた診療技術部放射線科、クラーク諸氏その他関係の皆様へ深く感謝したい。

今年度も院外から多数の撮影依頼をいただいているが、検査は依頼者の役に立って初めて意味をなす。撮影オーダーだけでなく「こういうことを知りたい、こういうことで困っている」ということがあれば是非オーダー前にご相談されたい。



《2021年度目標》

ビジョン『良質な放射線医療をめざす』

戦略テーマ『ニーズに対応し、質の向上と危険回避の徹底』

	戦略目標
顧客の視点	安全性の確保 放射線治療件数の回復 検査トラブルの減少 被曝低減
業務の視点	時間外検査増加への対応 放射線治療の充実 読影の質の保証 放射線の安全利用
学習と成長の視点	勉強会の実施 安全教育の徹底 読影技術の向上 最新知見の理解
財務の視点	紹介患者数の増加 ハイパーサーミアの件数増加 保有機器のメンテナンス見直し 過誤査定の検討 医事マスタメンテナンス

		2018年度(H30年度)	2019年度(R1年度)	2020年度(R2年度)
スタッフ構成		4名	4名	4名
外来	患者数(人)	5,494	5,468	5,225
	初診(人)	385	415	541
	診療単価(円)	30,512	32,402	32,634
紹介(件)		450	523	619
逆紹介(件)		338	424	546

..... 歯科・口腔外科部長 小野田 慈美

《2020年度活動報告》

2020年度はCOVID-19の影響を受けた一年となりました。4月5月は感染のリスクを減少させるために外来診療を制限・手術を延期などして、対応に追われました。緊急事態宣言解除後の6月以降は病院の患者受け入れ体制が整い、歯科でも感染対策に留意しながら外来患者・入院患者の受け入れを再開しました。

2020年度も引き続き田籠・小野田の常勤2名に加え、九州大学病院口腔外科から週に1回非常勤歯科医師の体制で診療をおこないました。これまで「地域に貢献し、地域に頼られる病院歯科」を目標に、近隣の病院・歯科医院への広報活動を実施してきましたが、その効果から周囲病院・歯科医院での認知度も高まってきており、紹介件数・逆紹介件数・外来患者数とも4月・5月こそは減少したもののその後は増加傾向を維持しています。特に、睡眠時無呼吸症候群や口腔外科的疾患の紹介患者が増加し、全麻手術症例の紹介も増加傾向を維持しています。

病院内での他科との連携においても、がん患者の周術期口腔管理や病棟における口腔ケア活動、摂食嚥下機能評価・訓練などを引き続き積極的におこなっています。香椎原病院においても、入院時の無料歯科検診と歯科治療に引き続き取り組んで参ります。



《2021年度目標》

ビジョン『院内・院外で連携のとれる歯科
常に患者の立場で、より早く、質の高い、誠実な歯科医療を』

戦略テーマ『地域に頼られる病院歯科として存在感を増す』

	戦略目標
顧客の視点	患者満足度の向上 診療環境の改善（特に院外からの紹介患者を考慮）
業務の視点	歯科入院患者に対しての診療の円滑化
学習と成長の視点	接遇向上のための研修会 専門性を高める 他分野との連携強化
財務の視点	他医療機関からの紹介、逆紹介患者を増やす 周術期口腔機能管理の推進

	2018年度(H30年度)	2019年度(R1年度)	2020年度(R2年度)	
スタッフ構成	2名	2名	2.2名	
入院	患者数(人)	278	462	447
	新入院(人)	31	49	55
	診療単価(円)	72,692	98,369	102,931
	平均在院日数(日)	9.1	9.5	8.2
外来	患者数(人)	10,026	10,679	10,233
	初診(人)	1,862	1,964	1,950
	診療単価(円)	6,868	7,010	7,467
救急車(台)	1	0	1	
紹介(件)	544	679	615	
逆紹介(件)	474	610	701	
手術件数	29	49	52	

..... 病理診断科部長 河野 真司

《2020年度活動報告》

病理診断数は年間4,636件で前年度とほぼ同数でした。細胞診は9,846件で約10%減でした。確定診断のため免疫・特殊染色までした症例は537件あり、前年度から8%減少しました。病理学会の外郭団体が主催する免疫染色の外部精度管理(全国で約300施設が参加)は中皮マーカーのカルレチニンとD2-40で、いずれも適正の評価でした。

臨床との合同カンファレンスとしては、引き続き月に3回、泌尿器、消化器、肺・乳腺のcancer boardを行っています。



《2021年度目標》

ビジョン『信頼される病理診断』

戦略テーマ『正確・迅速・満足のいく診断の提供』

	戦略目標
顧客の視点	質の高い報告書の提供 納得のいく病理説明 病理診断の患者説明もれ防止の整備
業務の視点	検査の質の維持 作業環境の改善 がんゲノム検査の整備 検体検査の精度の確保に係る整備
学習と成長の視点	問題症例の検討 スペシャリストの育成 先進医療への積極的協力
財務の視点	コスト削減

	2018年度(H30年度)	2019年度(R1年度)	2020年度(R2年度)
スタッフ構成	1名	1名	1名

..... 麻酔科部長 下澤 浩基
手術部部長 香取 清

《2020年度活動報告》

2019年に始まり2020年度は COVID-19により緊急事態宣言の発令など大変な年度となりました。

そんな状況とは無関係に、手術を受けられる患者さまの年齢は上昇する一方であります。当院ではロボット支援手術を含む、高度な技術を必要とする手術や長時間かかる手術件数は年々増加してきましたが、2020年度は減少しました。



下澤



香取

麻酔科は、メンバーの入れ替わりはありましたが、渡邊、香取、安部、平井、下澤の常勤医5名体制でした。この体制では、年々増加する麻酔科依頼症例に十分には対応できず、外部からの応援麻酔科医師とも協力し、麻酔科依頼手術症例に対応してまいりました。

心臓などの病気で抗凝固剤を内服しておられる患者さまへの対応として、また、手術をされる先生方の要求に対応するために、エコー装置を用いての神経ブロックに、積極的に取り組んできました。

手術を受けられる患者さまに、手術前後になるべく痛みが少なく、安全で心配の少ない入院生活をすごせるように、今後も努めていきたいと考えております。(文責 下澤)

《2021年度目標》

ビジョン『患者様のためならいつでも全力投球 !!』

戦略テーマ『患者様の安全と安心を第一に考え、実践する手術室』

	戦略目標
顧客の視点	患者安心感提供 患者満足度向上 執刀医満足度向上
業務の視点	効率的な手術室稼働 安全確保 スタッフ充実リスク回避
学習と成長の視点	麻酔科・手術室スタッフ満足度向上 麻酔科医師専門性向上 職員満足度向上
財務の視点	収益増加 医療費削減

	2018年度(H30年度)	2019年度(R1年度)	2020年度(R2年度)
スタッフ構成	5名	5名	5名
手術室症例	4,942	4,875	4,256
麻酔科管理症例	3,464	3,569	2,984

呉服町腎クリニック院長 石田 伊都子

《2020年度活動報告》

2020年度は、新型コロナ感染対策に追われた1年であった。

窓を開け放して30分毎に5分間の換気を行っている。極寒の間も、換気を徹底して行い、患者様には防寒具を準備していただいた。冬用の布団を発注したが、今季は間に合わず、入手できなかった。

高齢化に伴う通院困難のために、毎年数名の方は、維持透析施設の変更を余儀なくされている。

2016年11月1日より1巡のみではあるが、完全予約制の巡回バスのサービスを行っているが、依然として利用者は少ない。

2020年度は転入患者14名であった。新規導入は10名で原三信病院5名、福岡赤十字病院3名、浜の町病院1名、済生会福岡総合病院1名であった。転居による転入は2名、諸事情による転入2名であった。

九大病院のPD外来通院中であるが除水困難のために、週1回血液透析併用療法開始となられた方が毎週1回通院されている。

COVID-19流行を考慮し、旅行透析はお断りせざるを得なかった。ゲスト透析は毎週定期的に福岡に出張されている方の水曜日の透析と大島眼科での手術のために大島眼科に入院中の患者様のみで、臨時透析回数は年間のべ75回であった。

2020年度の転出は16名。うち死亡3名（いずれの方も入院中）、転院13名であった。東京への転居2名、オーバーナイト透析施設へ1名、生体腎移植のための離脱1名、送迎サービスのある施設へ6名、COVID-19流行のために個室透析希望による転院1名、自宅近くの維持施設へ転院1名、患者同士のトラブルのために転院1名。

死亡された3名の方々は、入院中であった（死因：末期癌1名、CAG中の心肺停止1名、術後の急変1名）。亡くなられた方の透析期間は、4年3か月、22年、37年1か月であった。

合併症診療は原三信病院に大きく依存している。原三信病院との緊密な連携に感謝している。また、九大病院をはじめとして福岡市民病院、福岡赤十字病院、浜の町病院、九州医療センター、リハビリでお世話になっている貝塚病院との連携にも感謝している。



《2021年度目標》

ビジョン『生存率が高く合併症の少ない透析治療』

戦略テーマ『安全で確実な透析技術』『安全な透析看護』

『コミュニケーションを重視した診療』

	戦略目標
顧客の視点	生命予後の改善
業務の視点	スタッフの安全性確保 スタッフの満足度向上 安全な機器管理 安全で確実な透析医療の提供
学習と成長の視点	質の高い透析の追求
財務の視点	患者数維持

		2018年度(H30年度)	2019年度(R1年度)	2020年度(R2年度)
スタッフ構成		1名	1名	1名
外来	患者数(人)	17,072	16,682	15,977
	診療単価(円)	29,510	29,701	29,406

..... 院長・健康管理センター長 原 直彦
副センター長 菅 理恵

【2020年度活動報告】

2020年度は、新型コロナウイルス感染症の影響で、運営が例年とまったく異なるものとなりました。

まず4月、5月は感染の第1波に襲われ、当時は対策の取りようもなく、健診業務をほぼ完全に停止せざるを得ない状況となりました。6月以降徐々に再開致しましたが、肺機能検査は年間を通して実施しないこととし、受診者数も6月が例年の1/3、7月、8月も1/2程度と大きく減少致しました。9月以降は、感染対策として、いわゆる“三密”を防ぐ意味から、検査開始時間を例年より早くしたり、午後からの健診枠を拡充するなどの分散受診をお願いしながら、企業健診を中心にかなり増加してまいりました。

その結果、一部の今年度の健診を中止された企業を除き、当初の予定の90%以上を終える事が出来ました。このコロナ禍の中で、日頃よりお世話になっております皆様の健康診断を、一人の感染者もなく終えることが出来たことに今はただ胸を撫で下ろすばかりです。

2021年度は、この経験を活かし、より安心、安全で良質な健診事業を、さらに迅速に提供させて頂けるよう努めてまいります。

最後になりますが、2020年3月末で、副センター長を務めて頂いていた奥村医師が退職され、今後は非常勤医として、週2日ご勤務頂くことになりました。代わって菅医師が副センター長に就任、さらに非常勤医として田中医師を迎え、顧問の稲永医師と新たな非常勤医体制で頑張っていきたいと思っております。

今後とも何卒よろしくお願い申し上げます。(文責 原)



原



菅

《2021年度目標》

ビジョン『受診者に満足していただける健診』

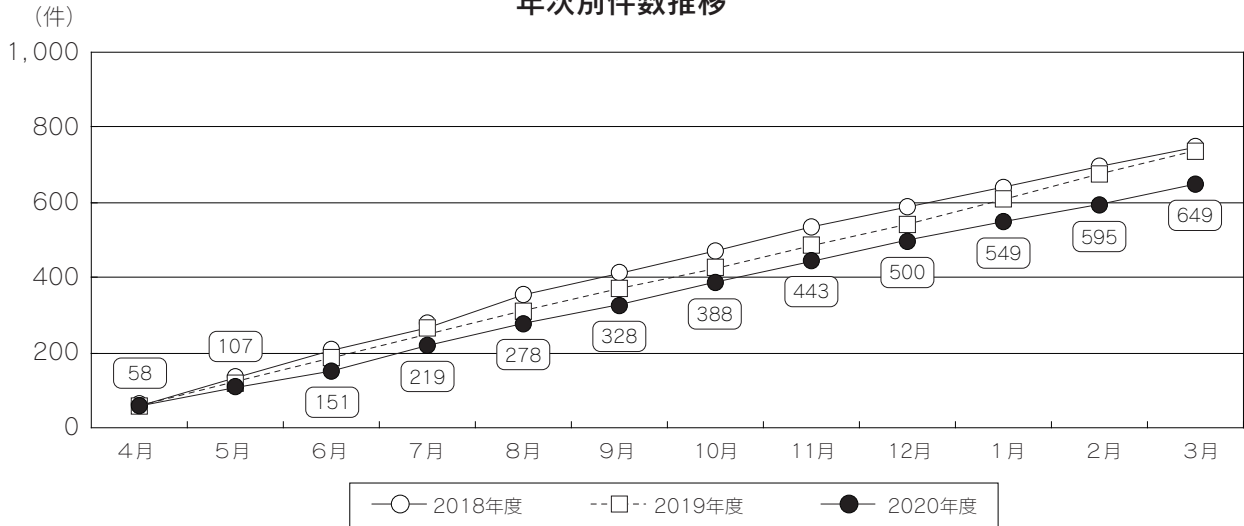
戦略テーマ『健診受診者の確保、良質な健診の提供、人材育成』

	戦 略 目 標
顧 客 の 視 点	受診者満足度の向上 信頼と安心の提供
業 務 の 視 点	業務の効率化、正確化 健診システムの充実
学習と成長の視点	人材育成 情報の収集、交換、共有
財 務 の 視 点	収入増

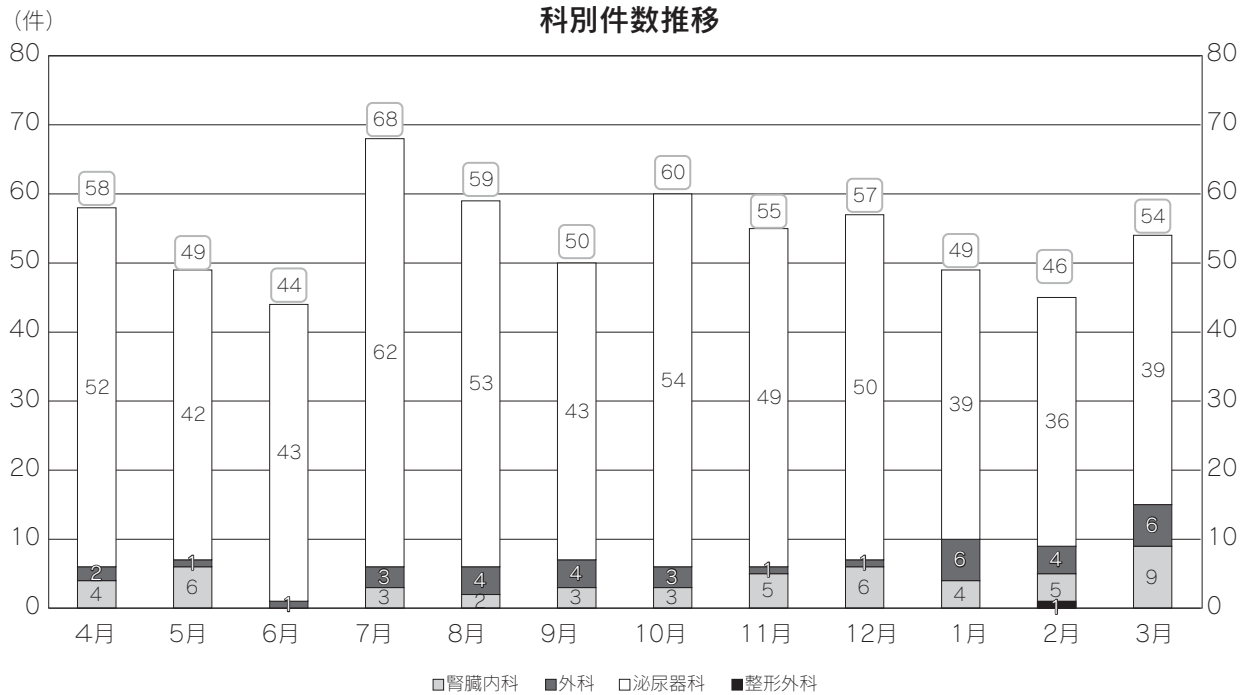
		2018年度(H30年度)	2019年度(R1年度)	2020年度(R2年度)
スタッフ構成		3名	3名	3名
入院ドック (1泊2日)	受診数(人)	79	85	70
	ドック単価(円)	100,654	95,311	89,632
外 来	受診数(人)	13,894	14,221	13,545
	診療単価(円)	22,110	22,254	22,419

..... 日帰り手術センター長 江口 徹

年次別件数推移



科別件数推移



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	*1月	*2月	*3月	合計
腎臓内科	4	6	0	3	2	3	3	5	6	4	5	9	50
外科	2	1	1	3	4	4	3	1	1	6	4	6	36
整形外科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1
泌尿器科	52	42	43	62	53	43	54	49	50	39	36	39	562
合計	58	49	44	68	59	50	60	55	57	49	46	54	649

※2021年1月より短期滞在手術基本料3に該当する手術で計上
(但し大腸ポリープ切除術は除外)

2. 看護部

看護部長 柳迫 昌美

《2020年度活動報告》

前年度より続く COVID-19 は、日本においても社会・経済そして、医療界において大きな影響を及ぼしました。

当院においても例外なく、2020年度は COVID-19 に始まり、COVID-19 に終わったという感じでした。

業務担当副部長主導の下、感染管理認定看護師2名をリーダーとして、一人は感染管理者として全体の調整、もう一人に COVID-19 受け入れ病棟の感染管理とスタッフ指導を依頼し、循環器病棟の一角をゾーニングし、4月25日から疑似症患者の対応を始めました。第3波による陽性患者の増加に対応すべく、陽性患者4名と疑似症患者4名を収容できる体制を整えました。しかし、第3波の拡大により、病床を4床から8床へ増やすことになり、それに伴い35床で運用していた病棟自体を COVID-19 対応病棟へと変更を余儀なくされました。その体制づくりに追われ、スタッフにとっても大きなストレスとなったことは否めません。(現在は、陽性者受け入れは18床へ増床)

COVID-19 対応病棟での勤務者に関しては、長期的に希望するスタッフは少数であったため、2週間、1ヶ月の短期間対応枠を設け、スタッフの希望を重視しつつ看護の提供体制を構築しました。

スタッフ育成に関して、以前より e-ラーニングシステムの導入を検討していましたが、COVID-19 の影響で集合研修が難しくなったこともあり、COVID-19 が追い風となり、2020年度に導入することができました。結果、集合研修の代用として e-ラーニングシステムの導入は、感染防止対策だけでなく、残業削減にもつながり、COVID-19 禍での数少ないプラスの副産物の一つとなりました。

患者支援システムに関して、退院支援の機能はありましたが、入院時支援がありませんでした。そこで、2020年10月から入退院支援センターを開設し、副センター長として看護部副部長を中心に活動し、入院時支援の構築を急務とし、入院前から退院後を見据えたシームレスな看護の提供が可能となりました。

また、念願の地域がん診療連携拠点病院を獲得することができ、緩和ケア担当の医師を中心に、がん性疼痛看護認定看護師、緩和ケア認定看護師、がん化学療法看護認定看護師、がん放射線療法看護認定看護師、がん専門相談員等で構成されたがんセンターが立ちあげられました。今後は、がん患者やそのご家族等に対して、全人的な質の高いがん医療の提供とその支援のために看護部として持ち得る専門知識を集結して取り組む所存です。



看護師の動き

	2018年度(H30年度)	2019年度(R1年度)	2020年度(R2年度)
看護部定数(名)	344	344	344
新入職員(名)	30	32	32
平均年齢(歳)	34	34	34
中途採用者数(名)	32	30	31
産休・育休者数(名)	33	31	35
育休明け復帰者数(名)	16	9	10
退職者数(名)	61	60	64

《2020 年度活動報告》

2020 年度は 4 つの目標を掲げて活動を行った。

- 1) eラーニングの導入 eラーニングを活用した教育システムの構築
- 2) ラダーレベル取得の推進
- 3) 日本看護協会ラダーと一致させたラダーの作成と運用準備
- 4) アンケートの効率化 グーグルアンケートを活用

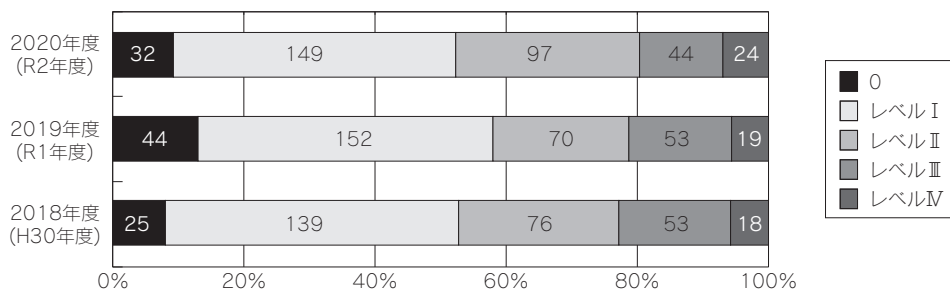
まず、この 4 項目について振り返る。eラーニングは 8 月に導入された、代替研修として eラーニングの聴講を選択することが可能になったが活用状況は低かった。しかし、2021 年度の研修計画には、eラーニングも取り入れた研修計画を立案している。ラダーレベル取得の推進は、対策として取得のネックとなっていたナラティブを「看護を語ろう」という形式で研修に盛り込んだ。結果としてレベル II 以上の取得は 1.7 倍増となった。日本看護協会ラダーと一致させたラダーは作成され、2021 年 4 月から改訂することは出来たが、周知に課題が残っている。アンケートはグーグルアンケートに変更した。集計、グラフ作成は自動化され、アンケート作業の効率化は図れた。



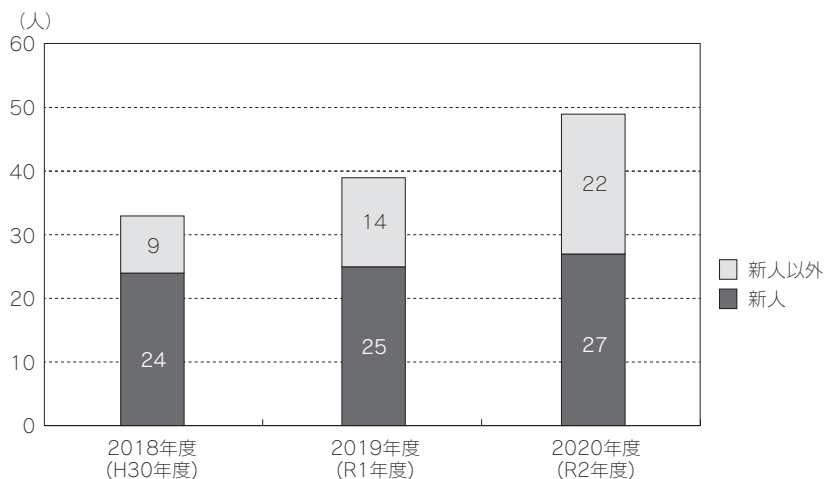
次に、研修計画の実施についてである。常に COVID-19 の感染状況を確認しながらの開催となった。いくつかの研修は、中止や延期の措置が必要となった。スタッフの体調確認や感染対策の徹底など、悩みながら研修を開催した 1 年であったが、どのような状況下でも教育の質を低下させないことの重要性を改めて感じた 1 年でもあった。

ZOOM によるオンライン研修の開催は、トラブルも多かったが、学びの機会を減らさないために、これからも必要と考える。

キャリア開発ラダー レベルの推移



新規ラダー取得の内訳



2020年度 キャリア開発ラダー研修

レベルⅠを取得するための研修

日 時	テ ー マ	成 果 目 標
4月8日	社会人として 原三信病院職員として	社会人・組織人として自覚を持ち責任を理解することができる
	看護部の教育方針と 看護体制 PNS について	キャリア開発ラダーを理解し、自己啓発の必要性を理解することができる
	看護倫理について	看護倫理について理解することができる
	ストレスと上手に付き合う方法Ⅰ	社会人としてストレスとの向き合い方を知る
	R2年度組、キックオフ！	新人時代の1年間を仲間と協力しながら乗り越えていく意識をもち、自分の役割を自覚できる
	研修のまとめ	研修で学んだことを振り返り、実践につなげる
4月9日	情報管理（個人情報を持ち出し・閲覧・診療録開示、職員の個人情報）	個人情報保護法を理解し、モラルを持って情報管理をする必要性を理解できる
	医療安全の基礎知識	医療安全の基礎知識を学び、起こしやすいエラーについて理解できる
	見た目も中身もピカイチさん 接遇力を高める第一歩	原三信病院で規程されている身だしなみを知り、社会人としての行動につなげる
	社会人基礎力について	社会人基礎力を伸ばすことの重要性を理解することができる
	研修のまとめ	研修で学んだことを振り返り、実践につなげる
4月10日	感染Ⅰ 標準予防策について	感染予防の基本を理解することができる
	感染Ⅱ 針刺し・血液体液暴露防止	針刺し、および血液体液暴露のリスクを理解することができる
	中材管理物品について	中材物品の適切な使用方法・管理方法を知ることができる
	清潔操作をマスターする	清潔・不潔を理解し、清潔操作をすることができる
	研修のまとめ	研修で学んだことを振り返り、実践につなげる
4月13日	電子カルテについて	電子カルテからの情報収集のコツを学び、記録基準を知ることができる
	研修のまとめ	研修で学んだことを振り返り、実践につなげる
4月14日	薬剤の基礎知識と医療安全	薬剤取り扱い時の危険性と法的規制を正しく知ることができる
	注射の達人への道 はじめの一歩 (筋肉注射・皮下注射・皮内注射)	筋肉・皮下・皮内注射の注意点を理解し、実施できる
	研修のまとめ	研修で学んだことを振り返り、実践につなげる
4月15日	注射の達人への道 はじめの一歩	採血、静脈注射の注意点を理解し、実施できる
	研修のまとめ	研修で学んだことを振り返り、実践につなげる
7月14日	重症度、医療・看護必要度	必要度と診療報酬の関係を理解し、正しく必要度をつけることができる
	ストレスと上手に付き合う方法Ⅱ	ストレスを溜め込まずに勤務を続ける方法を知ることができる
	みんなで語ろう	同期と語り合い、情報の共有・気分転換ができる 入社3ヶ月の振り返りと、次の目標に向けた意欲を持つことができる
	やさしい吸引の方法	口腔内・鼻腔内吸引、気管内吸引の正しい方法を知り、安全に実践できる
	研修のまとめ	研修で学んだことを振り返り、実践につなげる
7月31日	糖尿病の基礎知識と 血糖測定インスリンについて	糖尿病の基本知識を学び、正しい血糖測定とインスリン注射を理解する
	看護倫理Ⅱ	看護倫理を意識することができる
	感染Ⅲ 経路別予防策の実際	標準予防策に加え、接触・空気・飛まつでの感染経路を遮断するために必要な方法を理解できる
	褥瘡予防とスキンケアⅠ	褥瘡の基礎知識を学び、予防的な看護の実践につなげることができる。
研修のまとめ	研修で学んだことを振り返り、実践につなげる	
8月7日	みんなで語ろう	仲間意識を持ち、ストレス回避方法を考えることができる
	退院支援	退院支援が必要とされる背景と、当院における退院支援のプロセスについて理解することができる
	よく使う ME 機器の基礎知識	ME 機器の種類と正しい使用方法を理解する
	研修のまとめ	研修で学んだことを振り返り、実践につなげる
8月21日	リフレクション	看護実践場面を深く振り返る手法を学ぶことができる
	感染Ⅳ 医療廃棄物・カテーテル感染	感染性廃棄物とリネン類の取り扱い、環境対策の必要性を理解する カテーテル管理時の感染予防を理解できる これまでの感染の振り返りができる
	導尿の手技をマスターしよう	導尿・膀胱カテーテル留置の注意点を知り、正しく安全に実施することができる
	研修のまとめ	研修で学んだことを振り返り、実践につなげる
9月11日	多重課題	優先順位の考え方を理解し、行動につなげることができる
	急変に強いナースへの道 はじめの一歩 BLSⅠ	一次救命処置を学ぶことができる
	研修のまとめ	研修で学んだことを振り返り、実践につなげる
10月16日	みんなで語ろう	同期と語り合い、情報の共有・気分転換ができる 入社6ヶ月の振り返りと、次の目標に向け前向きになることができる
	メンバーシップ	メンバーシップについて学び、自分の果たすべきメンバーシップを意識できる
	褥瘡予防とスキンケアⅡ	褥瘡予防の基礎をもとに、適したスキンケアを理解できる

日 時	テ ー マ	成 果 目 標
10月16日	認知症看護の基礎知識	認知症の理解をし、適切な関わりを知る
	研修のまとめ	研修で学んだことを振り返り、実践につなげる
11月26日	ストレスと上手に付き合う方法Ⅲ	今自分が抱えているストレスを自覚し、ストレス対処行動をとることができる
	みんなで語ろう	ストレス回避に向け、互いにアドバイスすることができる
	フィジカルアセスメント	身体のアセスメントをするために必要な基礎的観察の知識と技術を学ぶ
	研修のまとめ	研修で学んだことを振り返り、実践につなげる
1月22日	みんなで語ろう	ストレスを乗り越え1年間の目標達成にむけ意欲を持つことができる
	ナラティブ	ナラティブレポートを書く準備ができる
	看護過程を再確認	看護過程の振り返りを行い、理解を深めることができる
	研修のまとめ	研修で学んだことを振り返り、実践につなげる
3月25日	1年間の振り返りと看護観	1年間のチーム活動を振り返り、活動の成果を確認できる 看護観を深めることができる

e-ラーニング学習

検体のトリセツ 正しい検査が行なわれるために	検査によって違う採取時の注意点や保管方法を理解できる
酸素のトリセツ 酸素って？	酸素の取り扱い時の注意を理解することができる
酸素のトリセツ 酸素療法もいろいろ編	酸素療法について理解し、投与方法による違いと注意点、物品の取り扱いについて理解できる
輸血	輸血の基礎知識を理解し、安全に実施することができる
がん化学療法の基礎知識	化学療法の基礎知識を理解し、安全な実施につなげる
がん性疼痛の基礎知識	がん性疼痛の特徴を理解し、正しい麻薬の管理につなげることができる
経管栄養と胃瘻 基礎知識と管理	経管栄養と胃瘻の基礎知識、管理法を学び、正しく安全な実施につなげる
心電図恐怖症にならないための心電図入門	心電図の基本を学ぶことができる。代表的な危険な不整脈を理解できる

レベルⅡを取得するための研修

日 時	テ ー マ	目 的
3月	ケースレポートへの取り組み方	ケースレポートの目的がわかり、自主的に取り組むことができる
8月	1G ケース支援	個別指導を受け、ケースレポートの方向性を決定できる
	2G ケース支援	個別指導を受け、ケースレポートの方向性を決定できる
10月	1G ケース支援	個別指導を受け、ケースレポートの取り組みをすすめることができる
	2G ケース支援	個別指導を受け、ケースレポートの取り組みをすすめることができる
12月	1G ケース支援	個別指導を受け、レポートを完成させることができる
	2G ケース支援	個別指導を受け、レポートを完成させることができる
2月	ケースレポート発表	ケースレポートにより自己の看護の見直し、評価をすることができる
6月	看護部長からのメッセージ	やる気をもって仕事に取り組む気持ちを持てる
	看護倫理	看護倫理の場面が想定し、倫理観をもち業務に取り組むことができる
	接遇について	接遇の必要性を意識し、自覚をもち行動できる
	医療安全 KYT	危機を察知できる能力を養う
7月	看護を語ろう	看護実践での感じたことを通じて、自身の看護観を認識することができる
	周手術期看護	周手術期の看護を学び、患者が安全に手術室へ向かうための看護に活かせる
	褥瘡・創傷管理・スキンケア2	創傷ケア・スキンケアの基礎知識を知り、看護に活かす事ができる
	「洗浄・消毒・滅菌」 「感染経路別予防策のためのリスクアセスメント」GW	・医療器材やケア用品の適切な処理方法を理解し実践できる ・感染経路別予防策を実施するために、自部署に合わせた患者配置と対策が実践できる
8月	*フィジカルアセスメント	フィジカルアセスメントの実施により、患者の状態を的確に把握することができる
10月	*はじめての看護研究	看護研究の必要性を理解できる
	呼吸ケア	人工呼吸器装着中に必要な看護を学び実践に活かすことができる
11月	コーチング基礎編	コーチングを学び良好な人間関係を構築するスキルを習得する
2月	アサーショントレーニングⅠ	日頃の自己表現の傾向や対人関係のあり方を振り返り、効果的なアサーションを学ぶ
	メンバーシップ・リーダーシップについて	メンバーシップ・リーダーシップについて理解し、自分の立場がわかり役割を果たすことができる
	医療経済と診療情報	DPCの仕組みを知り、経済的管理を意識することができる

レベルⅢを取得するための研修

日 時	テ ー マ	目 的
9月	看護を語ろう	看護実践で感じたことを通じて、看護観の変化や自身の成長に触れることができる
	リーダーの役割・リーダーシップ	自分の行動の振り返りをし、部署のリーダーとして果たす役割とマインドについて学び、意欲を持つことができる
	ストレスマネジメント	メンタルケア能力とコミュニケーション能力の向上を図る 自分自身のメンタルケアができ、他者の変化に気を配ることができる
	感染管理のリーダーを目指す	自部署の感染防止対策の現状を参加者全員で共有し、リーダーとして取り組むべき課題を具体化できる
12月	記録に活かすリスクマネジメント	医療事故発生時のカルテの記録法について学ぶ
	アサーショントレーニング	自己理解を深め、自分の行動・表現パターンを改善・向上することができる
	認知症看護Ⅱ	認知症患者への適切な看護を学び、臨床に活かすことができる

レベルⅣを取得するための研修

日 時	テ ー マ	目 的
2月	リーダーのためのマネジメント (外部研修)	看護管理の基礎知識を学ぶとともに看護管理をする上で抱えている課題を整理し解決の糸口を見出すことができる
8月	看護実践に活かすリスクマネジメント (外部研修)	医療事故と安全対策の動向と課題、リスクマネジメントの基本、リスク分析、KYT（危険予知トレーニング）を習得し、リーダーとしての医療安全意識を向上させる
8月	看護を語ろう 問題解決技法を学ぶ	自分の看護観を再認識し、問題解決手法を学び、部署の改善活動ができる
3月	問題解決 取り組み報告会	部署での活動内容・成果の最終報告ができる

レベルⅣ取得者用研修

日 時	テ ー マ	目 的
10月～11月	訪問看護同行研修	在宅医療・看護の実態を知り、退院・在宅支援を推進、または自部署での看護の質の向上に繋げることができる
	病棟看護研修(おおはま用)	病棟看護の実態を知り、自部署の看護の質向上、業務改善につなげる

3. 診療技術部

..... 診療技術部長 中小川 隆

《2020年度活動報告》

まず人事の面で、8名の新人とパート（産休期間対応パート含む）が2名入社し、男性45人、女性71人、総数116人となりました。昇格者として、リハビリテーション科で石橋科長と齋藤主任、放射線科で江島主任がそれぞれ就任しました。



2020年度は、昨年度末より流行したCOVID-19の影響を受け、毎年行っている技術部の研修会やレクレーションにおいて、全く開催できなかった1年でした。

そんな中でも、技術部連絡会は参加人数を制限するなどして、毎月1回開催しました。

技術部研修会については、スタッフを集めての研修会が行えなかったため、依頼していた講師の承諾を得て、診療技術部だよりにて内容を掲載しました。

技術部総会については、今年の会計報告や今年度の予算案及び各委員会の新メンバーの承認なども回覧方式で署名を頂くかたちで行いました。

病院の新型コロナウイルス感染防止対策の一環として、病院の入り口に設置された、検温コーナーに毎日、技術部からもスタッフを派遣しました。（月～金 9:00～14:00）

薬剤科では、支援物資として頂いたアルコール液を既定の濃度に調整し、さらに手指の皮膚炎を抑えるためにグリセリンを混ぜるなどして、病院全体に手指用消毒液を提供しました。3月には、福岡県からの新型コロナワクチン受け入れ業務など携わりました。

年度末には、福岡県からの新型コロナ関連補助金で、検査科にPCR検査装置、放射線科にポータブル装置、超音波検査科に超音波検査装置を購入して頂きました。

このように、今までにない大変な年でしたが、Web講習やリモート会議等の新しいツールを得ることができた1年でもありました。

《2020年度技術部の主な研修》

技術部総会 : 回覧形式で承認の署名を頂いた。

健診業務の紹介 : 診療技術部だよりで掲載

《診療技術部だよりの発行》

6月発行 : 新人紹介

3月発行 : 健診業務の紹介

《主な行事》

技術部連絡会 : 毎月第3水曜日 12回開催

《2021年度診療技術部の目標》

- 1) 精度の高い安全な医療技術の提供
- 2) 人材育成と垣根を超えた体制づくり（部門間交流）
- 3) 組織内外のコミュニケーションの充実

4. 事務部

事務部長 弥永 伸治

《2020年度活動報告》

今年度、安倍総理大臣は、2020年3月13日に成立した新型コロナウイルス対策の特別措置法に基づく措置で、4月7日に東京、神奈川、埼玉、千葉、大阪、兵庫、福岡の7都府県に緊急事態宣言を行い、4月16日にその対象を全国に拡大しました。対象地域の都道府県知事は、住民に対し生活の維持に必要な場合を除いて、外出の自粛をはじめ、感染の防止に必要な協力を要請した為、我々国民の日常の景色は一変してしまいました。



医療界においてもその影響は非常に大きく、弊院においては、この新型コロナウイルス感染拡大により、今年度、外来患者や緊急性のない手術の予定入院は減少し、健康診断について、年度初めは大きく減少した年となりました。

そのような中、事務部において、総務課、経理課では、医師の役職定年・再雇用整備の厳格化を実施し、翌年度からスタートする準備ができた。施設課では、病院設備の充実において、老朽化設備への対応で本館の外壁タイル調査を実施、節水装置を装着した節水対策も2020年10月より開始した。企画情報室では、病院を運営する根幹である電子カルテシステムの更新業務の実施、国指定の地域がん診療連携拠点病院の取得を実現している。臨床研究事務局では、研究利益相反委員会の整備及び実施を行った。又、事務部内に課長及び主任によるプロジェクトを発足し、新型コロナウイルスに関する様々な補助金の検討及び請求業務の実施、医師事務作業補助体制の構築及び業務拡大、更に12月に医師事務作業補助体制加算の類上げを実施した。そして、医療費等の未収金の回収業務についてのシステムの構築、施設基準と算定率向上の検討、費用削減では、蛍光灯のLED化によるコスト削減を2021年1月より実施した。又、倉庫に預けているカルテ等の保管料についても、業者変更に伴い検討を開始した。電子カルテシステムの更新に伴い、外来受付業務の一本化も検討した。新型コロナウイルス感染拡大で一年中厳しい状況が続く中、年度末には医療従事者のワクチン接種がスタートした年になった。

事務部としては、今後も『患者さんや職員に信頼される事務部』を理念とし専門知識（技術）の質の向上、バランス（経営）感覚を持った業務への取り組み、組織のコーディネーターとして努力し、これからも患者さんに選ばれる病院になる為に、医療従事者としての誇りを持ち、事務部全体で協力し職務に当たっていかねばならない。

《2020年度 事務部研修会活動計画と実施報告》

事務部研修会

開催日	内容	講師
4月15日	平理事長講和 → 5月へ変更	平理事長
5月20日	平理事長講話→中止 TQM報告会(企画課・総務課・医療連携室) → 各自資料閲覧実施	—
6月17日	令和2年度事務部業務計画説明会→ 各自資料閲覧実施	17時30分～19時
7月15日	労働安全研修 → 中止	労働安全衛生委員会
8月予定	事務部暑気払い →中止	—
9月16日	I C T研修 →中止	看護部 八波さん
10月21日	医療安全研修「医療安全について」 →中止	看護部 大野科長
11月25日	防犯教室 →中止	博多警察署防犯課
12月17日	事務部忘年会 →中止	—
1月20日	接遇研修 →中止	NCBリサーチ&コンサルティング
2月17日	接遇研修 →中止	NCBリサーチ&コンサルティング
3月17日	施設について →中止	アサヒファシリティズ

* TQM 活動報告

- ・研究の終了および継続申請の適切な報告に向けた臨床研究事務局の取り組み
- ・未収金対策について
- ・NCD Helper を導入して見て
- ・随時尿から早朝尿への変更による 尿蛋白陽性率の減少および業務改善の報告

臨床研究事務局
医事課外来
総務課
健康管理センター

医療連携課 医療連携課課長 加藤 宗一郎

2021年4～6月は、新型コロナウイルス感染症拡大により、地域の先生方からの発熱患者の紹介を受入れる事ができないケースが相次ぎ、多大なるご迷惑をおかけしたが、当院においても、発熱外来開始に加え、福岡市医師会のドライブスルー方式によるPCR検査等を活用し、徐々に、感染対策を講じながら院内環境とPCR検査体制を整え、発熱等の紹介患者の診療も可能となった。

一方で、新型コロナウイルス感染症拡大に伴う過度な受診控えにより、診療所・病院経営に大きな影響を及ぼした。

10月1日に、開設した入退院支援センターは、転院調整に加え、切れ目のない在宅医療・福祉サービス提供が目的のひとつであり、更なる後方連携の充実に繋がるよう期待したい。

当院は、2021年3月29日に田村憲久厚生労働大臣より「地域がん診療連携拠点病院（2021年4月1日付）」の指定を受けた。当課としては、「がん地域連携パスの運用」「がん相談支援センターの充実」「コロナ禍におけるがんセミナー開催」など、多くの役割を果たして行く必要がある。

この一年間、博多区医師会主催の研修会中止や、当院主催で、医療従事者の方々を対象とした「がんセミナー」、顔の見える連携を目的とした「地域医療連携情報交換会」も開催することができず、新型コロナウイルスを念頭にきめ細やかな連携が求められる等、様々な対応が必要であった。

医療従事者からスタートしたワクチン接種により、新型コロナウイルス感染収束に向けた、小さな光が差してきた。このパンデミックを乗り越えるには、地域の医療従事者の方とのより一層の連携が不可欠である。



企画情報室室長 藤原 勝

《2020年度活動報告》

2020年度は新型コロナウイルス感染症拡大により病院活動には様々な障害が生じた。外来患者受け入れに伴う発熱外来の設置、コロナ患者受け入れに伴う専用病床の開設、PCR検査の実施など、限られたスペースを有効に使い、コロナ対策が講じられた。病院の事業計画としては、10月に『入退院支援センター』が開設され、入退院される患者さんへのサポート体制により、外来・病棟看護師の業務効率化が図れるようになった。また、長年使用した電子カルテの更新（Newtons2）を大過なく完了することができた。土曜診療の改善や一部の部署での2交代制勤務の導入など、働き方改革に向けた取り組みにも、企画情報室として一翼を担えたことは大きな励みとなった一年だった。



2021年度は、2020年度に生じた大きな経済的損失を挽回するための取り組みに注力したい。未だに収束の見えない新型コロナウイルス感染症対策の継続も、2021年度の課題としたいと同時に、アフターコロナに向けた取り組みを患者さんや他の医療機関の視点で活動が行えるよう準備を始める。

《2020年度活動報告》病院としての事業計画

2020年度ビジョン 『安定した急性期医療の実践』

I. 病院機能体制

- 1. 患者サポートの充実 : ①患者サポートの向上（入退院支援センターの開設）
- 2. 強い診療体制 : ①「がん」 地域がん診療連携拠点病院の取得
: ②「がん」 原三信病院『がんセンター』の設置
: ③「感染症」 新型コロナウイルス感染
: ④「外国人」 外国人の患者受け入れ
- 3. 診療の効率化 : ①土曜外来診療体制の改善
: ②画像診断機器の活用
: ③オペラマスターの活用
- 4. 診療連携の強化 : ①機能分担と診療連携（地域包括ケア病棟の活用）
- 5. 情報配信 : ①ホームページ等の強化

II. 教育・人財

- 1. 人材確保・要員配置の見直し
: ①医師の働き方改革と負担軽減
: ②医師事務補助体制の強化
: ③看護師負担軽減

III. 病院設備・建築

- 1. 事業継続の確立 : ①災害や感染時診療継続計画
- 2. 病院設備の更新 : ①建築・ライフラインの保全
: ②電子カルテの更新
- 3. 職員サポートの充実 : ①ICT活用と業務軽減へ
A I 問診 / WE B 会議研修 / オンライン診療 / 書式の I T 化

IV. 収入・財務

- 1. 費用削減 : ①医療の適正化と効率性
: ②原価管理とコスト意識改革
- 2. 収入確保 : ①新入院患者の確保
: ②D P C 係数（機能係数II）の付加
: ③医学管理加算の取得
- 3. 患者の確保 : ①質の高い医療の追求
: ②心のこもったサービスの実践
: ③居心地の良い環境の提供

(2020年4月1日～2021年3月31日)

	委員会名	委員長名	委員数	開催頻度	活動内容
倫理管理	医療倫理委員会	原 直彦 (院長)	9	必要時	・医療行為を実施するにあたり、医の倫理ヘルシキ宣言の趣旨に沿った倫理的な医療を図る。個人情報保護法に施行に対する患者及び職員の情報管理
	治験審査委員会	林 真 (副院長)	13	1回/月	・薬機法、GCP省令等関係法規に準じた治験の実施および治験の継続に関する審議を行う
	臨床研究倫理審査委員会	林 真 (副院長)	13	1回/月	・臨床研究法、人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針等に準じた臨床研究の実施および継続に関する審議を行う
安全管理	労働安全衛生委員会	林 真 (副院長)	9	1回/月	・職員の労働災害などの防止並びに労働衛生の向上に関する事項を審議決定 ・医療ガスの安全管理、知識の普及及び啓発
	医療安全管理対策委員会 院内感染防止対策委員会	原 直彦 (院長)	11	1回/月	・医療の方向性や医療レベルを維持・管理するため、医療事故を防止するための対策検討 ・病院内感染の予防と対策
教育管理	教育研修委員会	林 真 (副院長)	16	1回/月	・病院職員教育研修に関する検討と実施 ・海外/国内研修などに関する検討と実施 ・病院図書及管理及び図書室の円滑な運営に関する検討 ・医学総会開催準備
品質管理	保険診療記録委員会	林 真 (副院長)	22	1回/月	・保険診療に関する事項の検討 ・診療録記載、退院要約、各種文書に関する事項の検討 ・過誤、査定対策 ・院内がん登録報告 ・電子カルテ/オーダーリングシステム/画像システムの運用改善及び機能の検討 ・サーバーシステムの管理 ・クリニカルパス検討会の定期開催、クリニカルパスの推進
業務管理	病院管理委員会	江口 徹 (副院長)	46	1回/月	・患者さんの満足と安心の向上を図ることを目的とした活動 ・外来運営に関わる検討(外来支援システム、新患予約、救急外来) ・病棟運営に関わる検討(効率的なベッドコントロール、医療連携の充実、在院日数短縮など円滑な病床運営を目的とする) ・病院機能評価受審・取得にむけた検討
広報・連携	広報・連携委員会	武井 実根雄 (泌尿器科部長)	15	1回/月	・院外広報誌・年報・各パンフレットの編集・発行、ホームページ作成など、病院広報に関する全般 ・地域医療機関、地域住民への貢献についての検討
専門部門	NST委員会	藤木 富士夫 (脳神経内科部長)	35	1回/月	・栄養管理の実践と指導・教育や新しい知識・技術の習得 ・食事計画、調査、改善等食事に関する必要な事項を検討し、患者に対して適切な食事を提供する
	WOC委員会	武井 実根雄 (泌尿器科部長)	24	1回/月	・委員会内での専門分野における勉強会を開催 ・褥瘡発生表を元に先月新たに発生した患者の報告、発生率、保有率、褥瘡ハイリスク患者加算の統計発表 ・褥瘡対策の研修会の開催(1回/年) ・症例報告・新規情報の提供・褥瘡予防に必要な物品の管理
	手術室運営委員会	渡邊 隆郁 (手術部部長)	22	1回/2ヶ月	・手術室の運営についての検討 ・手術室 RIA 検討 ・各科手術症例数報告 ・手術室稼働報告 ・全身麻酔実績報告
	検査運営委員会	市来 俊弘 (循環器科主任部長)	16	1回/月	・検査運営の効率化の検討 ・画像の適用運用を検討し、業務改善につながる問題点などを収集及び分析する
	放射線障害予防委員会	寺嶋 廣美 (放射線科顧問)	11	2回/年	・放射性同位元素、放射線発生装置及びエックス線装置の使用並びに管理に関する事項への取り組み
	薬事運営委員会	高木 陽一 (呼吸器科部長)	18	1回/月	・ジェネリック医薬品採否の検討 ・医薬品適正使用、医薬品情報提供について(副作用報告収集を含む) ・医薬品採否の検討 ・癌化学療法に関する検討
	輸血療法委員会	上村 智彦 (血液内科主任部長)	13	1回/2ヶ月	・輸血製剤の適正使用の推進、管理体制の構築と見直し、文書関連の再編等を具体的に検討する
	リハビリテーション委員会	庄野 禎久 (脳神経外科部長)	13	3回/年	・リハビリテーション科実績報告 ・リハビリテーション科合同運営進捗状況報告 ・新規リハビリテーション業務の立ち上げ ・診療報酬改定に伴うシステムの変更
	ME機器・医材管理委員会	廣田 伊千夫 (胸部外科部長)	11	1回/月	・ME 機器・医材に関して新商品紹介・サンプリング・評価・採否の決定 ・ME 機器修理報告 ・ME 機器・医材管理委員会での決定事項の報告
	DPC委員会	江口 徹 (副院長)	9	1回/月	・適切かつ効率的な DPC コーディングの検討 ・診断及び治療方針の適正化、標準化の検討および院内周知 ・DPC コーディングカンファレンスの開催および報告 ・DPC 関連調査に係る各様式・ファイルの検討 ・その他、DPC 業務に係る課題に関すること
	緩和ケア委員会	野口 賢一 (肝胆腫内科部長)	19	1回/月	・入院：緩和ケアチームとしての実践(診療加算算定) ・外来：緩和ケア外来の運営 ・症例検討 ・緩和ケア研修会運営
	原三信病院がんセンター	江口 徹 (副院長)	11	必要時	・がん手術件数について ・がん手術件数について ・薬物療法について ・放射線治療について ・地域がん診療連携拠点病院について

● 医療倫理委員会

- 開催頻度 必要時

- 構成メンバー

委員長	原 直彦 (院長)
委員	江口 徹 (診)、林 真 (診)、河野 真司 (診)、柳迫 昌美 (看)、弥永 伸治 (事) 光安 正哉 (佐藤・林法律事務所)、オブザーバー 平 祐二 (診)
事務局	西 弘樹 (事)
書記	西 弘樹 (事)

- 主な議題

- ・原三信病院における臓器提供の実施及びマニュアル作成について (脳神経外科)
- ・レセプト及びDPCデータを用いた循環器疾患における医療の質向上に資する研究 (循環器科)
- ・倫理研修会：2020年12月1日～2021年1月31日 (eラーニング) 「病院で働く職員に向けた臨床倫理」

● 治験審査委員会

- 開催頻度 1回/月

- 構成メンバー

委員長	林 真 (副院長)
委員	高木 陽一 (診)、当間 宏樹 (診)、野口 賢一 (診)、宮崎さとみ (看)、藤 美佐代 (看)、栗崎 順子 (技) 山田 一博 (技)、西 弘樹 (事)、宮本 亮 (事)、武井 信介 (福岡市医師会)、 光安 正哉 (佐藤・林法律事務所)
事務局	柴田 房美 (事)
書記	柴田 房美 (事)

- 主な議題

- ・新規依頼治験審議 (2020年度)
 - ・泌尿器科：2件
 - ・循環器科：1件
- ・治験、製造販売後臨床試験の審議内容
 - ・新規治験の実施の可否の審議
 - ・安全性情報の報告および治験継続の審議
 - ・治験実施計画書等の変更の報告および治験継続の審議
 - ・治験実施状況の報告および治験継続の審議
 - ・治験終了・中止の報告

● 臨床研究倫理審査委員会

●開催頻度 1回/月

●構成メンバー

委員長	林 真(副院長)
委員	高木 陽一(診)、当間 宏樹(診)、野口 賢一(診)、宮崎さとみ(看)、藤 美佐代(看)、栗崎 順子(技) 山田 一博(技)、西 弘樹(事)、宮本 亮(事)、武井 信介(福岡市医師会)、 光安 正哉(佐藤・林法律事務所)
事務局	柴田 房美(事)
書記	柴田 房美(事)

●主な議題

- ・臨床研究を実施・継続することの倫理的、科学的見地からの妥当性に関する審議
 - ・新規審議案件 [2020年度]
 - ・呼吸器科：7件 ・泌尿器科：6件 ・血液内科：4件 ・消化管内科：4件
 - ・看護部：4件 ・循環器科：2件 ・脳神経外科：1件 ・放射線科：1件
 - ・リハビリテーション科：1件
 - ・研究実施中案件の変更等に関する審議
 - ・泌尿器科：27件 ・腎臓内科：3件 ・循環器科：1件 ・消化管内科：7件
 - ・看護部：2件

● 労働安全衛生委員会

●開催頻度 1回/月

●構成メンバー

委員長	原 直彦(院長)
委員	下澤 浩基(診)、谷村 明美(看)、大野 聡子(看)、永松 幸(看)、久保田景子(技)、高尾 秀明(技) 橋本 俊介(事)
事務局	西 弘樹(事)
書記	—
下部組織	医療ガス安全管理/院内禁煙推進委員会

●主な議題

- ・時間外労働について
- ・年次有給休暇の確実な取得
- ・長時間労働における労働者の健康障害の防止について
- ・病气療養者への対応について
- ・心の健康問題により休業した労働者の復帰支援について
- ・2020年職員健康診断について
- ・労災発生状況について
- ・ハラスメントについて

医療安全管理対策・院内感染防止対策委員会

●開催頻度 1回/月

●構成メンバー

委員長	原 直彦(院長)
委員	平 祐二(診)、内藤 誠二(診)、江口 徹(診)、林 真(診)、武井実根雄(診)、当間 宏樹(診) 谷合 啓明(診)、柳迫 昌美(看)、田原 恒(安)、中小川 隆(技)、河野 祐子(技)、嶽本 洋(技) 弥永 伸治(事)、泉 敏郎(事)、矢野 浩一(香)
事務局	藤原 勝(企)
書記	田代 信司(企)、平原 俊吾(企)
下部組織	リスクマネジメントチーム(RMT)
委員長	当間 宏樹(消化器外科部長)
委員	原 直彦(診)、山本 光孝(診)、田竈 祥子(診)、田原 恒(安)、藤川 暢子(看)、金子 浩子(看) 永井 智子(看)、八波 隼(感)、和佐野智美(技)、河野 裕子(技)、嶽本 洋(技)、石崎 律子(技) 石橋 誠史(技)、高尾 秀明(技)、廣門 将一(技)、泉 敏郎(事)、秦 里美(事)、加藤宗一郎(事) 平原 俊吾(企)、白石 義則(事)、今泉 愛(事)
書記	飯盛 修一(事)
下部組織	感染制御チーム(ICT)
委員長	谷合 啓明(総合診療科部長)
委員	藤井 圭(診)、浦 和也(診)、八波 隼(感)、村岡 弘恵(看)、藤川 暢子(看)、井上 麻紀(看) 久保田景子(技)、郷原 由紀(技)、山田 一博(技)、長野 文子(技)、永島 浩(技)、宇野 尚和(事)
書記	神崎 達也(事)

●主な議題

医療安全管理対策委員会 (RMT)

- ・インシデント/アクシデント報告件数 (RIA 件数報告)
- ・2020年度年間報告
- ・医療事故発生報告 (事例報告)
- ・転倒転落について
- ・食事オーダーについて
- ・医療安全ラウンド報告
- ・ハリーコール訓練報告
- ・医療安全対策地域連携加算Ⅰ (相互評価について)
- ・医療安全ラウンド (相互チェック) 報告
- ・COVID-19ハリーコール マニュアルの見直しについて
- ・2020年度第1回全職員対象医療安全研修について
テーマ:「医療事故防止対策としての“5S”の取り組み」
- ・2020年度第2回全職員対象医療安全研修について
テーマ:「安全文化を醸成するためのコミュニケーション」
- ・医療安全主催研修会報告

・事例報告

- ①MR I 検査直前の患者急変時の対応の事例
- ②全粥食事形態患者へ間違った固形形態配膳の事例
- ③搬送車ストレッチャーより転落の事例
- ④Cobey (後足部撮影) 法撮影中に転倒の事例
- ⑤手術使用のガーゼ一部が切れ腹腔内残存の事例
- ⑥レンドルミン紛失の事例
- ⑦ドライヤー使用時ショートし火花発生の事例
- ⑧心電図電極による皮膚トラブルの事例
- ⑨シャワー後バスキャス抜去の事例
- ⑩C Vルート抜けかけ発見の事例
- ⑪持参薬の内服薬紛失の事例

院内感染防止対策委員会 (ICT)

- ・感染関連状況報告
- ・長期使用患者報告
- ・抗菌剤使用状況報告
- ・新型コロナウイルス感染症関連報告
- ・合同カンファレンスについて
- ・2020年度第1回全職員対象院内研修について
テーマ「標準予防策」
- ・2020年度第2回全職員対象院内研修について
テーマ「標準予防策 (身体的距離の確保、マスクの着用、手洗い)」
- ・新型コロナウイルス感染症 PCR 検査説明書・同意書案について
- ・東5階病棟疑似症例患者数推移について
- ・外来診療 (発熱患者) フローチャート報告
- ・インフルエンザ・新型コロナ検査基準について

● 教育研修委員会

● 開催頻度 1回/月

● 構成メンバー

委員長	林 真(総合診療科主任部長)
委員	平 祐二(診)、上村 智彦(診)、大野 聡子(看)、山田恵理子(看)、中小川 隆(技)、和佐野智美(技) 廣門 将一(技)、弥永 伸治(事)、秦 里美(事)、田代 信司(企)、宮本 亮(事)、大久保加奈子(事) 小柳侑里加(事)
事務局	宮崎さとみ(看)
書記	渡邊真理子(事)
下部組織	医学総会準備委員会
委員長	横溝 晃(泌尿器科)
委員	四枝 英樹(診)、永井 智子(看)、山田恵利子(看)、久保田景子(技)、松島 毅(技)、原 成孝(事) 宮本 亮(事)、津留 史絵(香椎)、福吉 祥(香椎)
事務局	藤原 勝(企)、田代 信司(企)、齋藤 栄介(企)、上野 綾華(企)

● 主な議題

- ・ 全体研修(倫理・安全・感染・接遇・褥創)に関すること
- ・ 接遇に関すること(e-ラーニングについて)
- ・ 昇格者研修に関すること
- ・ 新人研修に関すること
- ・ 中途採用者研修に関すること
- ・ ACLS・ICLS 研修会に関すること
- ・ 国内研修に関すること
- ・ 海外研修に関すること
- ・ 第26回医学総会に関すること
- ・ 図書に関すること

● 2020年度 主な研修実績

昇格者研修	2020.7.10 7名
新人研修	2020.4
中途者研修	2020.5(第1回)、2020.8(第2回)、2020.12(第3回)
接遇研修	2020.10 「医療従事者のための接遇マナー」動画講義(e-ラーニング)
医学総会	2020.10.29～10.31 第26回 原三信病院 医学総会

● 保険診療録管理委員会

●開催頻度 1回/月

●構成メンバー

委員長	林 真 (副院長・内科主任部長)
委員	藤本富士夫 (診)、武井実根雄 (診)、当間 宏樹 (診)、高崎 実 (診)、上徳 豊和 (診)、下釜 里美 (看)、山田恵理子 (看)、田原 恒 (看)、石崎 律子 (技)、廣門 将一 (技)、石橋 誠史 (技)、岩本 博義 (技)、河北 俊和 (技)、北御門智之 (事)、隅田 幸恵 (事)、齋藤 栄介 (企)、長峰麻衣子 (企)、神崎 達也 (事)
事務局	平原 俊吾 (企)
書記	溝部 かな (企)

●主な議題

- ・新版カルテ導入準備
- ・医師カルテ質の監査報告
- ・クリニカルパス検討会準備
- ・定例報告 (査定、退院サマリー、入院診療計画書、カルテ記載)
- ・メンテナンス、障害報告

● 病院管理委員会

●開催頻度 1回/月

●構成メンバー

委員長	江口 徹 (副院長)
委員	林 真 (診)、武井実根雄 (診)、庄野 禎久 (診)、真崎 拓朗 (診)、宮崎 薫 (診)、高崎 実 (診)、野口 賢一 (診)、柳迫 昌美 (看)、村岡 弘恵 (看)、宮崎さとみ (看)、谷村 明美 (看)、金子 浩子 (看)、下釜 里美 (看)、野田佳代子 (看)、川崎美智子 (看)、寺脇 深香 (看)、山田恵理子 (看)、永井 智子 (看)、松本真知子 (看)、松永 享子 (看)、大無田一平 (看)、大田 敏枝 (看)、矢羽田こずえ (看)、矢嶋 光江 (看)、宮田 美紀 (看)、中小川 隆 (技)、和佐野智美 (技)、廣門 将一 (技)、石橋 誠史 (技)、高尾 秀明 (技)、石崎 律子 (技)、河野 祐子 (技)、久保田景子 (技)、弥永 伸治 (事)、泉 敏郎 (事)、藤原 勝 (企)、田代 信司 (企)、加藤宗一郎 (事)、西 弘樹 (事)、北御門智之 (事)、宮本 亮 (事)、音嶋 智子 (事)、飯盛 修一 (事)、小野 敬太 (事)
事務局	平山 憲史 (事)
書記	原 成孝 (事)
下部組織	病床運営委員会
委員長	柳迫 昌美 (看護部部长)
委員	村岡 弘恵 (看)、谷村 明美 (看)、金子 浩子 (看)、下釜 里美 (看)、村上 あい (事)
下部組織	病院機能評価委員会
委員長	当間 宏樹 (消化器外科部長)
委員	平 祐二 (診)、江口 徹 (診)、林 真 (診)、原口 和大 (診) 看護部 (科長以上全員)、技術部 (科長以上全員)、事務部 (主任以上全員)、企画情報室 (主任以上)
書記	小野 敬太 (事)

●主な議題

〔病床運営委員会〕

- ・病床利用率について
- ・個室免除現状報告について
- ・週末の病床管理について

〔病棟運営委員会〕

- ・退院通知時間について
- ・病棟運営にかかわるもの全般

〔病院機能評価プロジェクト〕

- ・受審内容検討および受審準備

〔外来運営委員会〕

- ・患者満足度調査について
- ・院外処方箋について
- ・外来支援システムについて
- ・外来患者様の振り分けについて
- ・外来患者様の動線について
- ・来院者駐車場について

〔時間外運営 (救急) 委員会〕

- ・時間外診療運用について
- ・救急車搬送件数について
- ・救急車搬送お断り事例について

● 広報・連携委員会

●開催頻度 1回/月

●構成メンバー

委員長	武井実根雄(診)
委員	山本 光孝(診)、原口 和大(診)、宮崎さとみ(看)、田原 恒(看)、金子 浩子(看)、那須百合美(看) 花野 絵美(技)、吉田 幸代(技)、宇野 尚和(事)、齋藤 栄介(企)、衛藤千亜紀(事)
事務局	加藤宗一郎(事)
書記	音嶋 智子(事)

●主な議題

- ・紹介、逆紹介、救急車件数報告
- ・ホームページ診療科別アクセス件数報告
- ・院外広報誌、ホームページに関する検討
- ・その他、検討議題

● NST委員会

●開催頻度 1回/月

●構成メンバー

委員長	藤木富士夫(脳神経内科部長)
委員	深水 豊(診)、富田 洋介(診)、中房 祐樹(診)、田籠 祥子(診)、小野田慈美(診) 永井 智子(看) 真矢 正代(看)、外園 春香(看)、井上 莉那(看)、本5(看)、東4(看)、安部由里菜(看)、板谷 有夏(看) 萩尾 優佳(看)、山口 明莉(看)、笠谷 渚(看)、栗崎 淳子(技)、四ヶ所里穂(技)、幾波 絢子(技) 高橋 大(技)、酒見 千晴(技)、清田麻里菜(技)、原 繰留美(技)、花野 絵美(技)、古川 唯(技) 村上 あい(事)
事務局	石崎 律子(技)
書記	東 さやか(技)
臨時メンバー	寺脇 深香(看)、西山 成美(看)、西 弘樹(事)、日清医療食品(福森加奈恵、廣田 豪、宗像 孝典)

●主な議題

- ・回診報告
- ・情報提供
- ・勉強会実施
- ・給食委員会報告

● WOC（褥瘡）委員会

●開催頻度 1回/月（第2水曜日）

●構成メンバー

委員長	武井実根雄（泌尿器科部長）
委員	橋爪健太郎（診）、庄野 禎久（診）、山本 光孝（診）、藤本富士夫（診）、志賀健一郎（診）、谷村 明美（看） 宮川みどり（看）、岩崎 彩奈（看）、谷川 香菜（看）、井手みどり（看）、岡松ゆう貴（看）、濱田 明香（看） 長田 友紀（看）、大西 那苗（看）、松本 晃奈（看）、田畑 宏美（看）、岩本 詩織（看）、富安 美紀（看） 島田 佳弥（技）、星野 結花（技）、古川 唯（技）
事務局	黒田 豊子（看）
書記	立分 恵梨（事）

●主な議題

- ・委員会内での専門分野における勉強会を開催
- ・褥瘡発生表を元に先月新たに発生した患者の報告、発生率、褥瘡ハイリスク患者ケア加算の統計発表
- ・症例報告
- ・新規情報の提供
- ・褥瘡対策研修会の運営
- ・褥瘡予防に必要な物品の管理

● 手術室運営委員会

●開催頻度 1回/2ヶ月

●構成メンバー

委員長	渡邊 隆郁（手術部部長）
委員	下澤 浩基（診）、香取 清（診）、安部伸太郎（診）、当間 宏樹（診）、高崎 実（診）、片岡 恵子（診） 一倉 晴彦（診）、稲富 実帰（看）、穴井 祐介（看）、松永 享子（看）、村岡 弘恵（看）、東田加奈子（看） 木下 鈴子（看）、吉川 清美（看）、加藤 致（技）、松浦 修平（技）、福嶋 史佳（技）、篠崎 文咲（技） 大村 昭博（事）、宮園 江美（事）
事務局	藤川 暢子（看）
書記	宮園 江美（事）

●主な議題

- ・手術件数、麻酔科依頼手術件数報告
- ・インシデント、アクシデント報告
- ・手術室稼働状況報告
- ・手術室運営基準・マニュアル改訂報告
- ・その他
- ・手術室年末に火災・急変時対応訓練実施の報告（施設課協力あり）
- ・入退院支援センターでの術前外来説明開始の報告

● 検査運営委員会

●開催頻度 1回/月

●構成メンバー

委員長	市来 俊弘(循環器科主任部長)
委員	河野 真司(診)、林 真(診)、小松 潔(診)、田中 厚生(診)、野村 博之(診)、中小川 隆(技) 加藤 致(技)、吉武 靖展(技)、毛利 萌(技)、川崎美智子(看)、下釜 里美(看)、北御門智之(事) 村上 浩代(事)
事務局	和佐野智美(技)
書記	江島 浩明(技)

●主な議題

- ・ COVID-19 PCR 検査外注手順書の作成
- ・ 生化学/免疫測定器の更新について
- ・ COVID-19検査について
- ・ メトトレキサート院内測定化について
- ・ 外注項目の院内導入について(4項目)
- ・ 血清情報(溶血・乳び・黄疸)の検査結果反映について
- ・ 免疫項目 報告下限値について
- ・ PTH-intact 院内化について
- ・ CT 検査説明書の改訂

● 放射線障害予防委員会

●開催頻度 2回/年

●構成メンバー

委員長	寺嶋 廣美(放射線科顧問)
委員	田中 厚生(診)、大野 聡子(看)、田原 恒(看)、中小川 隆(技)、松島 毅(技)、岩本 博義(技) 大津 宏仁(技)、橋本 俊介(事)
事務局	生田 康明(技)
書記	西 弘樹(事)

●主な議題

第1回

- I) 議事録確認
- II) 報告事項(2020年度上半期)
 1. 業務従事者及び診療従事者の登録について
 2. 教育訓練実施報告について
 3. 2020年度健康診断受診状況について
 4. 業務従事者の個人被ばく線量測定結果と評価について
 5. 放射線医療機器等の新設・更新・移転及び管理区域廃止について
 6. その他

III) 議題

1. 業務改善(PDCAサイクル)について
2. 2020年度下半期教育訓練スケジュールについて
3. 業務従事者登録解除について
4. 委員会報告内容等の整理について
5. その他

IV) 院内巡視(放射線使用施設)

第2回

- I) 議事録確認
- II) 報告事項(2020年度下半期)
 1. 業務従事者及び診療従事者の登録について
 2. 教育訓練実施報告について
 3. 2020年度健康診断受診状況について
 4. 業務従事者の個人被ばく線量測定結果と評価について
 5. 施設点検及び漏洩線量測定について
 6. 放射線医療機器等の新設・更新・移転及び管理区域廃止について(2020年度下半期)
 7. その他

III) 議題

1. 業務改善(PDCAサイクル)について
2. 委員会報告内容等の整理について
3. 教育訓練について(2021年度上半期)
4. その他

● 薬事運営委員会

●開催頻度 1回/月

●構成メンバー

委員長	高木 陽一(呼吸器科部長)
委員	江口 徹(診)、林 真(診)、廣田伊千夫(診)、永野 賢(診)、上村 智彦(診)、宮崎 薫(診) 柳迫 昌美(看)、大野 聡子(看)、横田 宜子(看)、中小川 隆(技)、栗崎 淳子(技)、田邊 順子(技) 藤原 勝(企)、大久保加奈子(事)、岡本真由香(事)
事務局	河野 祐子(技)
書記	久保田景子(技)
下部組織	医薬品安全管理委員会
委員長	高木 陽一(呼吸器科部長)
委員	江口 徹(診)、林 真(診)、廣田伊千夫(診)、永野 賢(診)、上村 智彦(診)、宮崎 薫(診) 柳迫 昌美(看)、大野 聡子(看)、横田 宜子(看)、中小川 隆(技)、栗崎 淳子(技)、久保田景子(技) 藤原 勝(企)、大久保加奈子(事)、岡本真由香(事)
書記	田邊 順子(技)
下部組織	がん化学療法委員会
委員長	上村 智彦(血液内科部長)
委員	江口 徹(診)、横溝 晃(診)、原口 和大(診)、青木 孝友(診)、奥村 幹夫(診)、高木 陽一(診) 川崎美智子(看)、横田 宜子(看)、豊永万紀子(看)、新川 俊子(看)、外園 春香(看)、川上 奈菜(看) 住村 結花(看)、永田 仁美(看)、福田 梨乃(看)、田邊 順子(技)、市丸沙和子(技)、隅田 幸恵(事)
書記	久保田景子(技)

●主な議題

- ・医薬品の採否検討
- ・ジェネリック医薬品の採否検討
- ・仮採用薬剤の検討
- ・医薬品情報の報告
- ・院内採用薬 期限切迫品・廃棄報告
- ・院内副作用報告
- ・医薬品・医療機器安全性情報報告
- ・抗癌剤情報
- ・抗癌剤プロトコールシステムについて
- ・新規プロトコールについて
- ・化学療法に関する副作用報告
- ・外来化学療法室運用状況
- ・癌化学療法認定看護師活動報告

● 輸血療法委員会

●開催頻度 1回/2ヶ月

●構成メンバー

委員長	上村 智彦(血液内科部長)
委員	青木 孝友(診)、廣田伊千夫(診)、野口 賢一(診)、横田 宜子(看)、村岡 弘恵(看)、稲富 実婦(看) 矢羽田こずえ(看)、伊津野 瞳(看)、四ヶ所里穂(技)、隅田 幸恵(事)
事務局	松井勇二郎(技)
書記	城成 加奈(技)

●主な議題

- ・輸血療法の実施に関する指針改定について
- ・アルブミン製剤外国産から国内産切り替えについて
- ・免疫グロブリン製剤切り替えについて
- ・自己血貯血バック変更について
- ・輸血マニュアル変更点について
- ・2019年血液センターにおける血液製剤副作用報告
- ・輸血後感染症検査について
- ・輸血後副作用報告
- ・血液製剤使用状況

● リハビリテーション委員会

●開催頻度 3回/年

●構成メンバー

委員長	庄野 禎久(脳神経外科部長)
委員	野間 秀哉(診)、永野 賢(診)、高木 陽一(診)、藤井 圭(診)、高根澤 睦(診)、永井 智子(看) 野田佳代子(看)、山田恵理子(看)、大無田一平(看)、田代 信司(企)
事務局	石橋 誠史(技)
書記	斉藤 吉男(技)

●主な議題

- ・リハビリテーション科実績報告
- ・がんリハビリテーション実績報告
- ・心大血管リハビリテーション実績報告
- ・リハビリテーション科合同運営進捗状況報告
- ・地域包括ケア病棟実績報告など

● ME 機器・医材管理委員会

●開催頻度 1回/月

●構成メンバー

委員長	廣田伊千夫(胸部外科部長)
委員	金子 浩子(看)、新藤亜佑実(看)、八波 隼(看)、山中 理佐(看)、宇都宮里美(技)、鈴木 健太(事) 北御門智之(事)、川上 優(事)
事務局	嶽本 洋(技)
書記	永露 雄志(技)

●主な議題

■新規採用

エスアイメッシュ7号、ピュレルシュアステップペリケア、ソフトタッチプローブカバー、フィルターセットF、ハイドロマークリジット
マイジェクター1 mL、NS アルファシート、ステラーゼ、ケアガーゼ

■サンプリング

ピュレルシュアステップペリケア、ディスポ検査着、ディスポ電極ピトロード、Nesal Alar SpO₂

■その他

経腸栄養 国際 JIS 規格対応
ニトリル手袋 価格高騰および安定供給に対応

● DPC委員会

●開催頻度 1回/月

●構成メンバー

委員長	江口 徹 (副院長)
委員	林 真 (診)、野田佳代子 (看)、久保田景子 (技)、北御門智之 (事)、隅田 幸恵 (事)、村上 あい (事)
事務局	長峰麻衣子 (企)
書記	平原 俊吾 (企)

●主な議題

- ・ 部位不明・詳細不明コード、未コード化傷病名使用率報告
- ・ コーディング検討
- ・ DPC コーディングカンファレンスの開催・報告
- ・ 医療機関係数の報告
- ・ DPC 影響調査に係わる報告

● 緩和ケア委員会

●開催頻度 1回/月

●構成メンバー

委員長	野口 賢一 (肝胆膵内科部長・緩和ケア担当医専任)
委員	江口 徹 (診)、西浦 研志 (診)、藤井 圭 (診)、志賀健一郎 (診)、木村 勇祐 (診)、穴井 諭 (診) 百合野彩乃 (診)、染矢麻衣子 (看)、横田 亜水 (看)、石崎、律子 (技)、田邊 順子 (技)、河北 俊和 (技) 宮川 知子 (技)、小野 敬太 (事)、城間 夏美 (事)
事務局	栗秋佐智恵 (看)
書記	小野 敬太 (事)

●主な議題

- ・ がん診療連携拠点病院申請への取り組み
(アドバンスケア・プランニング・苦痛のスクリーニング)
- ・ 福岡県がん診療連携協議会 緩和ケア専門部会への参加
- ・ 新規薬剤紹介 (マニュアルの改訂)
- ・ 緩和ケアラウンド (緩和ケア診療加算件数報告)
- ・ 症例検討

● 原三信病院 がんセンター

● 開催頻度 必要時

● 構成メンバー

センター長	江口 徹 (副院長)
顧問	内藤 誠二 (名誉院長)
副センター長	柳迫 昌美 (看護部長)
内科部門	上村 智彦 (診:血)、高木 陽一 (診:呼)
外科部門	横溝 晃 (診:泌)、当間 宏樹 (診:外)
放射線治療	古藤 和浩 (診)
病理診断	河野 真司 (診)
緩和医療	野口 賢一 (診)
看護部門	谷村 明美 (看)、栗秋佐智恵 (緩)、藤川 暢子 (手)、横田 宜子 (病)、谷口真佐子 (放)、豊永万紀子 (化) 三谷 洋子 (相)、真崎加奈子 (相)
技術部門	河野 祐子 (薬)、田邊 順子 (薬)
事務部門	加藤宗一郎 (連)、平原 俊吾 (登)、小野 敬太 (総)
事務局	田代 信司 (企)

● 主な議題

- ・ キャンサーボードについて
- ・ 手術件数について
- ・ 薬物療法について
- ・ 放射線治療について
- ・ 病理診断について
- ・ 緩和ケアについて
- ・ がん連携パスについて
- ・ がんセミナーについて
- ・ 院内がん登録について
- ・ 福岡県がん診療連携協議会報告 など
- ・ 地域がん診療連携拠点病院について
 - 研修・教育部門会
 - 緩和ケア部門会
 - 地域連携・情報部門会
 - がん登録部門会

2020年度 院外研修生受入状況

10

部門	部署	研修生所属	期間	人数	目的	
看護部		九州大学	2021/2/9 ~ 2/19	2	在宅看護論実習	
		国際医療福祉大学	2020/10/6 ~ 10/13	5	成人看護実習Ⅱ	
			2020/10/14 ~ 10/21	5	成人看護実習Ⅱ	
			2020/11/17 ~ 11/25	5	成人看護実習Ⅱ	
			2020/11/26 ~ 12/3	4	成人看護実習Ⅱ	
			2021/1/6 ~ 2/5	2	臨地実習	
技術部	臨床検査科	熊本大学	2021/11/5	1	病院見学	
			2021/11/18	1	病院見学	
		純真学園大学	2020/11/30 ~ 12/25	2	臨地実習	
			2021/1/4 ~ 1/29	2	臨地実習	
	倉敷芸術科学大学	2021/2/15 ~ 3/26	1	臨地実習		
	リハビリテーション科	麻生リハビリテーション大学校	2020/8/3 ~ 9/12	1	臨床実習Ⅱ	
	薬剤科	福岡大学	2020/8/24 ~ 11/8	1	薬学実務実習	
			長崎国際大学	2020/8/24 ~ 11/8	1	薬学実務実習
			第一薬科大学	2020/11/24 ~ 2021/2/14	2	薬学実務実習
	放射線科	純真学園大学	2020/11/9 ~ 12/4	1	臨床実習	
			2020/12/21 ~ 2021/1/22	2	臨床実習	
			2021/3/1 ~ 3/12	3	臨床実習	
	栄養科	中村学園大学	2020/8/24 ~ 9/12	1	臨地実習Ⅱ (臨床栄養)	
			2021/2/1 ~ 2/13	4	臨地実習Ⅱ (臨床栄養)	
			2021/2/15 ~ 3/6	4	臨地実習Ⅱ (臨床栄養)	
西南女学院大学		2021/3/8 ~ 3/19	4	臨地実習Ⅱ (臨床栄養)		
事務部		保健医療経営大学	2020/9/7 ~ 9/11	2	施設実習	
		F・Cフチガミ医療福祉専門学校	2021/2/15 ~ 3/12	1	診療情報管理実習	
		ILPお茶の水医療福祉専門学校	2021/2/15 ~ 3/12	1	診療情報管理実習	

2020年は新型コロナウイルス感染症の流行に振り回された年でした。当院においても8月14日から罹患者が見つかりクラスター発生に至りました。保健所からの指導をもとに徹底した感染対策をおこない、9月15日には元の診療体制に戻すことができました。その間外来診療・通所リハビリ・体力向上支援センターを休止させ、入院受入れを休止せざるを得ませんでした。ご利用の皆様には大変ご迷惑をおかけしました。さて後期高齢者の増加に対応して「要介護状態になっても住み慣れた地域で自分らしい生活を最後まで続けることができるように地域内で助けあう」地域包括ケアシステムが推進されています。当院においても時代の流れに合わせて介護医療院や地域包括ケア病床を開設し、疾患の増悪により在宅生活が困難となった患者さんへの早期入院治療による安心できる在宅生活の継続を支援しております。日頃から健康づくりを意識してもらい、在宅生活での不自由さを解消できるような介護保険サービスのご相談や提供もおこなっています。その他にもコロナ禍の中で地域での健康づくり教室がおこなえない状況にあって、毎日取り組める運動やヘルシー料理などの動画を動画サイトにて発信して地域の皆さんの健康づくりに寄与しています。骨折や脳卒中、肺炎や心不全などで身体能力が低下なさった方には心地よい在宅生活を維持できるように、入院および在宅でのリハビリをご用意しております。「手の暖かきの伝わる病院」を基本理念として、皆様が心豊かに日常生活を送るお手伝いができるよう職員一同励んでおります。



患者動態指標

	2019年度	2020年度
入院患者数（人/日）	218.0	211.7
医療療養病棟	115.0	117.4
回復期リハ病棟	31.2	26.7
地域包括ケア病床	15.8	13.8
介護医療院	55.5	53.8
平均在院日数（日）	188.0	205.4
医療療養病棟	229	426.1
回復期リハ病棟	85.0	78.3
地域包括ケア病床	47.7	45.5
介護医療院	763.0	484.5
通所リハ 延べ利用者数(人)	10,090 (42人/日)	8,502 (38/日)
体力向上支援センター 延べ利用者数(人)	8,077 (33人/日)	6,443 (32人/日)



編集後記

2020年4月7日、安倍総理大臣は、新型コロナウイルス対策の特別措置法に基づき、東京・神奈川・埼玉・千葉・大阪・兵庫・福岡の7都道府県に緊急事態宣言を発出、4月16日には、対象を全国に拡大しました。具体的な内容は、不要不急の外出・県境をまたぐ移動の自粛、飲食店・商業施設の時短・休業、イベントの中止・延期などが要請され、身体的距離の確保・マスク着用・手洗いの基本的感染対策や「3密」の回避（密集・密接・密閉）、こまめな換気など、様々な行動変容が求められました。緊急事態宣言は5月14日に解除されましたが、第2波、第3波が到来し、2021年1月13日～2月28日まで、2度目の緊急事態宣言が発出されました。

私たちは、このようなことを経験したことはなく、当初、誰もが「新型コロナウイルス感染症」が医療提供体制、日本経済、世界経済に、これほど大きな影響を与えるとは予想してなかったと思います。

海外では、オーストラリア・ニュージーランド・シンガポール・ベトナム・台湾などは、新型コロナウイルス封じ込めの優等生と言われており、政治の素早い決断力と徹底した対策が感染拡大を抑え込む結果となったのに対し、日本は、この有事において政治の力が発揮されず、後手後手の対応が多かったように思われました。我が国は、大地震・豪雨災害など自然災害の多い国であり、様々な備えをしておりますが、今後は、感染症にも強い国づくりのために、昨今、縮小傾向にあった、日本特有の「保健所」の重要性を改めて見直す必要があると思います。

当院においても、地域での役割を果たすために、発熱外来、軽症・中等症の新型コロナウイルス陽性の入院患者を受入れ体制を構築する等、多くの事に取り組んで参りましたが、院内クラスターが発生すること無く診療が継続していることは、感染対策防止委員会・感染制御チームを中心とした全職員の努力とご協力の賜物であります。

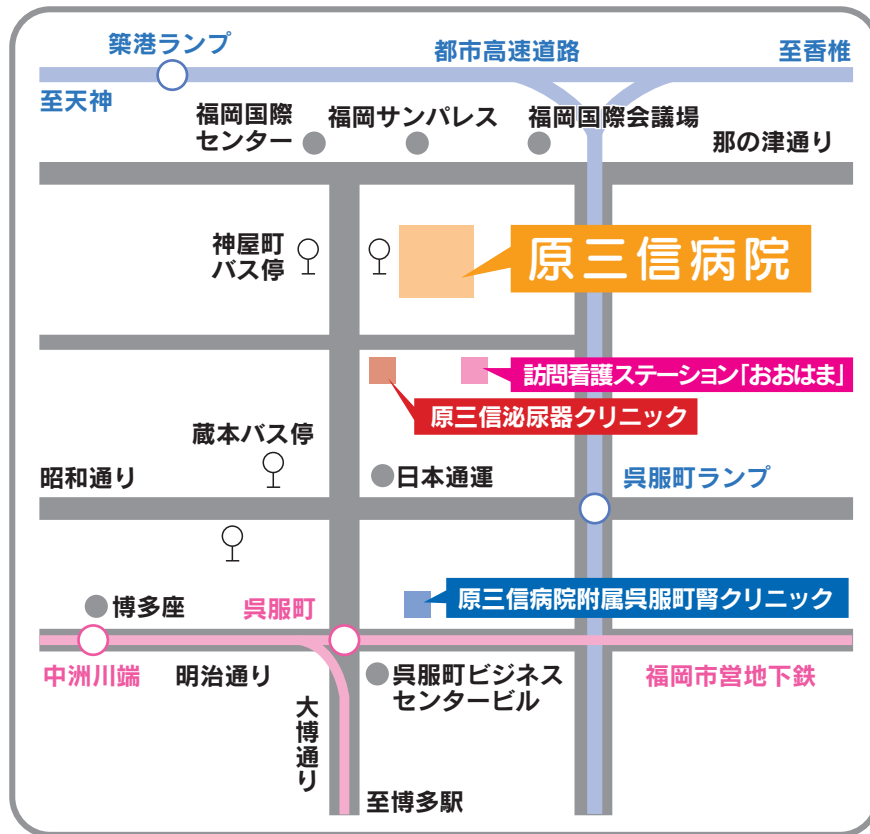
これからは、この未知のウイルスに対し、「ワクチン」という「武器」をもって、この戦いに必ず終わりが来ることを信じて、気を緩める事なく、診療を継続していかねばなりません。

暗い話題が多かった2020年度でしたが、福岡ソフトバンクホークスは、日本シリーズで東京読売巨人軍を相手に2年連続4連勝で、日本シリーズ4連覇を達成し、「コロナ疲れ」を癒やしてくれました。又、当院は3月29日に田村憲久厚生労働大臣より「地域がん診療連携拠点病院（2021年4月1日付）」の指定を受けました。これまで以上に、手術、薬物療法、放射線治療、緩和医療、救急医療を中心とした質の高い急性期医療を提供し、地域の皆様に信頼される病院づくりを目指していきたいと考えております。

最後に、2020年度の年報発刊にあたり、ご協力頂いた皆様に心より御礼申し上げます。

編集後記 医療連携課 加藤宗一郎

広報・連携委員会委員長 武井実根雄
事務局 企画情報室



【交通案内】

- 西鉄バス「神屋町」バス停前
- 西鉄バス「蔵本」バス停より徒歩3分
- 地下鉄「呉服町」駅より徒歩5分
- JR博多駅よりタクシーで5分
- 福岡空港よりタクシーで15分
- 博多埠頭 (ベイサイドプレイス) より徒歩10分

原三信病院年報 第31号

2021年8月発行
 編集発行：原三信病院
 〒812-0033 福岡市博多区大博町1番8号
 TEL (092) 291-3434
 FAX (092) 291-3424

